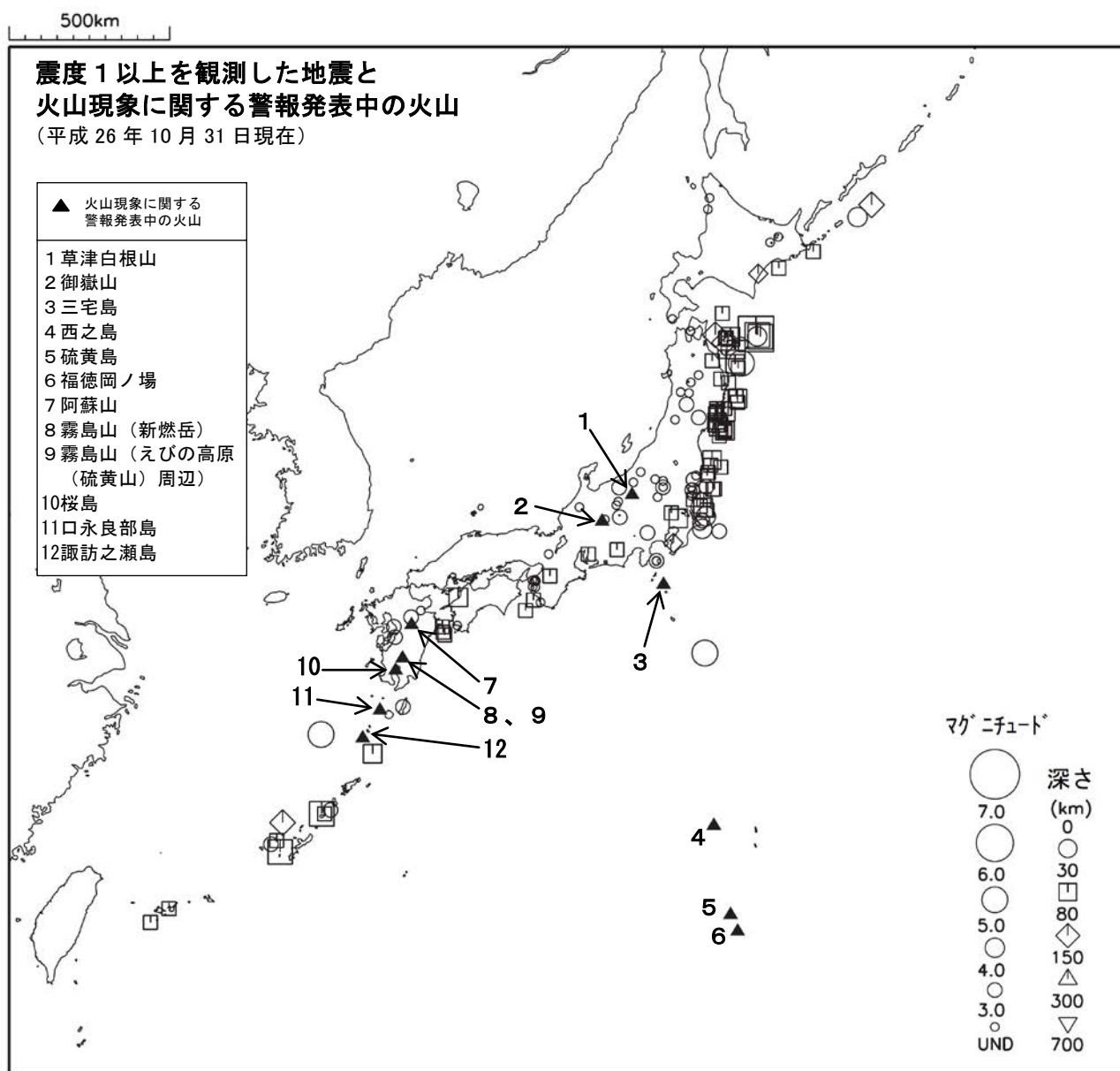


平成 26 年 10 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

October 2014



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び独立行政法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 平成 26 年 10 月 31 日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の 47 都道府県、8 政令指定都市。

注** 平成 26 年 10 月 31 日現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、独立行政法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県及び神奈川県温泉地学研究所、気象庁のデータを基に作成している。また、IRIS の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で利用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目 次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	7
関東・中部地方の地震活動	13
近畿・中国・四国地方の地震活動	15
九州地方の地震活動	17
沖縄地方の地震活動	19
その他の地域の地震活動	21
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果	22
● 日本の主な火山活動	31
北海道地方	34
東北地方	34
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	34
九州地方及び南西諸島	36
資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ	38
資料 2 第 130 回火山噴火予知連絡会について	41
● 世界の主な地震	50
● 世界の主な火山活動	53
● 特集 2014 年 9 月の御嶽山の噴火	54
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	62
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	81
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	82
4. 緊急地震速報の提供状況	83
5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	84

●日本及びその周辺での主な地震活動

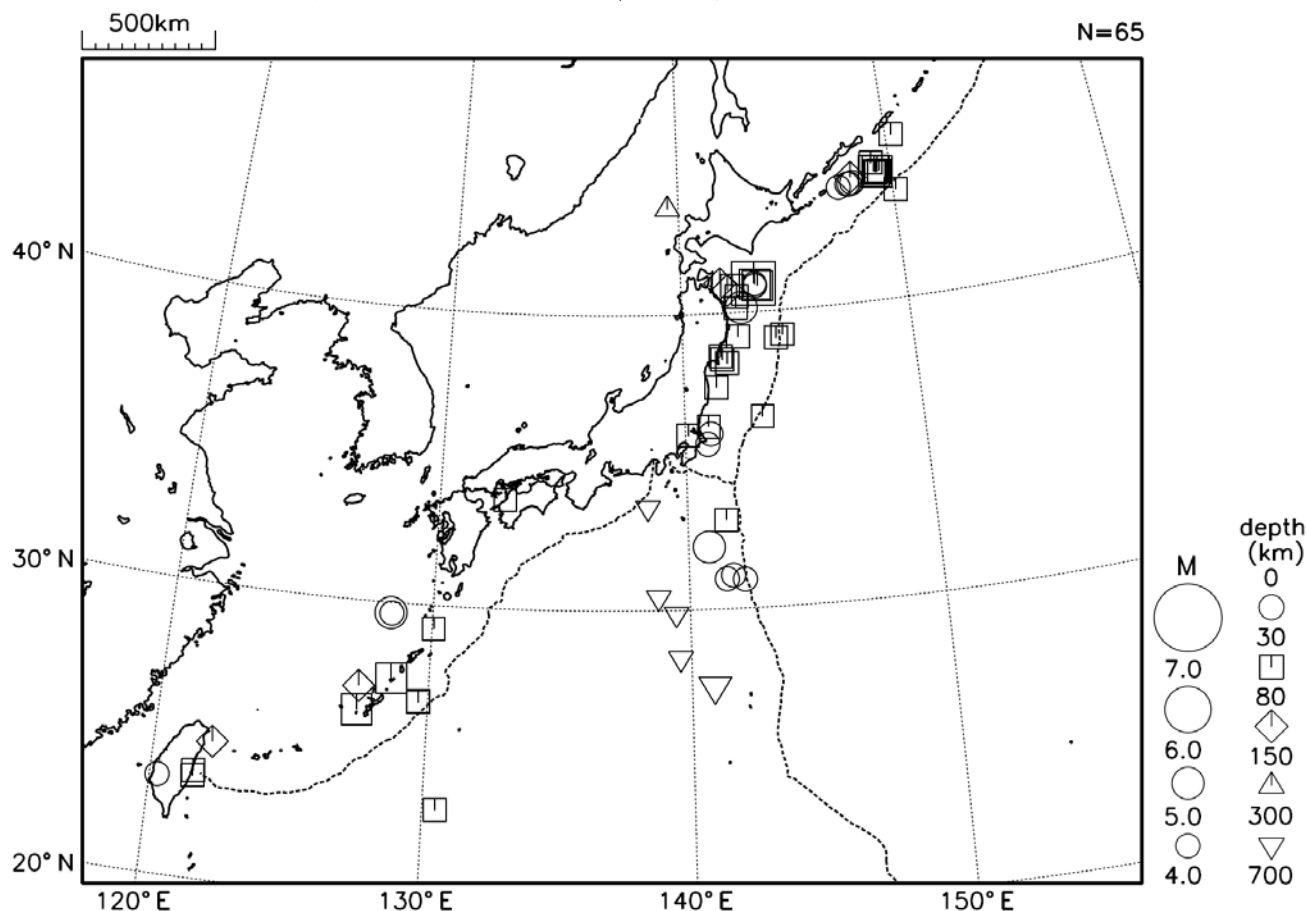


図 1 平成 26 年 10 月に日本及びその周辺で発生した $M4.0$ 以上の地震の震央分布図

平成 26 年（2014 年）10 月に日本国内で震度 1 以上を観測した地震の回数は 142 回（9 月は 196 回）、日本及びその周辺で発生した $M4.0$ 以上の地震の回数は 65 回（9 月は 67 回）であった。

10 月中に発生した主な地震を表 1（次ページ）に示す。10 月中に震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（9 月は震度 5 弱以上を観測した地震は 2 回あった。津波を観測した地震はなかった）。

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は全体的に見て多少の増減を伴いつつ次第に低下してきており、10 月中に発生した $M5.0$ 以上の地震の回数は 1 回（9 月は 2 回）であった。

表 1 平成 26 年 10 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	10 3 09 57	岩手県沖	5.7	5.6	・ ・ S ・	4：岩手県 盛岡市玉山区薮川＊	4、10
2	10 11 11 35	青森県東方沖	6.1	6.0	M ・ S ・	4：青森県 青森南部町平＊ 岩手県 盛岡市玉山区薮川	4、11
3	10 11 14 20	青森県東方沖	5.6	5.5	・ ・ ・ ・	3：青森県 五戸町古館 岩手県 盛岡市玉山区薮川＊	4、11
4	10 15 07 52	沖縄本島近海	5.1	5.2	・ ・ S ・	4：沖縄県 座間味村座間味＊	4、20
5	10 15 12 51	宮城県沖	4.6	4.6	・ ・ S ・	4：宮城県 涌谷町新町裏	5、12
6	10 16 04 39	伊予灘	4.0	—	・ ・ ・ ・	3：愛媛県 内子町小田＊	5、16
7	10 22 09 15	沖縄本島近海	5.6	5.7	・ ・ S ・	4：鹿児島県 知名町瀬利覚 など 1 県 3 地点	5、18
8	10 27 15 36	茨城県南部	4.4	4.6	・ ・ ・ ・	3：栃木県 栃木市旭町 など 2 県 7 地点	5、14

（注 1）主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.0 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

（注 2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注 3）M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。

（注 4）M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注 5）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

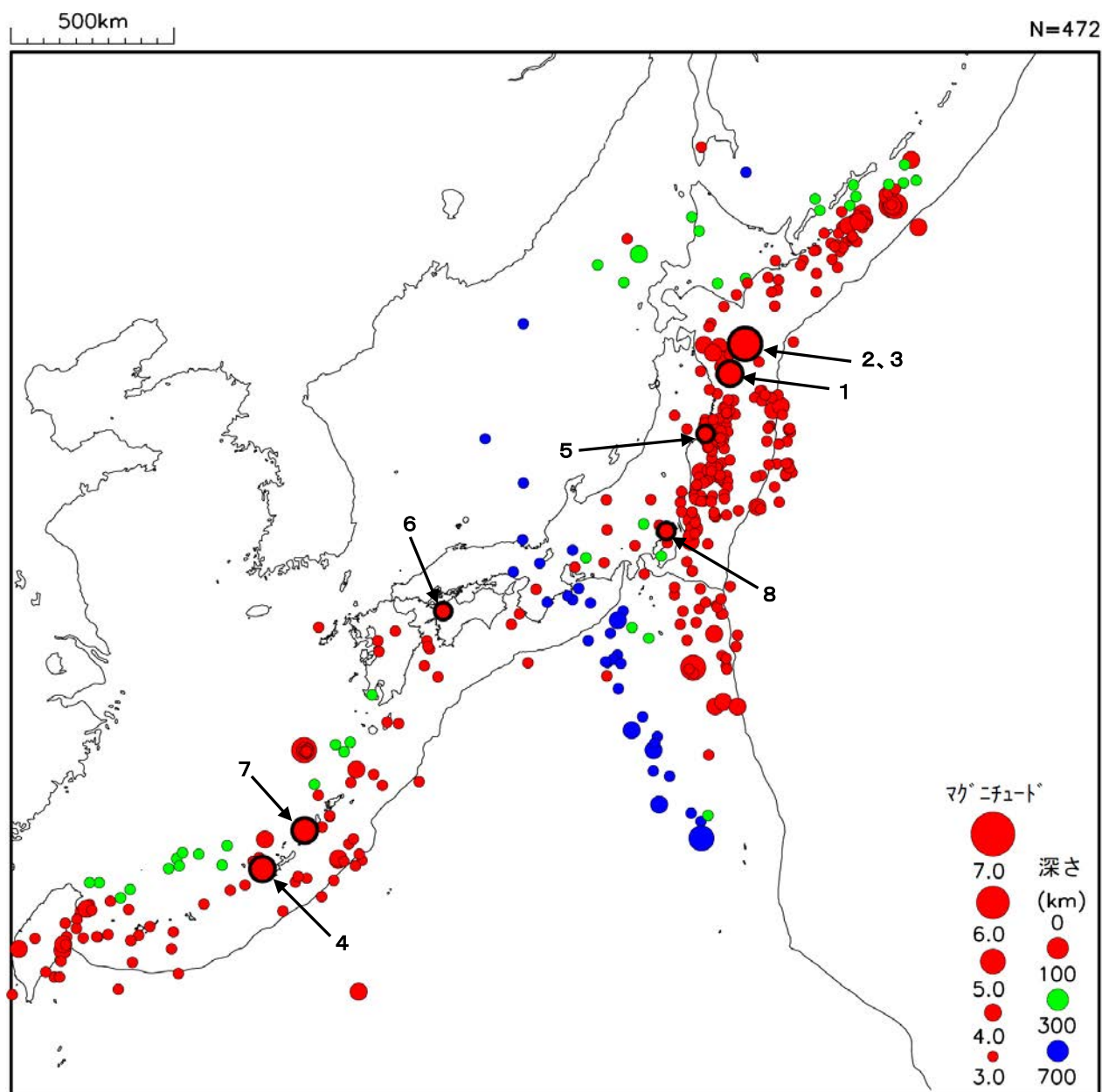


図 2 平成 26 年 10 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
（図中の数字は表 1 の番号に対応）

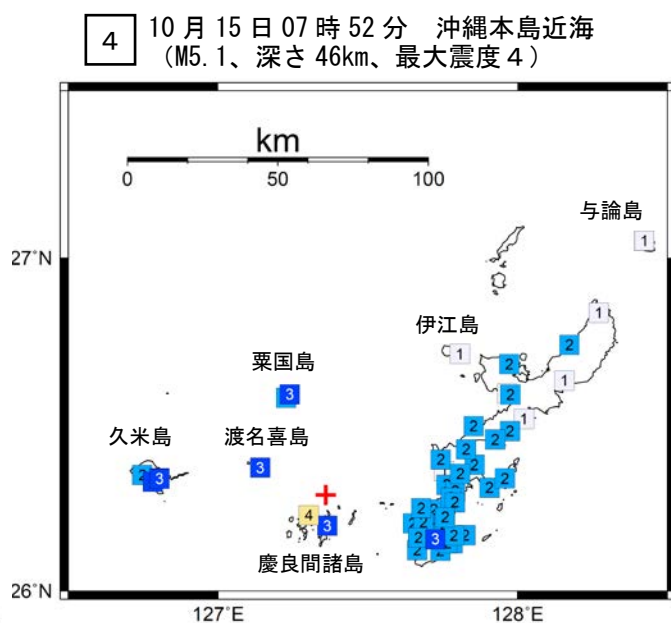
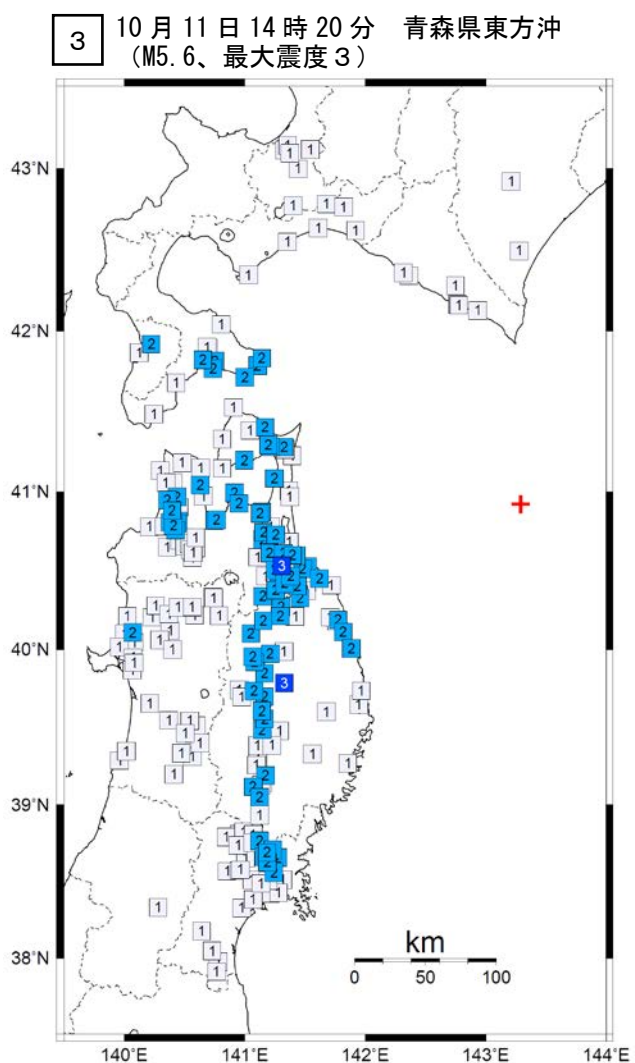
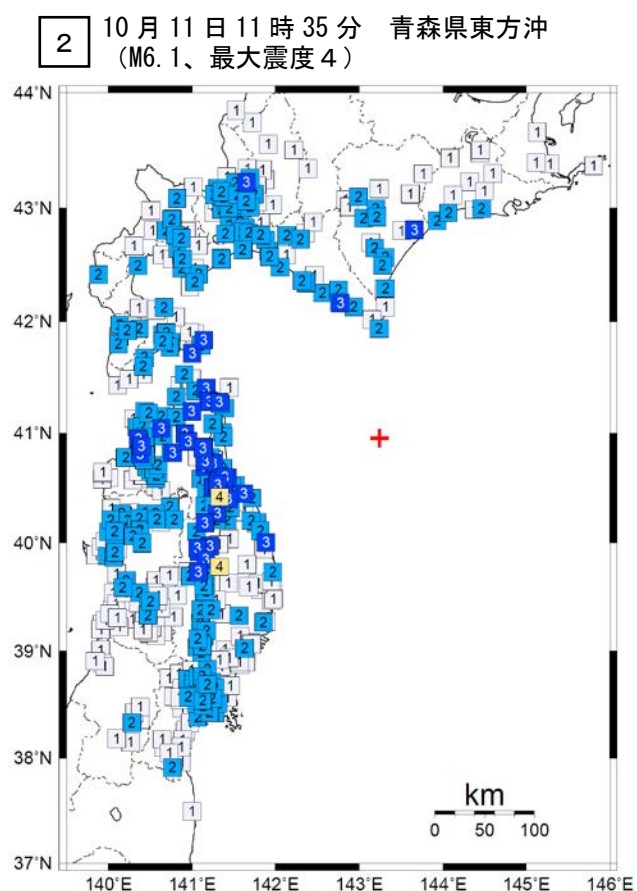
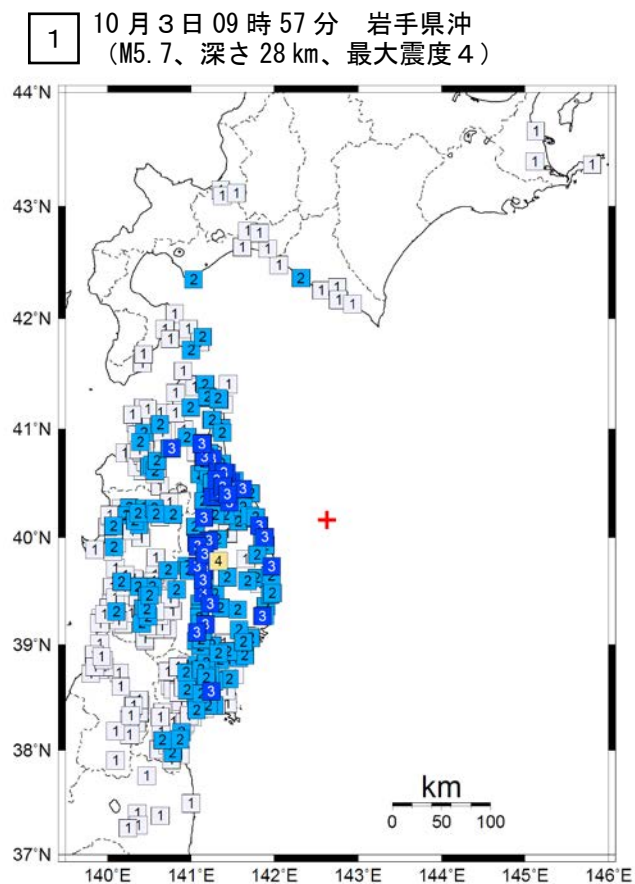
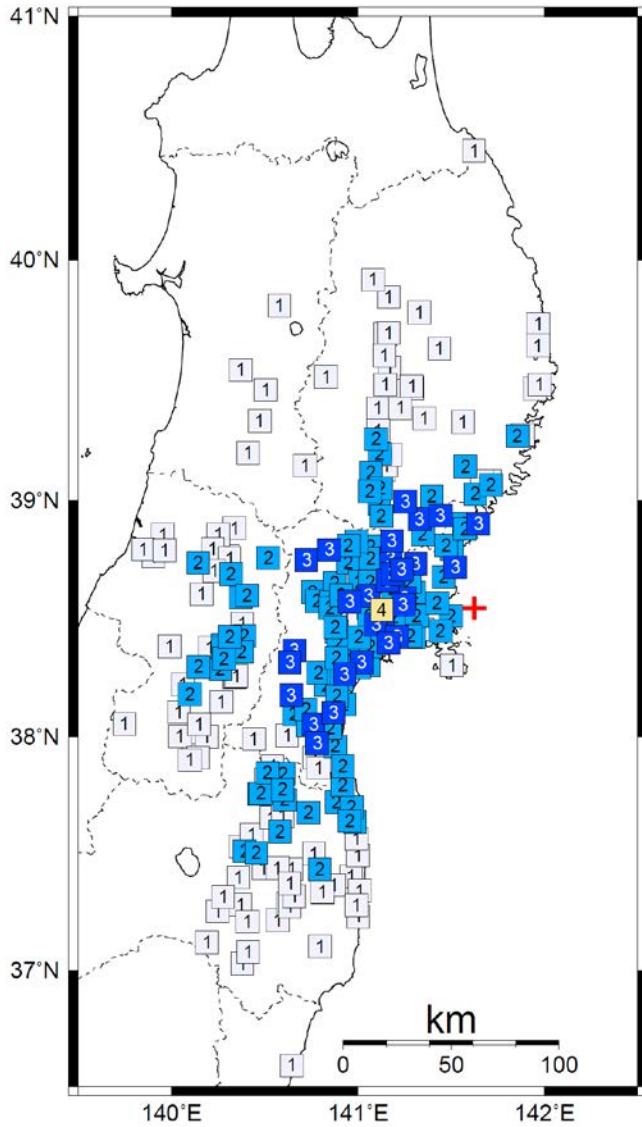
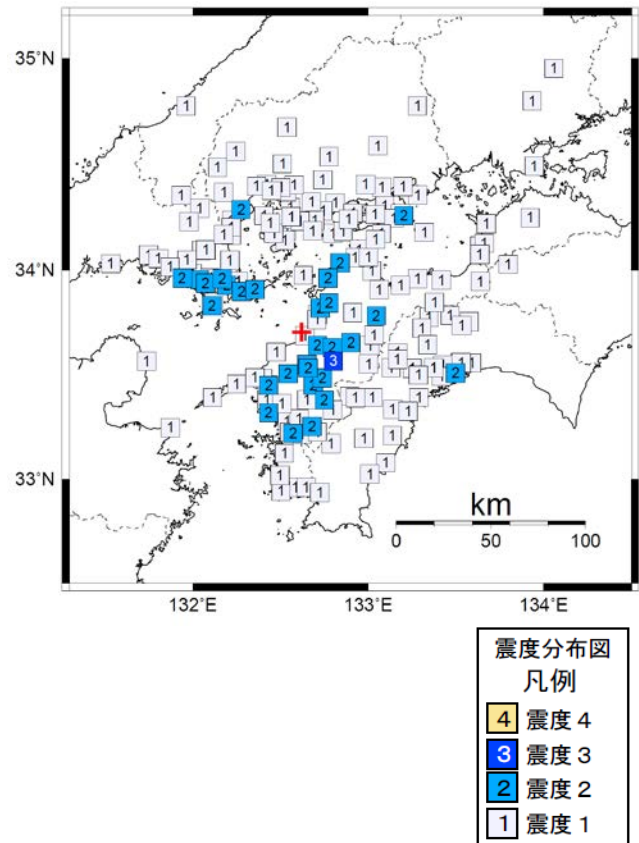


図 3 - 1 震度分布図（各図の左上の数字は表 1、図 2 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

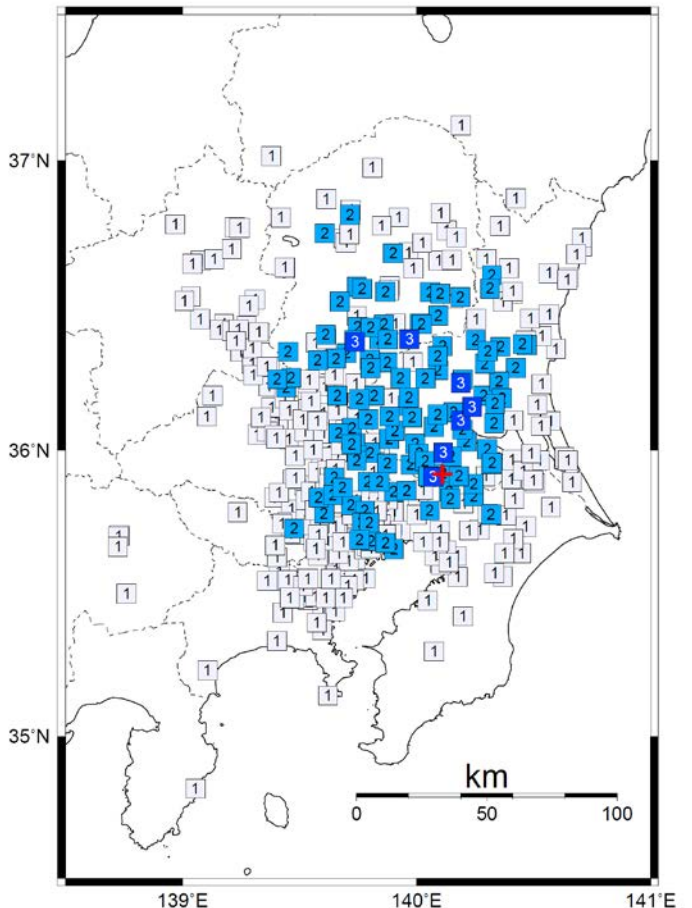
5 10 月 15 日 12 時 51 分 宮城県沖
(M4.6、深さ 64km、最大震度 4)



6 10 月 16 日 04 時 39 分 伊予灘
(M4.0、深さ 41km、最大震度 3)



8 10 月 27 日 15 時 36 分 茨城県南部
(M4.4、深さ 61km、最大震度 3)



7 10 月 22 日 09 時 15 分 沖縄本島近海
(M5.6、深さ 51km、最大震度 4)

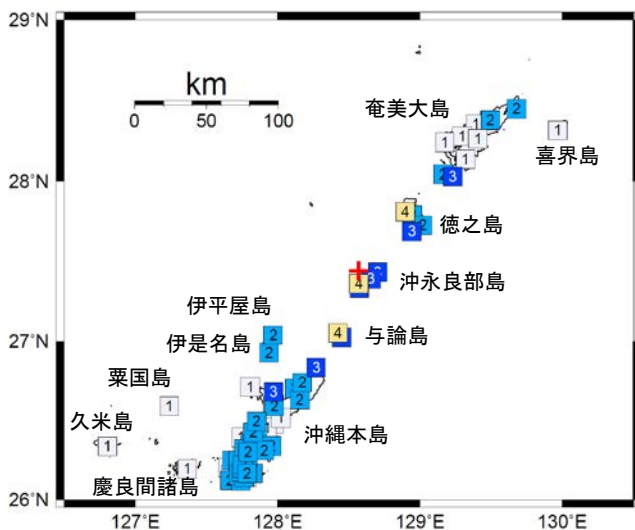


図 3-2 震度分布図（各図の左上の数字は表 1、図 2 の番号に対応する。＋印は震央を示す。）

○北海道地方の地震活動

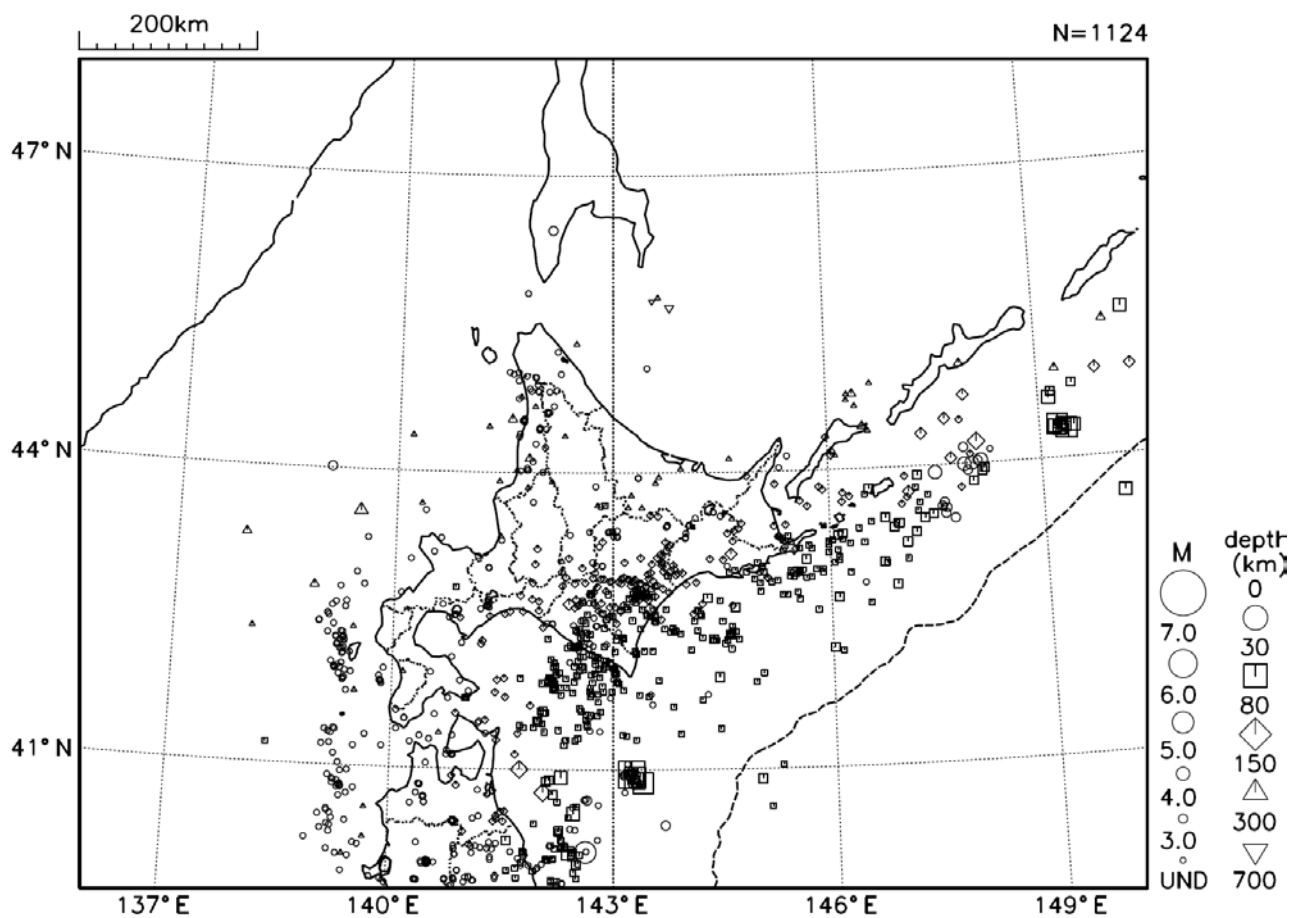


図4 北海道地方の震央分布図（2014年10月1日～10月31日）

〔概況〕

10月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は21回（9月は16回）であった。
10月中、特に目立った活動はなかった。

○東北地方の地震活動

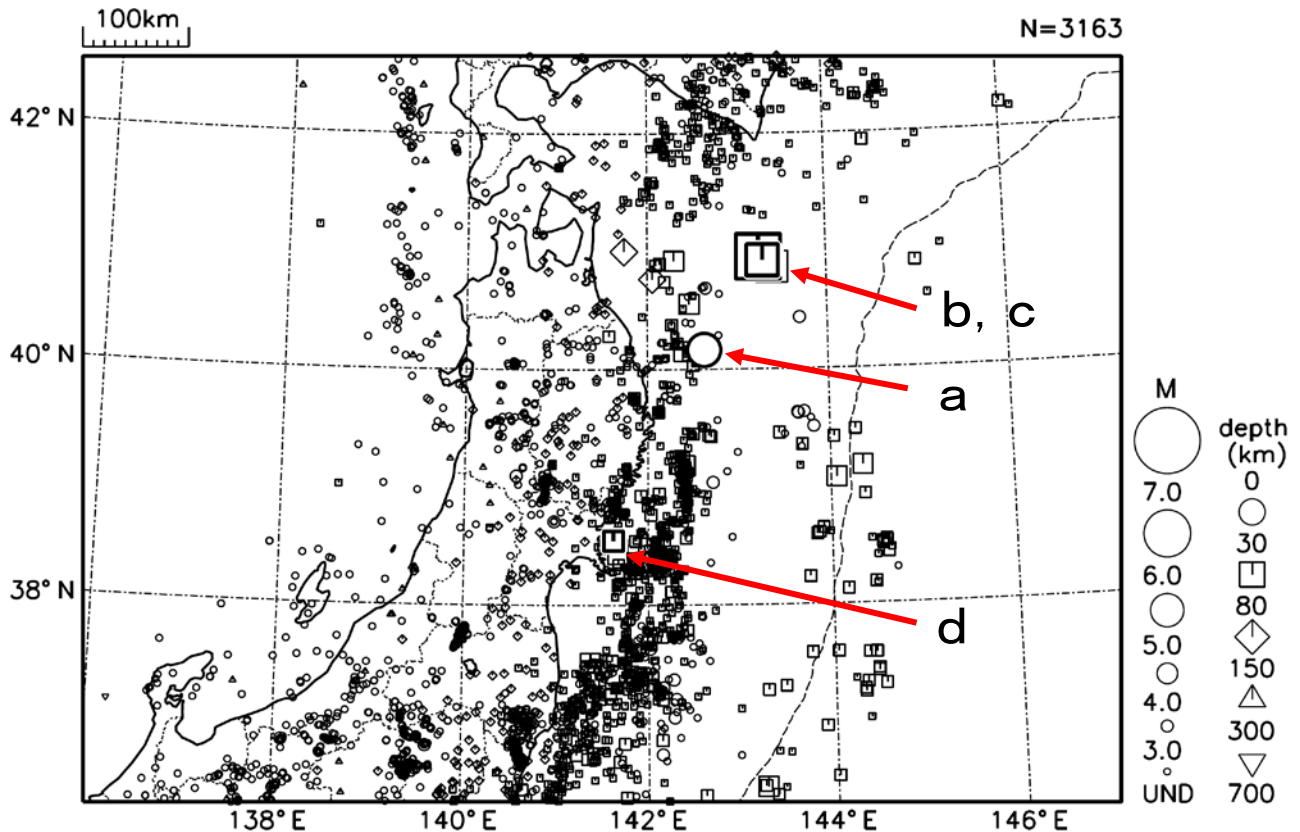


図5 東北地方の震央分布図（2014年10月1日～10月31日）

〔概況〕

10月に東北地方で震度1以上を観測した地震は65回（9月は69回）であった。
10月中の主な活動は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（図5、p.8、9参照）。

3日09時57分に岩手県沖の深さ28kmでM5.7の地震（図5中のa）が発生し、岩手県盛岡市で震度4を観測したほか、北海道から東北地方にかけて震度3～1を観測した（p.4、10参照）。

11日11時35分に青森県東方沖でM6.1の地震（図5中のb）が発生し、青森県南部町と岩手県盛岡市で震度4を観測したほか、北海道から東北地方にかけて震度3～1を観測した。また、同日14時20分にほぼ同じ場所でM5.6の地震（図5中のc）が発生し、北海道から東北地方にかけて震度3～1を観測した（p.4、11参照）

15日12時51分に宮城県沖の深さ64kmでM4.6の地震（図5中のd）が発生し、宮城県涌谷町で震度4を観測したほか、東北地方と茨城県で震度3～1を観測した（p.5、12参照）。

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は全体的には次第に低下してきているものの、最近の変化は以前に比べゆるやかになってきており、沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べて活発な状態が継続している。

2014 年 10 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 1 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震は 2 回発生した。なお、領域 a では 2001 年から 2010 年の 10 年間に M5.0 以上の地震が 190 回、震度 4 以上を観測する地震が 98 回発生している。

領域 a で 2011 年 3 月以降に発生した M7.0 以上の地震、2014 年 10 月に発生した M5.0 以上の地震はそれぞれ以下のとおり。

2011 年 3 月以降に領域 a 内で発生した M7.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT解）	発生場所
2011年 03月09日 11時45分	三陸沖	7.3	7.3	5弱	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレートと陸のプレートの境界
03月11日 14時46分	三陸沖※ ¹	9.0※ ²	9.0	7	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレートと陸のプレートの境界
03月11日 15時08分	岩手県沖	7.4	7.4	5弱	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレートと陸のプレートの境界
03月11日 15時15分	茨城県沖	7.6	7.7	6強	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレートと陸のプレートの境界
03月11日 15時25分	三陸沖	7.5	7.5	4	西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型	太平洋プレート内
04月07日 23時32分	宮城県沖	7.2	7.1	6強	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレート内
04月11日 17時16分	福島県浜通り	7.0	6.7	6弱	東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型	地殻内
07月10日 9時57分	三陸沖	7.3	7.0	4	西北西－東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型	太平洋プレート内
2012年 12月07日 17時18分	三陸沖	7.3	7.3	5弱	西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型	太平洋プレート内
2013年 10月26日 2時10分	福島県沖	7.1	7.1	4	東西方向に張力軸を持つ正断層型	太平洋プレート内
2014年 07月12日 4時22分	福島県沖	7.0	6.5	4	東西方向に張力軸を持つ正断層型	—

2014 年 10 月に領域 a 内で発生した M5.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT解）	発生場所
10月03日 9時57分	岩手県沖	5.7	5.6	4	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレートと陸のプレートの境界

※1 「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」

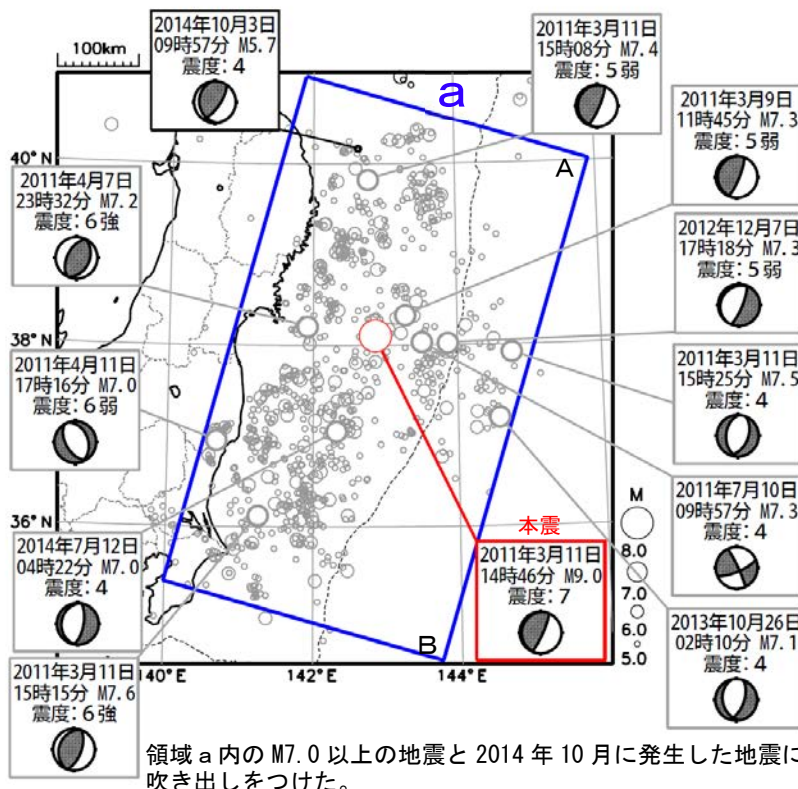
※2 この地震の M は Mw の値で、気象庁マグニチュードは 8.4

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2014 年 10 月 31 日、深さすべて、M $\geq$ 5.0）

2014 年 10 月の地震を濃く表示

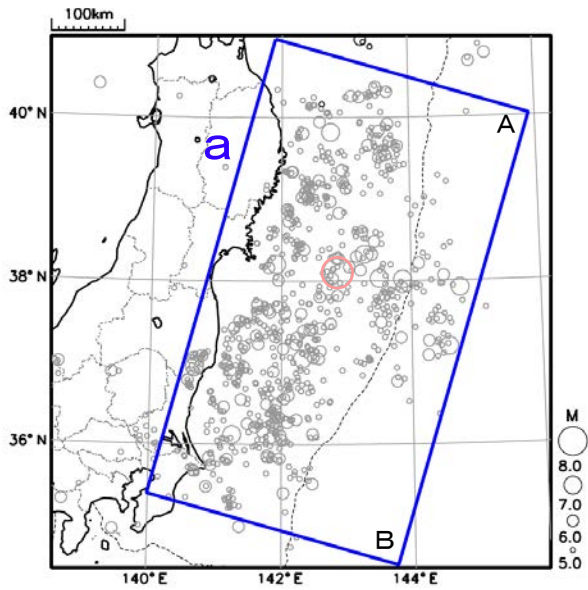
発震機構は CMT 解



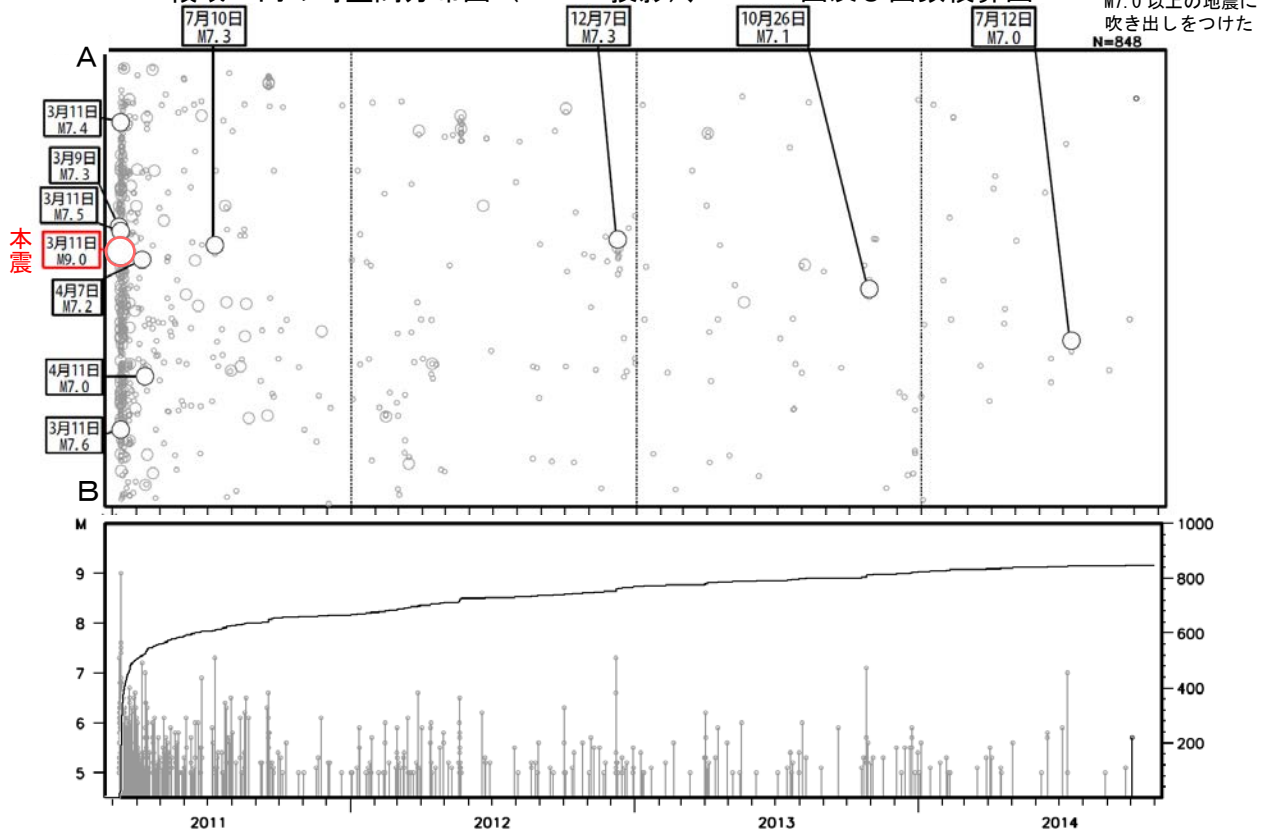
領域 a 内の M7.0 以上の地震と 2014 年 10 月に発生した地震に吹き出しをつけた。

領域a内の地震回数

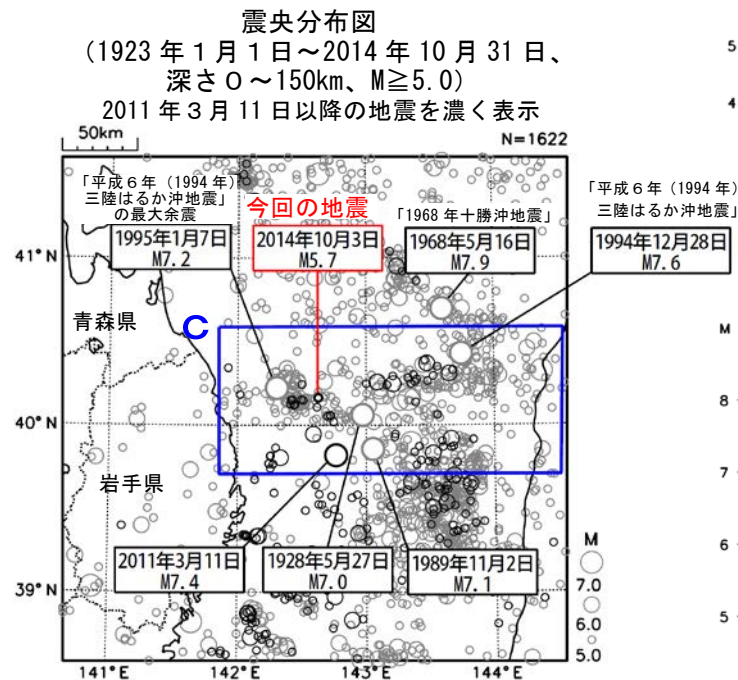
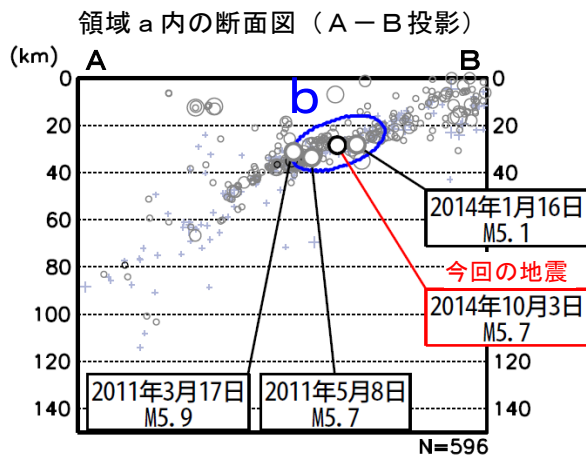
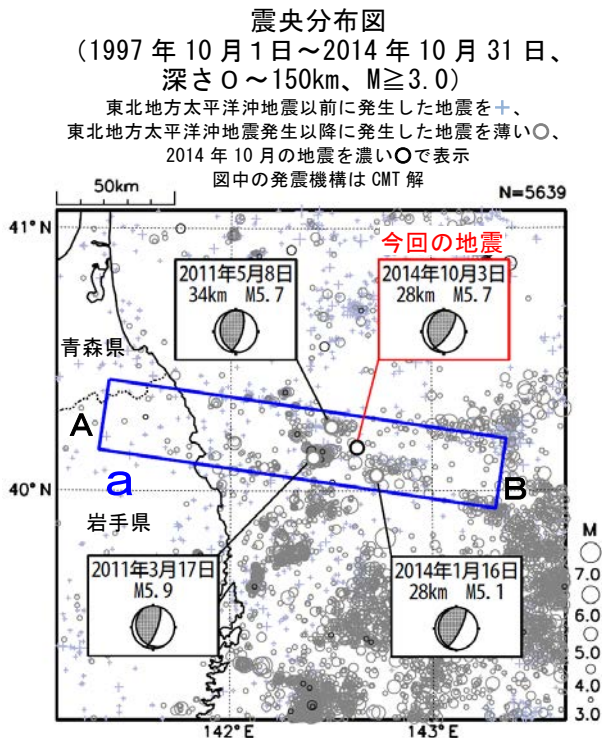
		M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計	最大震度					計	
						4	5弱	5強	6弱	6強		
2011年	3月	408	68	3	479	89	17	6		1	113	
	4月	46	8	2	56	41	8		2	1	52	
	5月	28	1		29	14	2				16	
	6月	13	4		17	7	2				9	
	7月	15	3	1	19	7	1	2			10	
	8月	7	4		11	9	2				11	
	9月	15	3		18	6	1	1			8	
	10月	4			4	2					2	
	11月	3	1		4	1		1			2	
	12月	3			3	2					2	
	2012年	1月	10			10	5	1				6
		2月	8	1		9	5	1				6
3月		13	2		15	2	3	1			6	
4月		9	1		10	6	2				8	
5月		14	2		16	1					1	
6月		3	1		4	3					3	
7月		1			1	2					2	
8月		6			6	2		1			3	
9月		2			2	1					1	
10月		6	1		7	4	1				5	
11月		6			6	5					5	
12月		15	1	1	17	5	1				6	
2013年	1月	4			4	3	2				5	
	2月	2			2	2					2	
	3月	2			2	2					2	
	4月	8	1		9	3	1				4	
	5月	2	1		3	1		1			2	
	6月	1			1	1					1	
	7月	8			8	3					3	
	8月	2	1		3			1			1	
	9月	1			1	3		1			4	
	10月	8		1	9	5					5	
	11月	3			3	2					2	
	12月	9			9	3	1				4	
2014年	1月	4			4	1					1	
	2月	4			4	3					3	
	3月	2			2						0	
	4月	4			4	2					2	
	5月	1			1	1					1	
	6月	3			3	3					3	
	7月	2		1	3	4	1				5	
	8月	1			1	1					1	
	9月	2			2	3					3	
	10月	1			1	2					2	
計	709	104	9	822	267	47	15	2	2	333		

震央分布図
(期間等は前ページと同じ)

領域a内の時空間分布図 (A-B投影)、M-T図及び回数積算図



10 月 3 日 岩手県沖の地震

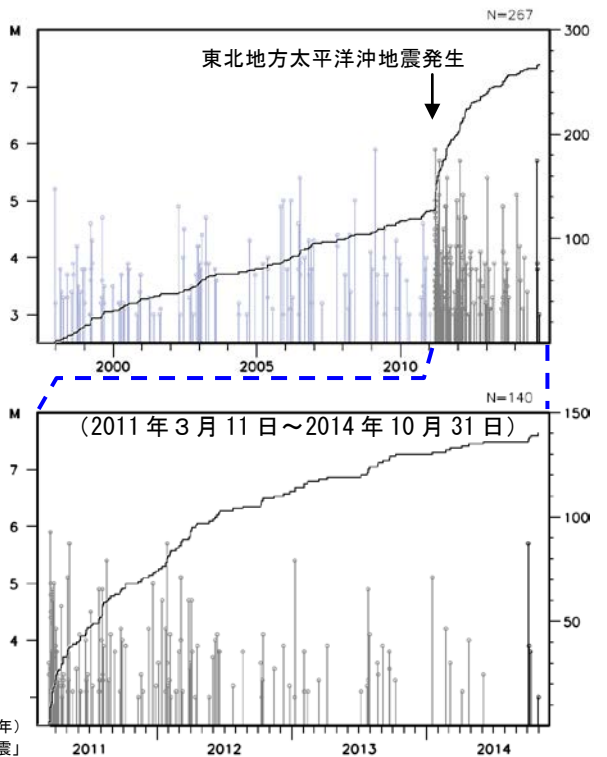


2014 年 10 月 3 日 09 時 57 分に岩手県沖の深さ 28km で M5.7 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

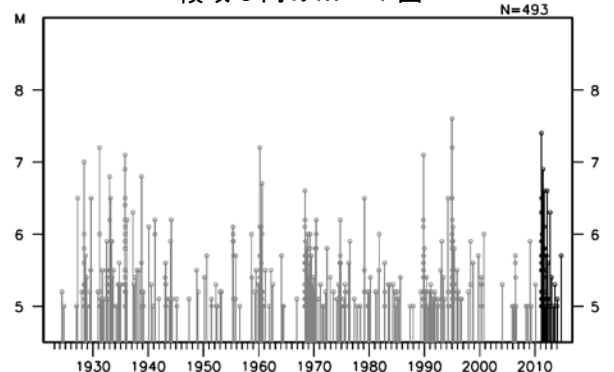
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、M5.0 以上の地震がしばしば発生している。この領域では「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動が活発化したが、その後次第に低下してきている。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、M7.0 を超える地震が時々発生している。

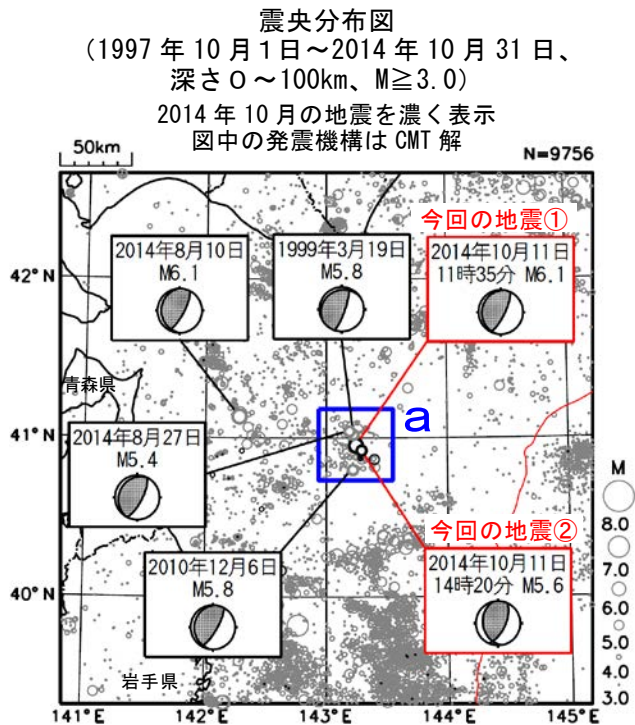
領域 b 内の M－T 図及び回数積算図



領域 c 内の M－T 図



10 月 11 日 青森県東方沖の地震

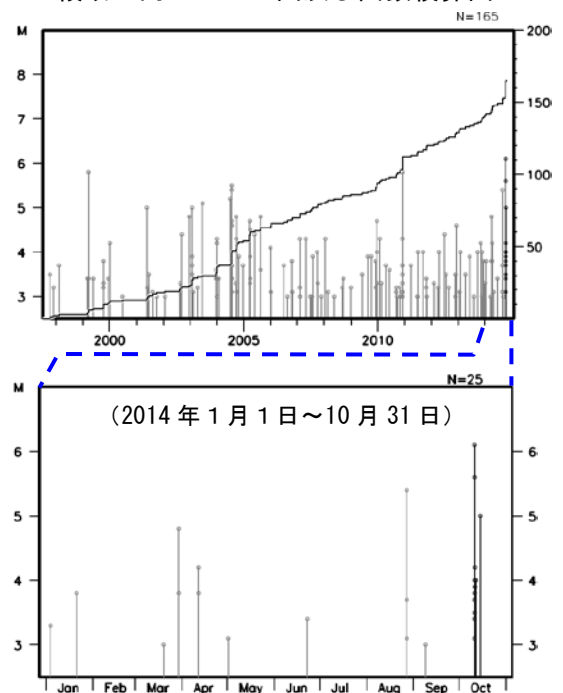


2014 年 10 月 11 日 11 時 35 分に青森県東方沖で M6.1 の地震（最大震度 4、今回の地震①）が発生した。また、同日 14 時 20 分にほぼ同じ場所で M5.6 の地震（最大震度 3、今回の地震②）が発生した。これらの地震は発震機構（CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。これらの地震の震央付近（領域 a）では、10 月 15 日までに、M4.0 以上の地震が 6 回発生した。

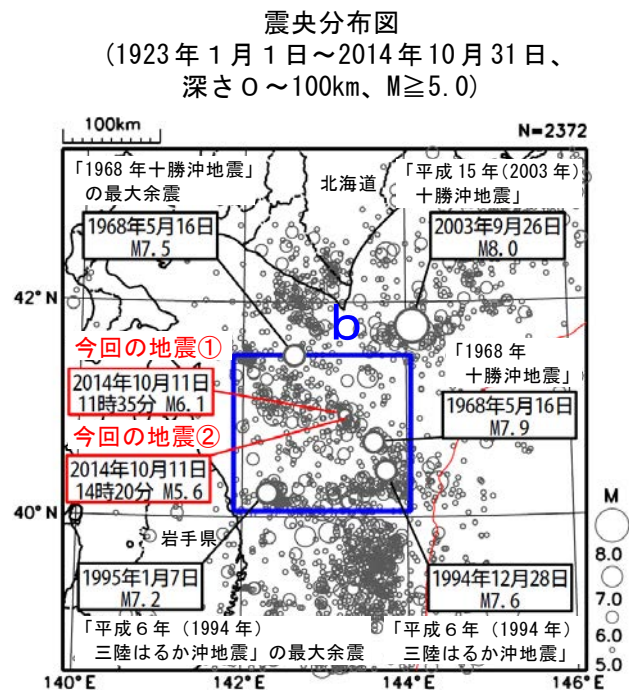
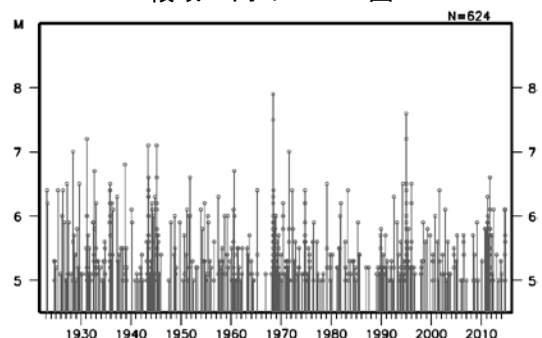
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 a）では、2010 年 12 月 6 日に M5.8 の地震（最大震度 3）が発生するなど、M5.0 を超える地震が時々発生している。また、最近では、2014 年 8 月 27 日に M5.4 の地震（最大震度 2）が発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、「1968 年十勝沖地震」（M7.9、最大震度 5）や「平成 6 年（1994 年）三陸はるか沖地震」（M7.6、最大震度 6）が発生するなど、M7.0 以上の地震が時々発生している。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図

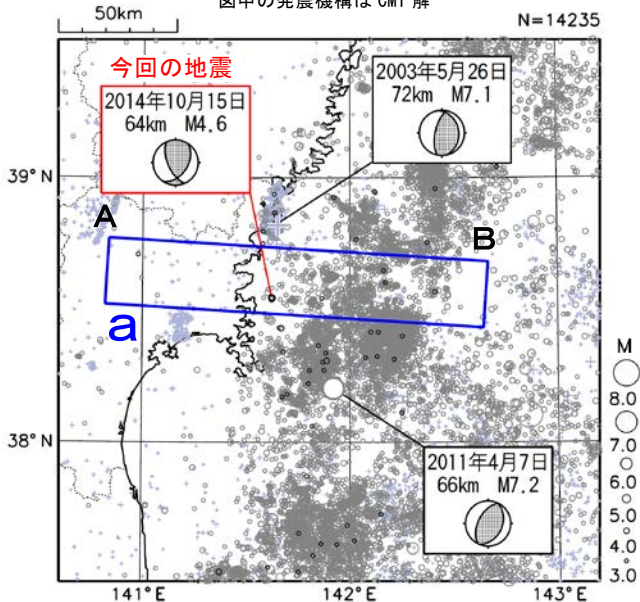


10 月 15 日 宮城県沖の地震

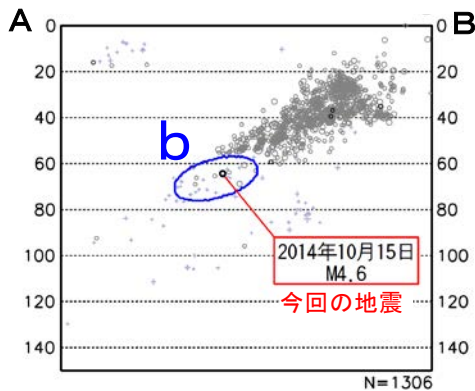
震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2014 年 10 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を＋、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、
2014 年 10 月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構は CMT 解



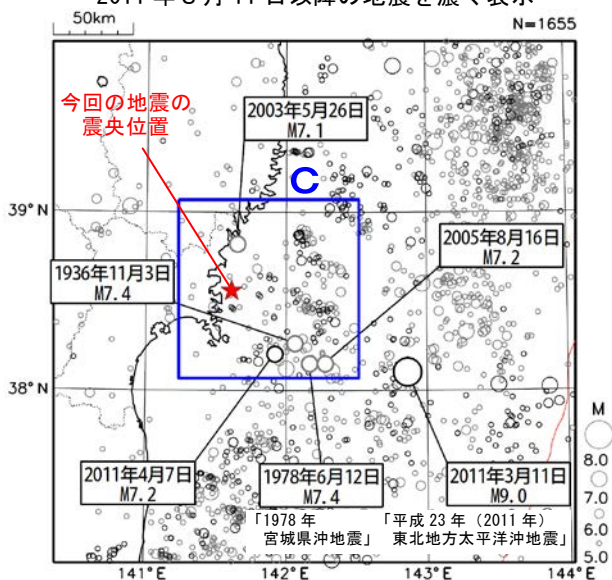
領域 a 内の断面図（A-B 投影）



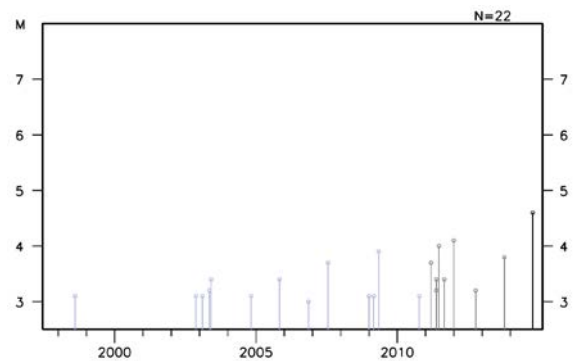
震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2014 年 10 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)

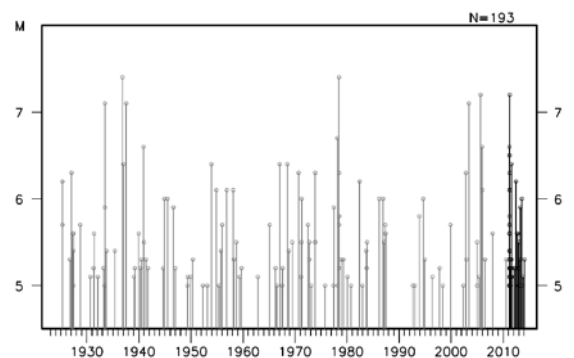
2011 年 3 月 11 日以降の地震を濃く表示



領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図



○関東・中部地方の地震活動

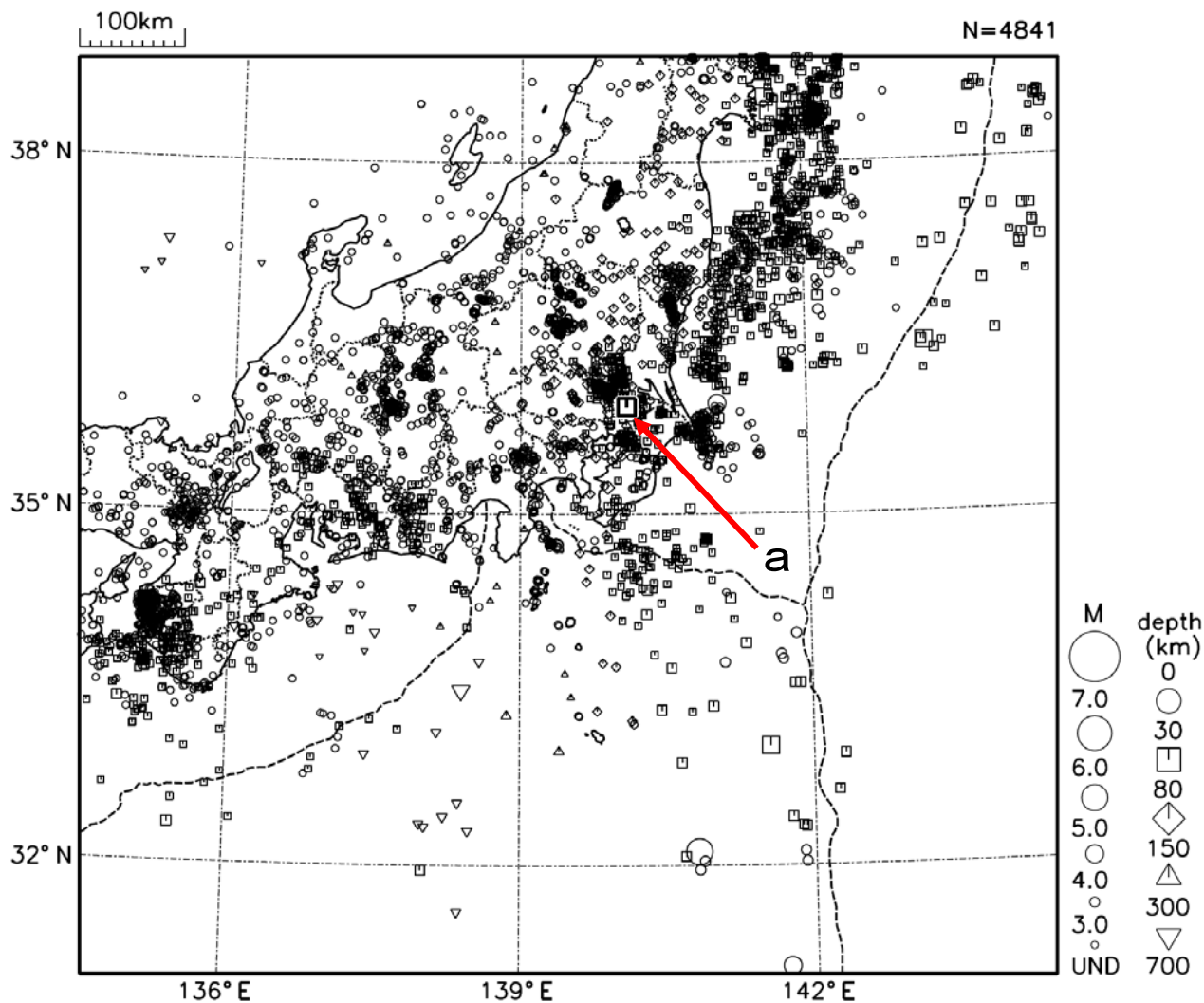


図6 関東・中部地方の震央分布図（2014年10月1日～10月31日）

[概況]

10月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は45回（9月は94回）であった。10月中の主な地震活動は次のとおりである。

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震が、引き続き岩手県から千葉県北東部にかけての沿岸及びその沖合の広い範囲で発生した（p. 7の図5、p. 8、9参照）。

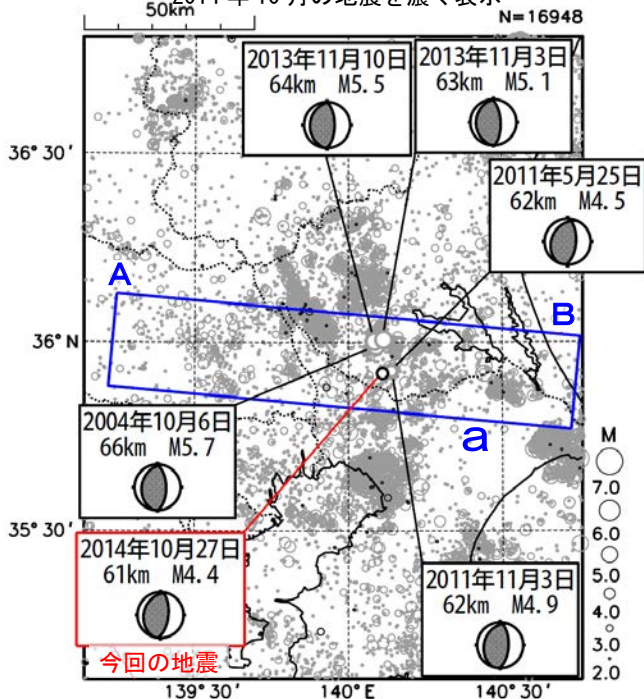
27日15時36分に茨城県南部の深さ61kmでM4.4の地震（図6中のa）が発生し、茨城県と栃木県で震度3を観測したほか、東北地方南部から中部地方の一部にかけて震度2～1を観測した（p. 5、14参照）。

10 月 27 日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2014 年 10 月 31 日、
深さ 0～120km、 $M \geq 2.0$)

2014 年 10 月の地震を濃く表示

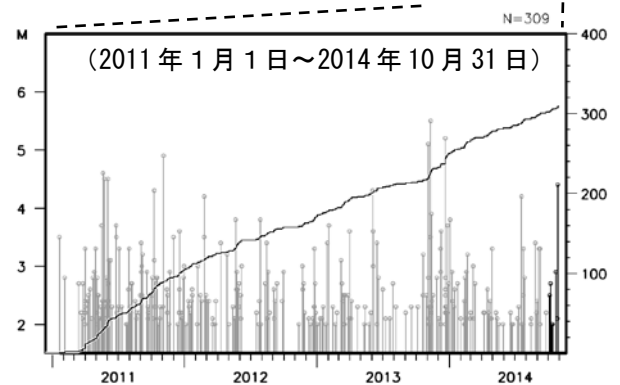
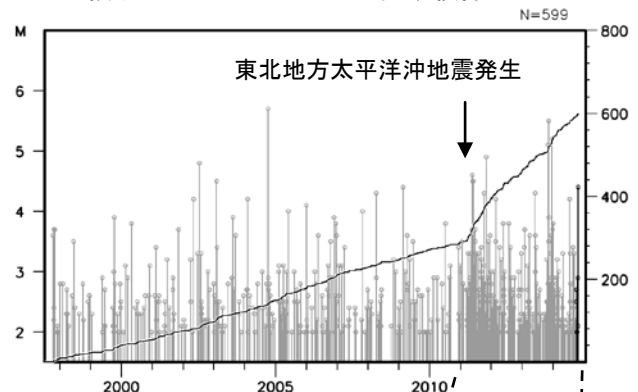


2014 年 10 月 27 日 15 時 36 分に茨城県南部の深さ 61km で M4.4 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

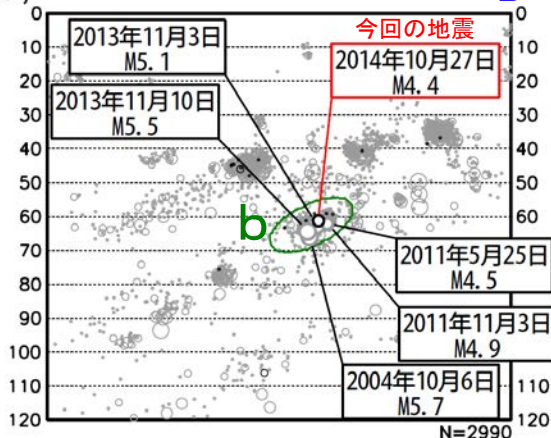
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、M4.0 以上の地震がしばしば発生しており、2004 年 10 月 6 日には、M5.7 の地震 (最大震度 5 弱) が発生し、負傷者 4 人、水道管破裂などの被害を生じている (被害は総務省消防庁による)。また、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動が以前より活発になっている。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 程度の地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

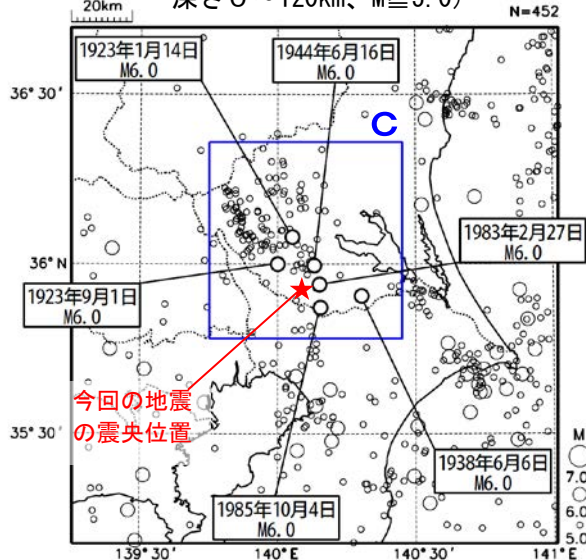


(km) A 領域 a 内の断面図 (A-B 投影) B

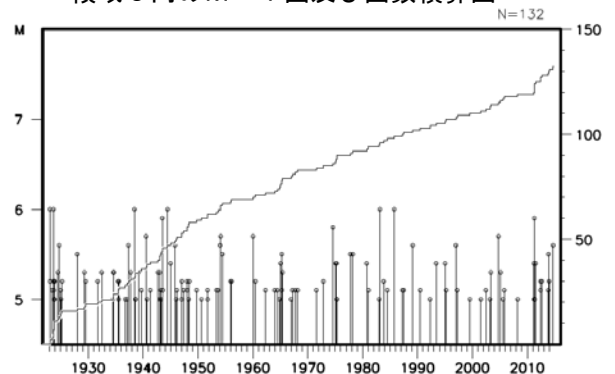


震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2014 年 10 月 31 日、
深さ 0～120km、 $M \geq 5.0$)



領域 c 内の M-T 図及び回数積算図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

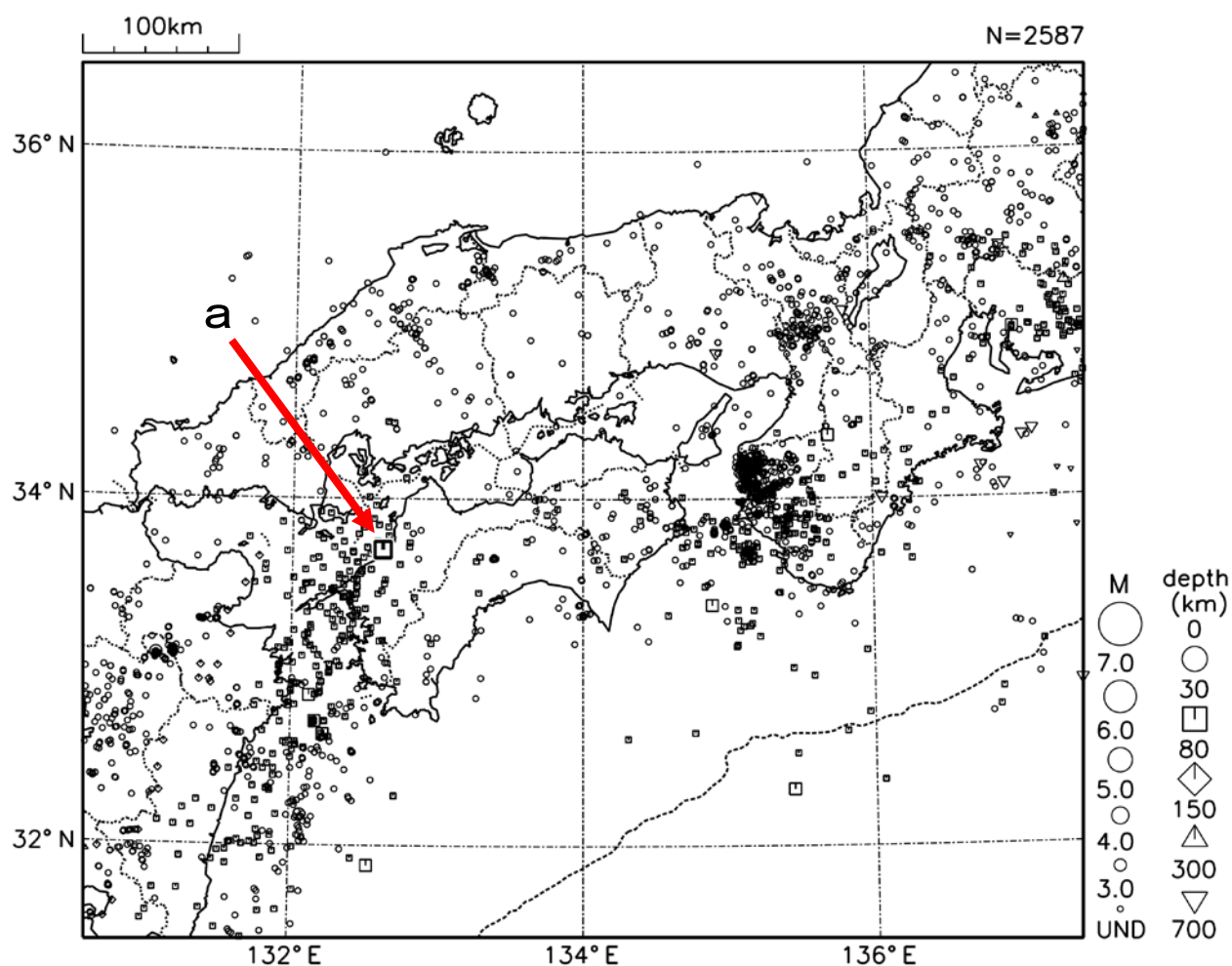


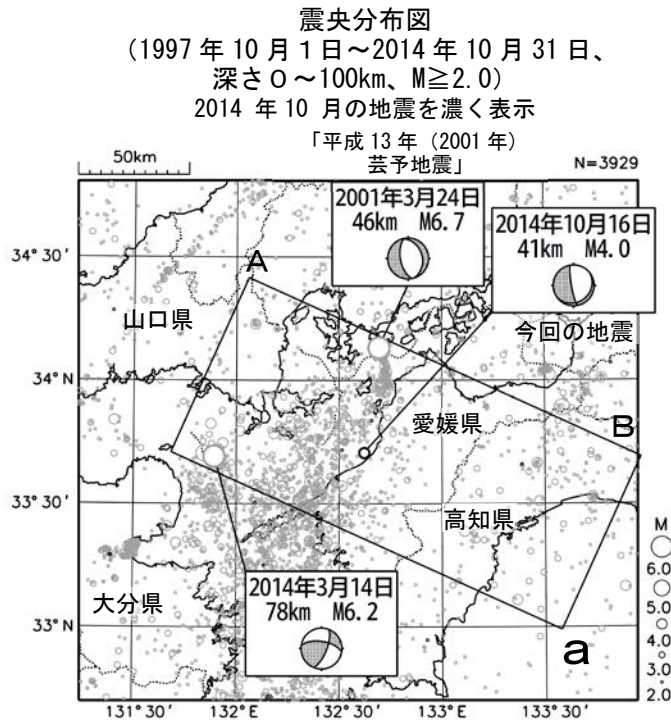
図 7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2014 年 10 月 1 日～10 月 31 日）

〔概況〕

10 月に近畿・中国・四国地方で震度 1 以上を観測した地震は 15 回（9 月は 18 回）であった。
10 月中の主な活動は次のとおりである。

16 日 04 時 39 分に伊予灘の深さ 41km で M4.0 の地震（図 7 中の a）が発生し、愛媛県内子町で震度 3 を観測したほか、中国、四国、九州地方で震度 2～1 を観測した（p. 5、16 参照）。

10 月 16 日 伊予灘の地震

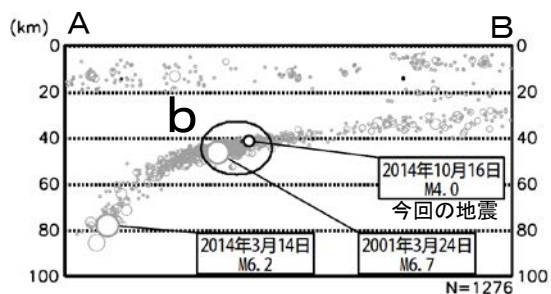


2014 年 10 月 16 日 04 時 39 分に伊予灘の深さ 41km で M4.0 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発震機構は、東西方向に張力軸を持つ型である。

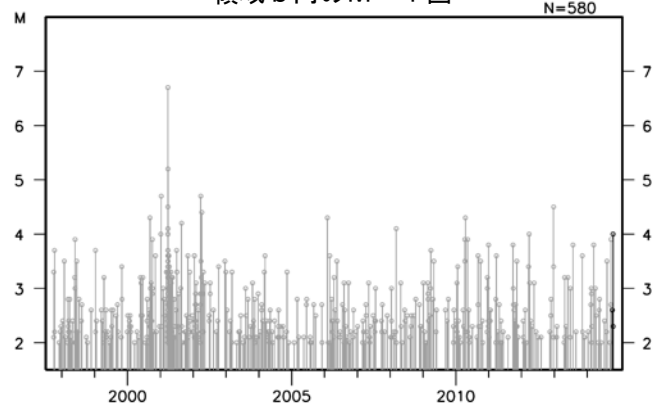
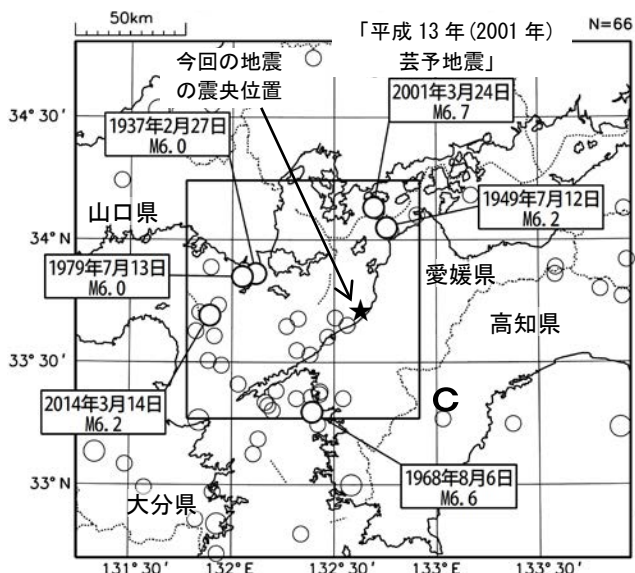
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M4.0 以上の地震が時々発生している。2001 年 3 月 24 日に「平成 13 年 (2001 年) 芸予地震」 (M6.7、最大震度 6 弱) が発生し、死者 2 人、住家全壊 70 棟などの被害が生じた (総務省消防庁による)。また、周辺では 2014 年 3 月 14 日に M6.2 の地震 (最大震度 5 強) が発生し、重傷者 2 人、軽傷者 19 人、住家の一部破損 57 棟の被害が生じた (総務省消防庁による)。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 以上の地震が 6 回発生している。

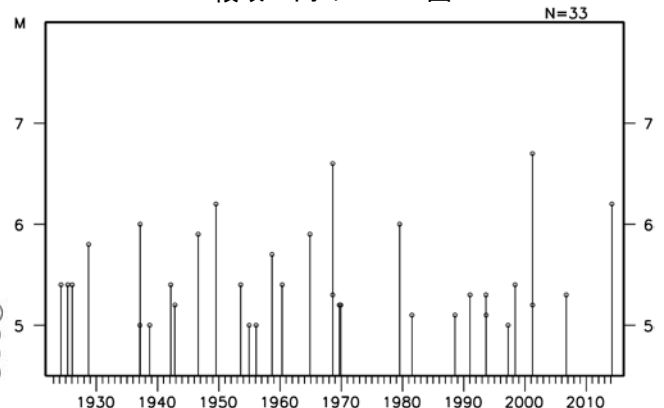
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図

震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2014 年 10 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)

領域 c 内の M-T 図



○九州地方の地震活動

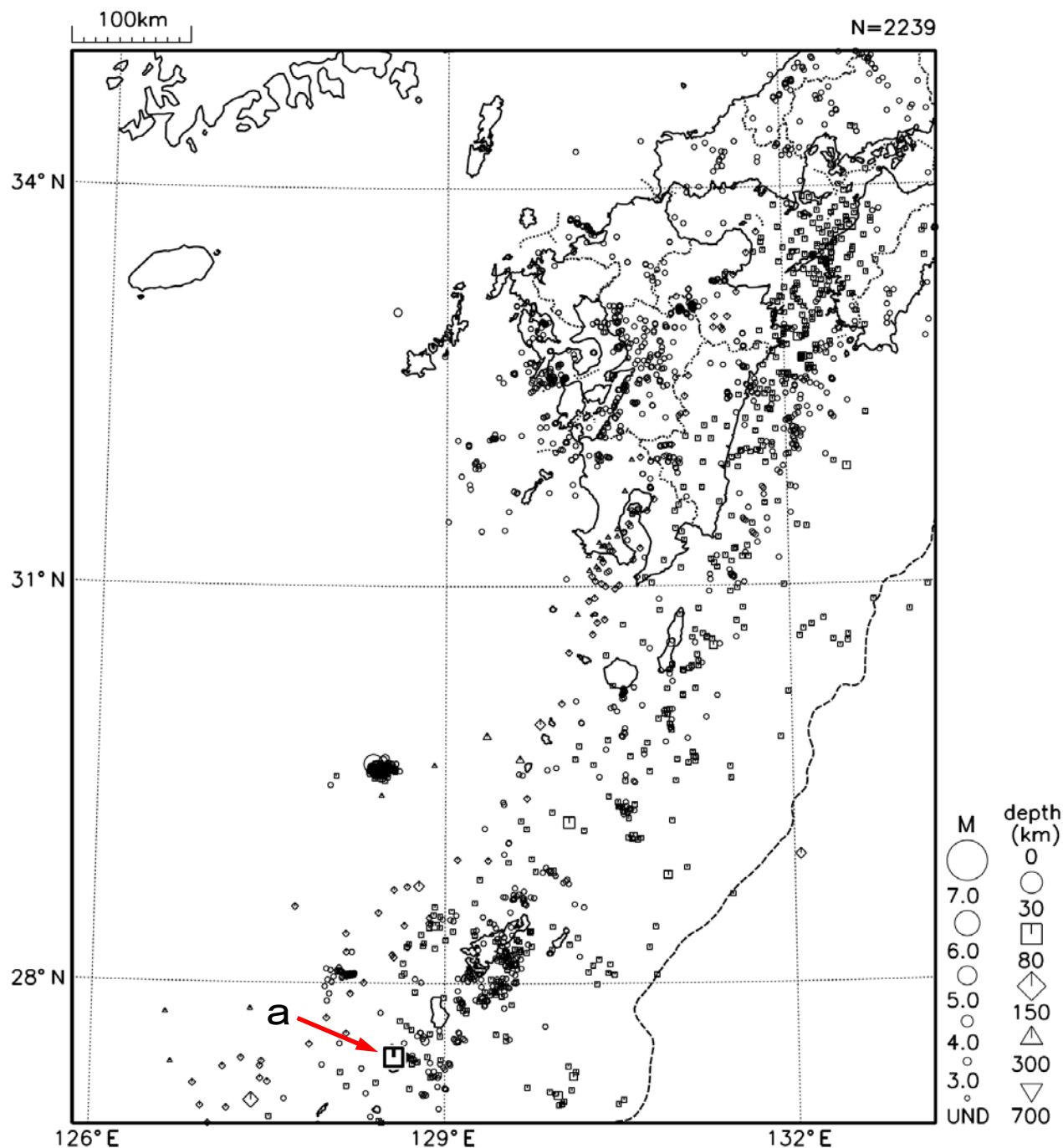


図8 九州地方の震央分布図（2014年10月1日～10月31日）

[概況]

10月に九州地方で震度1以上を観測した地震は15回（9月は21回）であった。10月中の主な地震活動は次のとおりである。

22日09時15分に沖縄本島近海（沖永良部島付近）の深さ51kmでM5.6の地震（図8中のa）が発生し、鹿児島県の日置市（徳之島）、知名町（沖永良部島）、与論町（与論島）で震度4を観測したほか、鹿児島県（奄美群島）と沖縄県（沖縄本島から久米島にかけて）で震度3～1を観測した（p. 5、18参照）。

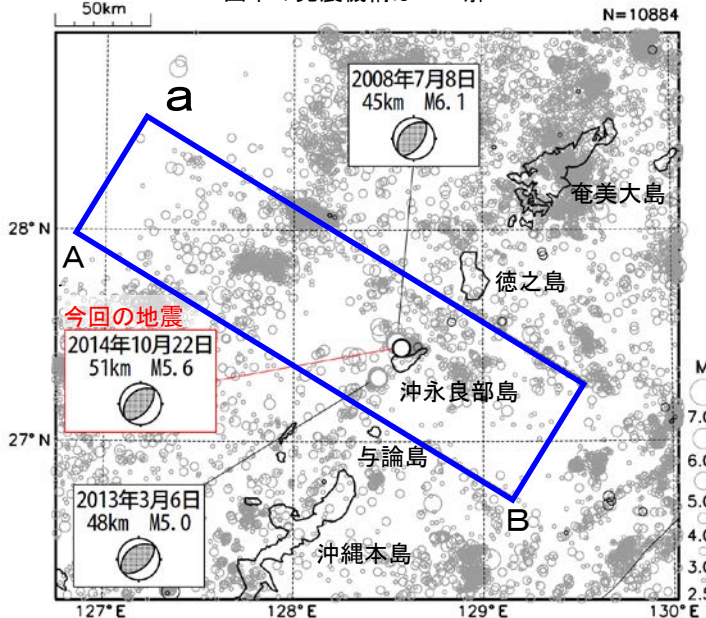
10 月 22 日 沖縄本島近海（沖永良部島付近）の地震

震央分布図

(1994 年 10 月 1 日～2014 年 10 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 2.5$)

2014 年 10 月の地震を濃く表示

図中の発震機構は CMT 解



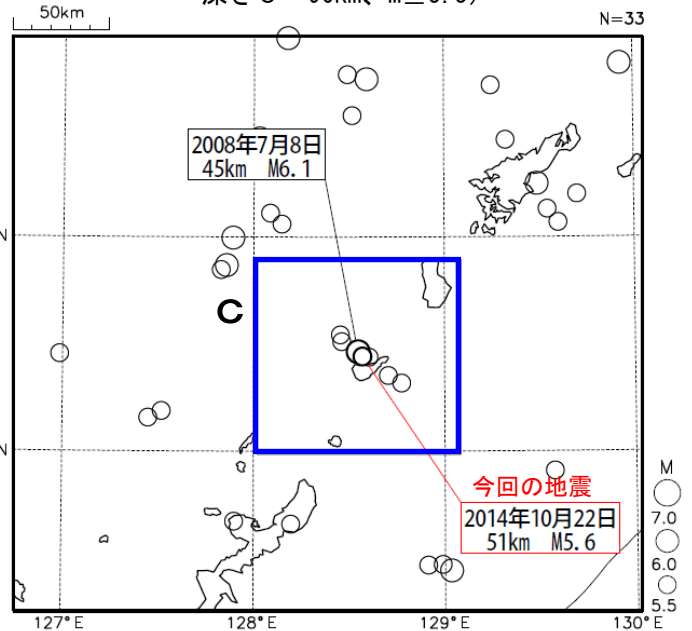
2014 年 10 月 22 日 09 時 15 分に沖縄本島近海（沖永良部島付近）の深さ 51km で $M 5.6$ の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT 解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1994 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺（領域 b）では、 $M 5.0$ 以上の地震がしばしば発生しており、最近では 2013 年 3 月 6 日に $M 5.0$ の地震（最大震度 4）が発生している。

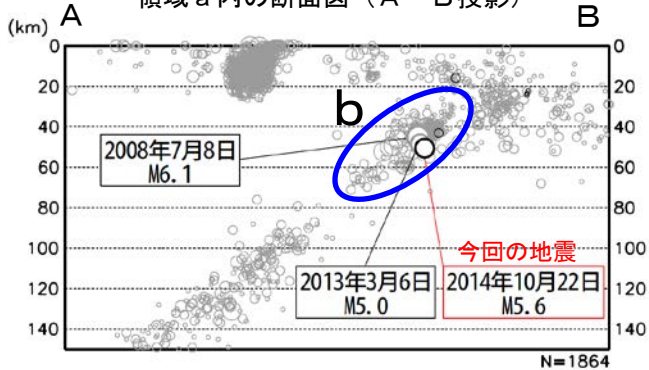
1973 年 1 月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、2008 年 7 月 8 日に $M 6.1$ の地震（最大震度 5 弱）が発生し、鹿児島県与論町（与論島）のホテルの壁の一部破損や柱の石膏ボード破損の被害が生じた（総務省消防庁による）。

震央分布図

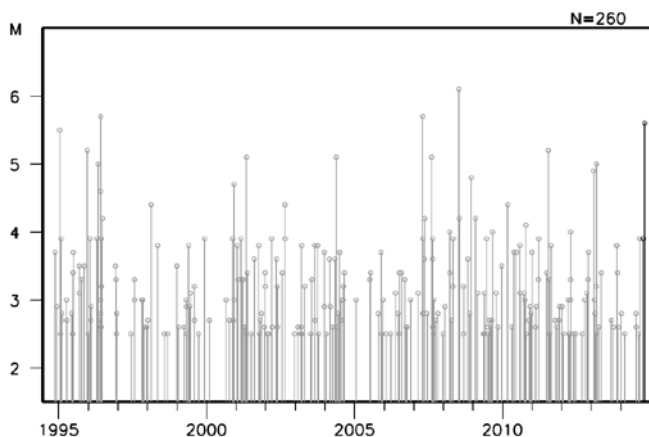
(1973 年 1 月 15 日～2014 年 10 月 31 日、
深さ 0～90km、 $M \geq 5.5$)



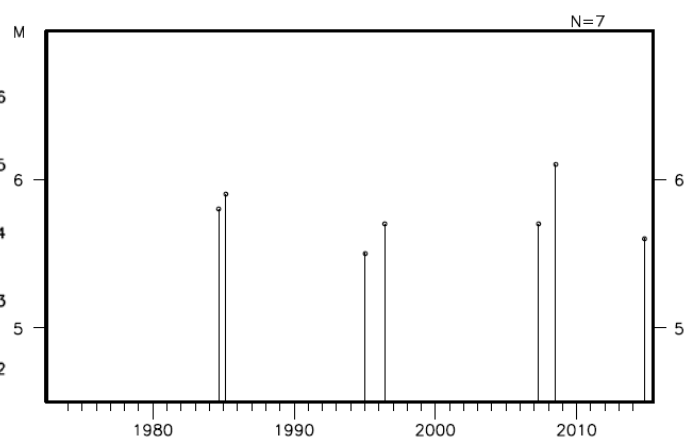
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図



○沖縄地方の地震活動

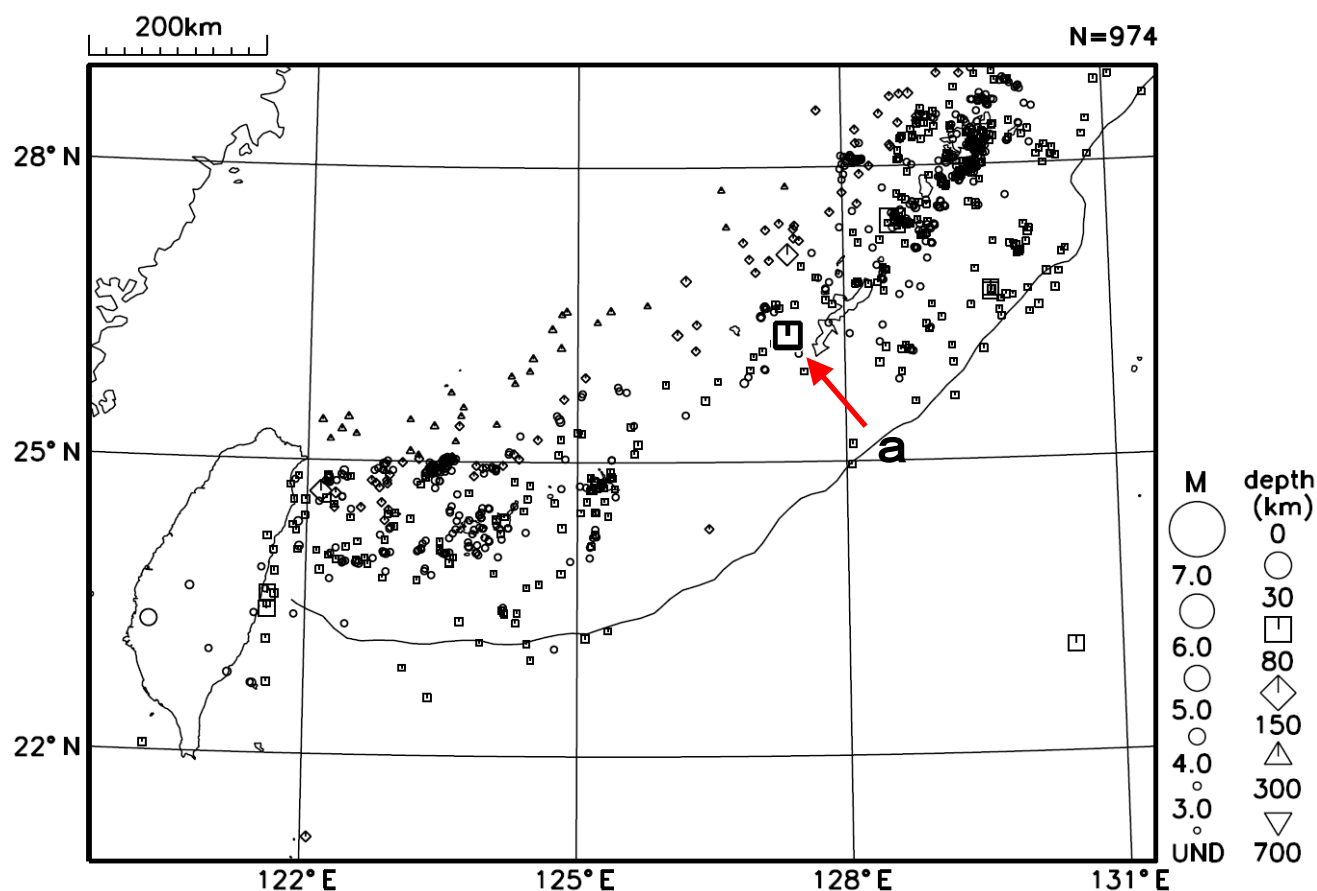


図9 沖縄地方の震央分布図（2014年10月1日～10月31日）

〔概況〕

10月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は7回（9月は10回）であった。
10月中の主な活動は次の通りである。

15日07時52分に沖縄本島近海の深さ46kmでM5.1の地震（図9中のa）が発生し、沖縄県座間味村（慶良間諸島）で震度4を観測したほか、鹿児島県（与論島）と沖縄県（沖縄本島から久米島にかけて）で震度3～1を観測した（p. 4、20 参照）。

○その他の地域の地震活動

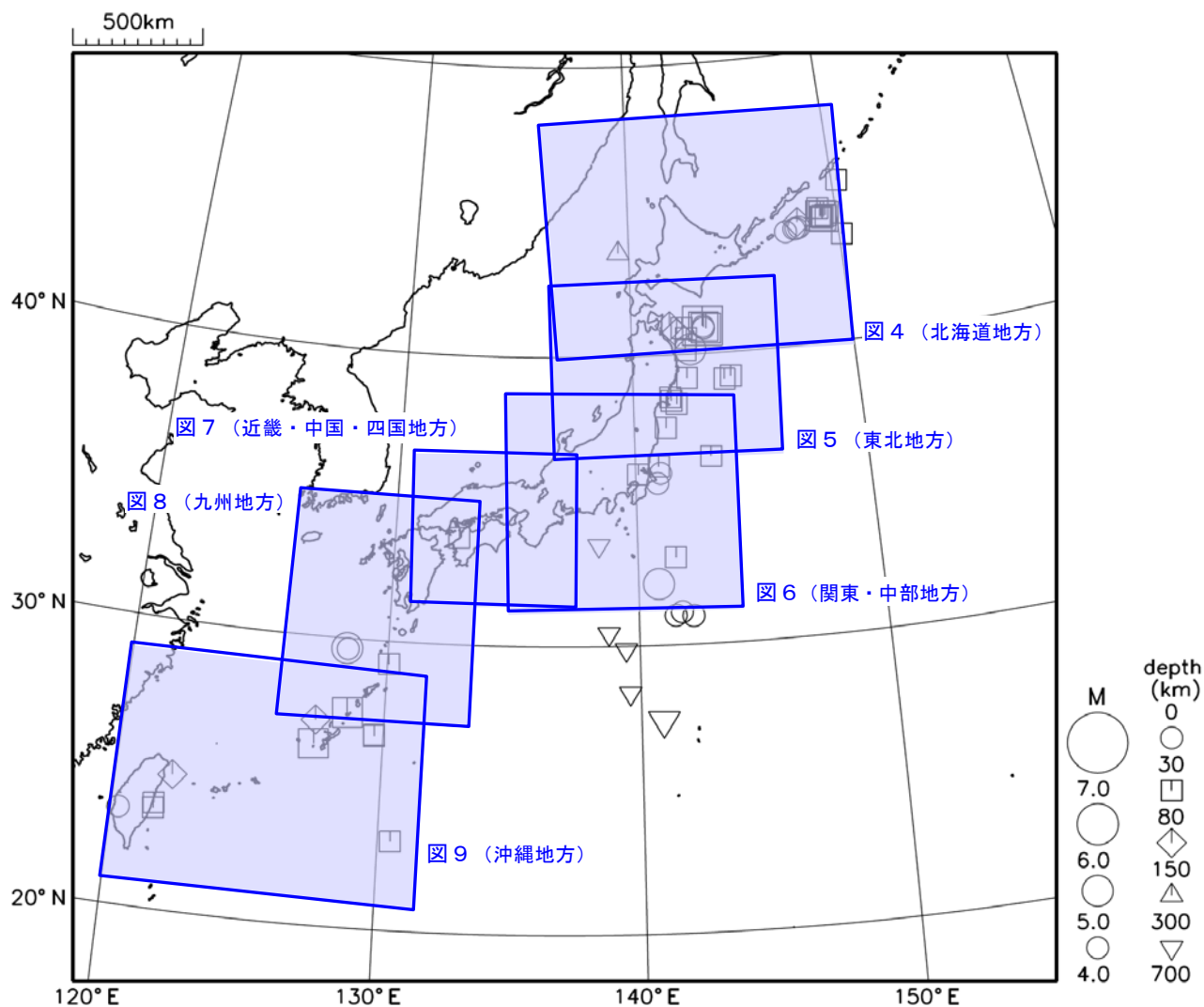


図 10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2014 年 10 月 1 日～10 月 31 日、 $M \geq 4.0$ ）

〔概況〕

10 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は 1 回（9 月は 0 回）であった。
10 月中、図 4～9 の領域外で特に目立った活動はなかった。

●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動と 地震防災対策強化地域判定会検討結果

東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

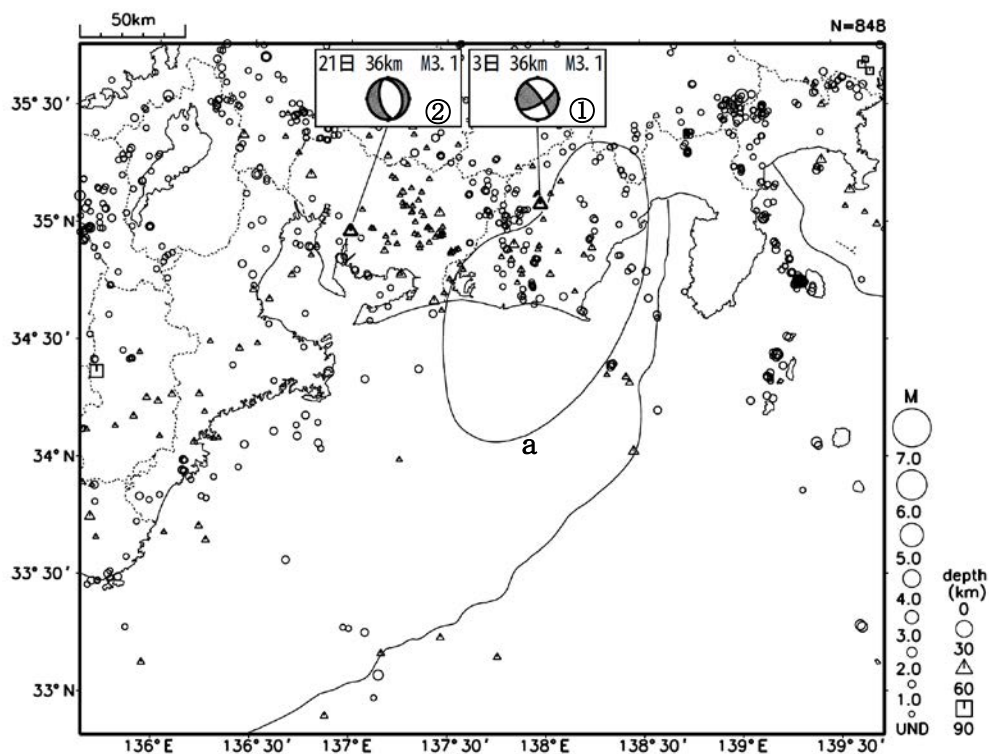


図1 震央分布図（2014年10月1日～31日：深さ0～90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。）

〔概況〕

- ① 3日23時07分に静岡県西部の深さ36kmでM3.1の地震（最大震度1）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。
- ② 21日15時37分に愛知県西部の深さ36kmでM3.1の地震（最大震度1）が発生した。この地震は発震機構が東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する

地震防災対策強化地域判定会検討結果

10 月 27 日に気象庁において第 342 回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」として次の調査結果を発表した（図 2～図 8）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

1. 地震の観測状況

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、引き続き地震の発生頻度の低い状態が続いています。

2. 地殻変動の観測状況

GNSS観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。

平成25年はじめ頃から静岡県西部から愛知県東部にかけてのGNSS観測及びひずみ観測にみられている通常とは異なる変化は、現在も継続しています。

3. 地殻活動の評価

平成25年はじめ頃から観測されている通常とは異なる地殻変動は、浜名湖付近のプレート境界で「長期的ゆっくりすべり」が発生している可能性を示しており、現在も継続しています。

そのほかに東海地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られていません。

以上のように、現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測していません。

なお、GNSS観測の結果によると「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地方においてもみられています。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年（1978 年）12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域を予め「地震防災対策強化地域」（以下、「強化地域」という。）として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、予め地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年（2002 年）4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 157 市町村（平成 24 年 4 月現在）が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震（東海地震）が起こった場合、震度 6 弱以上（一部地域では震度 5 強程度）になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地殻活動」を発表している。

〔東海地域の地震活動の頁で使われる用語〕

・「想定震源域」と「固着域」

東海地震発生時には、「固着域」（プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域）あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ（前兆すべり）が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図 2 の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で、2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生していたとされているゆっくりとしたすべり。過去にも何回か同様の現象が発生していたと考えられている。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、深部低周波地震（微動）の発生領域とはほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。

なお、地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008) * によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

* Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

(参考)

2014年10月22日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾	
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内 全域	西側	東側	全域	余震 除去
短期活動指数	4	5	2	4	2	3	3	5	4
短期地震回数 (平均)	5 (5.29)	8 (6.82)	8 (13.16)	12 (14.15)	3 (6.16)	1 (2.46)	2 (3.70)	7 (6.06)	4 (3.89)
中期活動指数	7	4	0	4	0	1	1	5	5
中期地震回数 (平均)	24 (15.87)	18 (20.45)	24 (39.48)	42 (42.44)	3 (12.32)	1 (4.93)	2 (7.39)	15 (12.12)	9 (7.79)

* Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M $\geq$ 1.1、駿河湾：M $\geq$ 1.4

* クラスタ除去：震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$

駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$

* 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間

浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間

* 基準期間： おおむね長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）発生前の地震活動を基準とする。

静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、

浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）

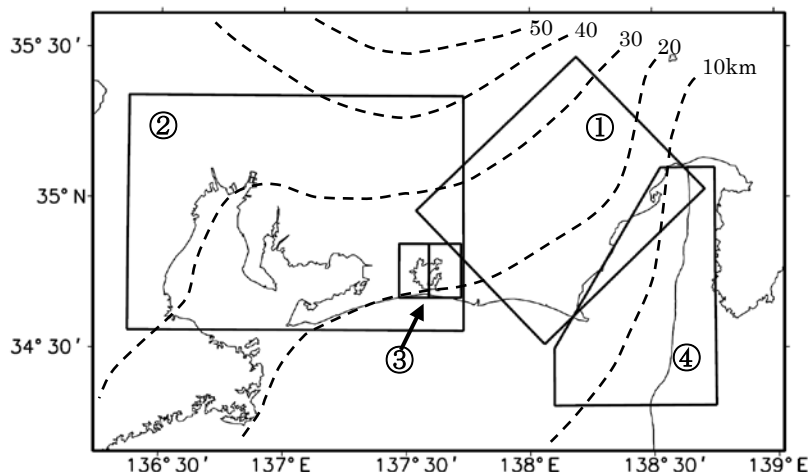
[各領域の説明] ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。

② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。

③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的ゆっくりすべり（スロースリップ）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。

④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

余震除去：2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除いて活動指数を求めた場合。



* Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

地震回数の指数化		
指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	やや多い
6	10	
5	15	
4	40	ほぼ平常
3	15	
2	10	
1	4	やや少ない
0	1	
		少ない

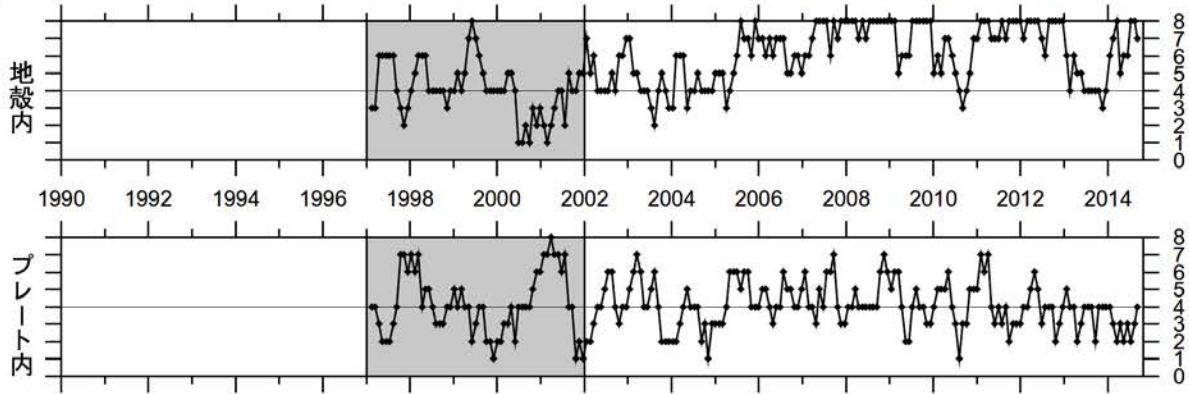
図2 東海地域の地震活動指数

気象庁作成

地震活動指数の推移（中期活動指数）

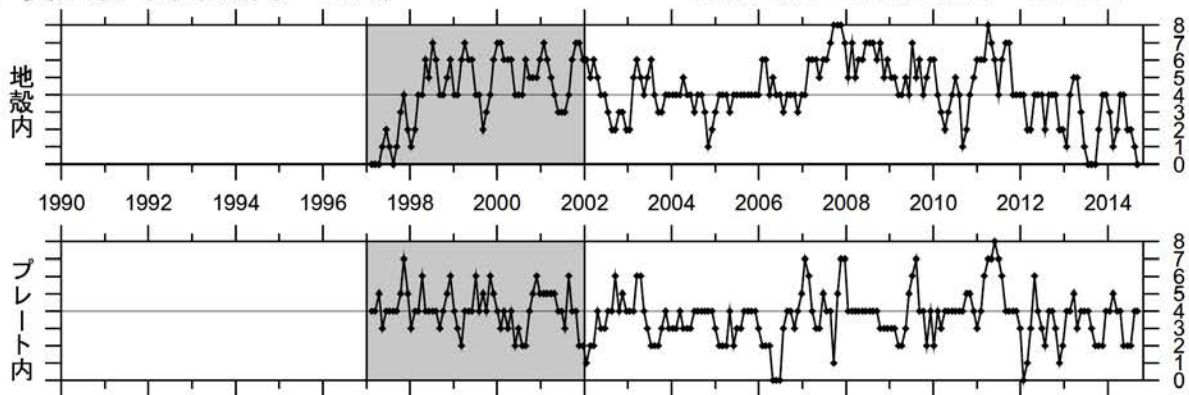
① 静岡県中西部（対象期間：90日）

1997/ 1/ 1~2014/10/22 M ≥ 1.1



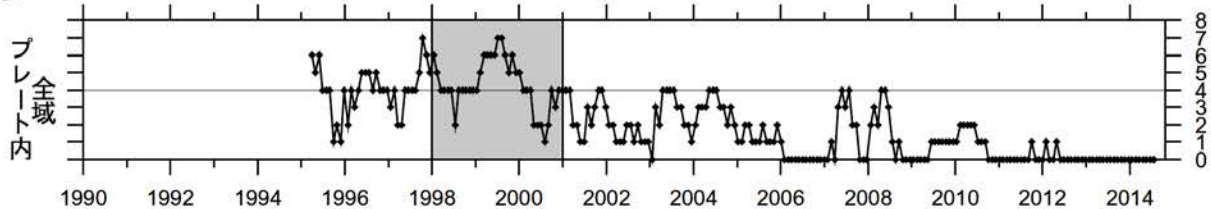
② 愛知県（対象期間：90日）

1997/ 1/ 1~2014/10/22 M ≥ 1.1



③ 浜名湖周辺（対象期間：180日）

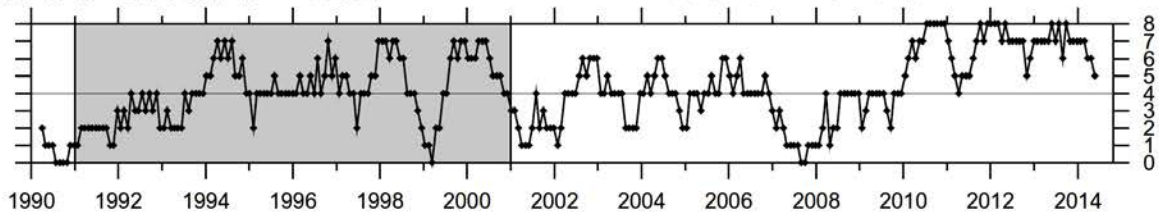
1995/ 1/ 1~2014/10/22 M ≥ 1.1



少ない
(継続中)

④ 駿河湾（対象期間：180日）

1990/ 1/ 1~2014/10/22 M ≥ 1.4



2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除去した場合

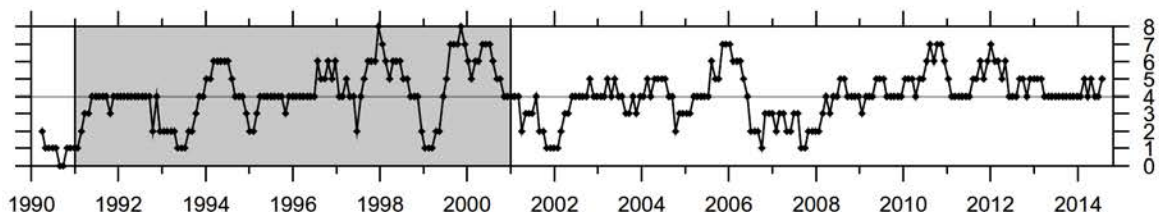


図3 東海地域の地震活動指数の推移

■：基準期間

／：地震活動指数（0－8）

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度の低い状態が続いている。その他の地域では概ね平常レベルである。

気象庁作成

深部低周波地震活動（2000 年 1 月 1 日～2014 年 10 月 22 日）
 深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

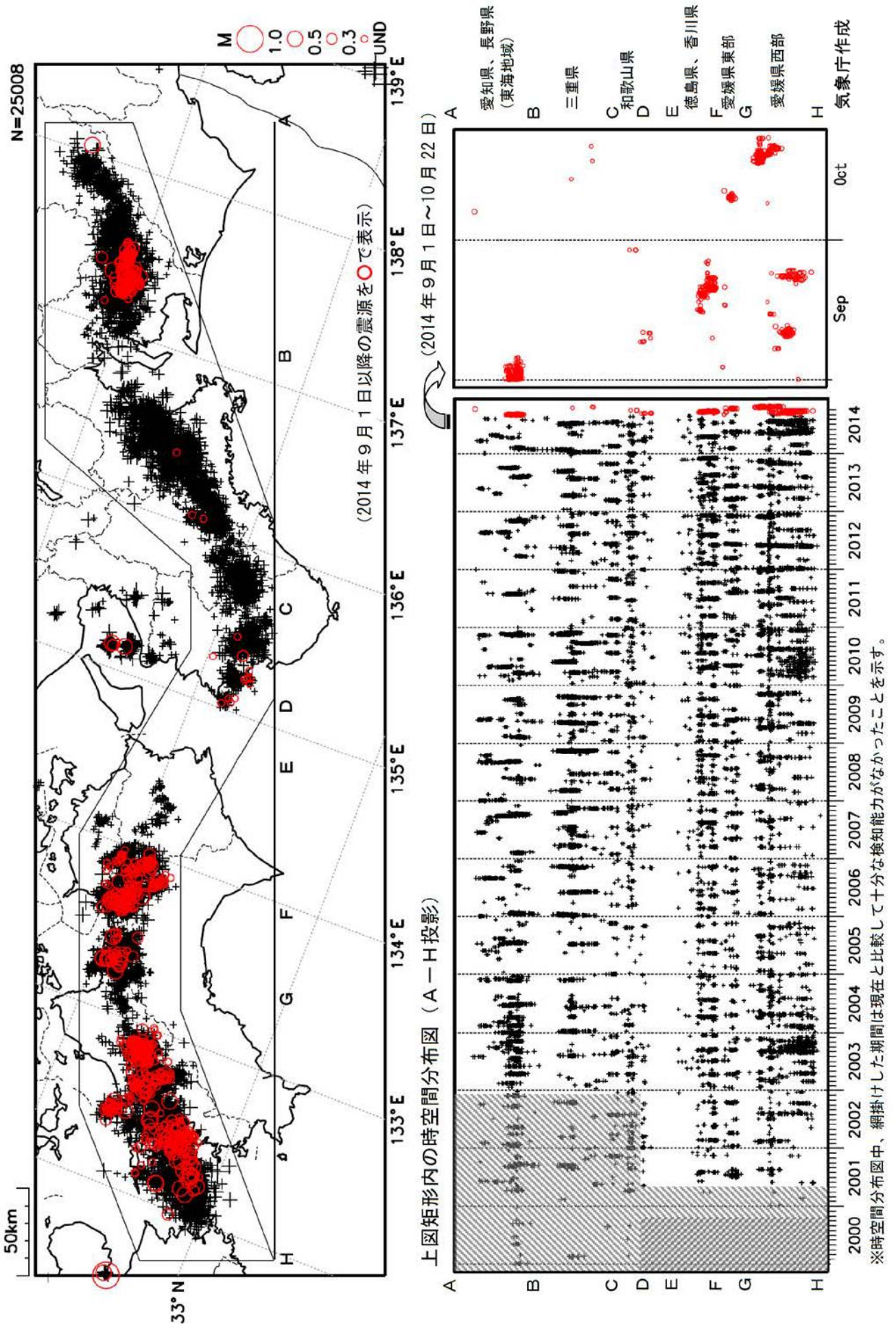
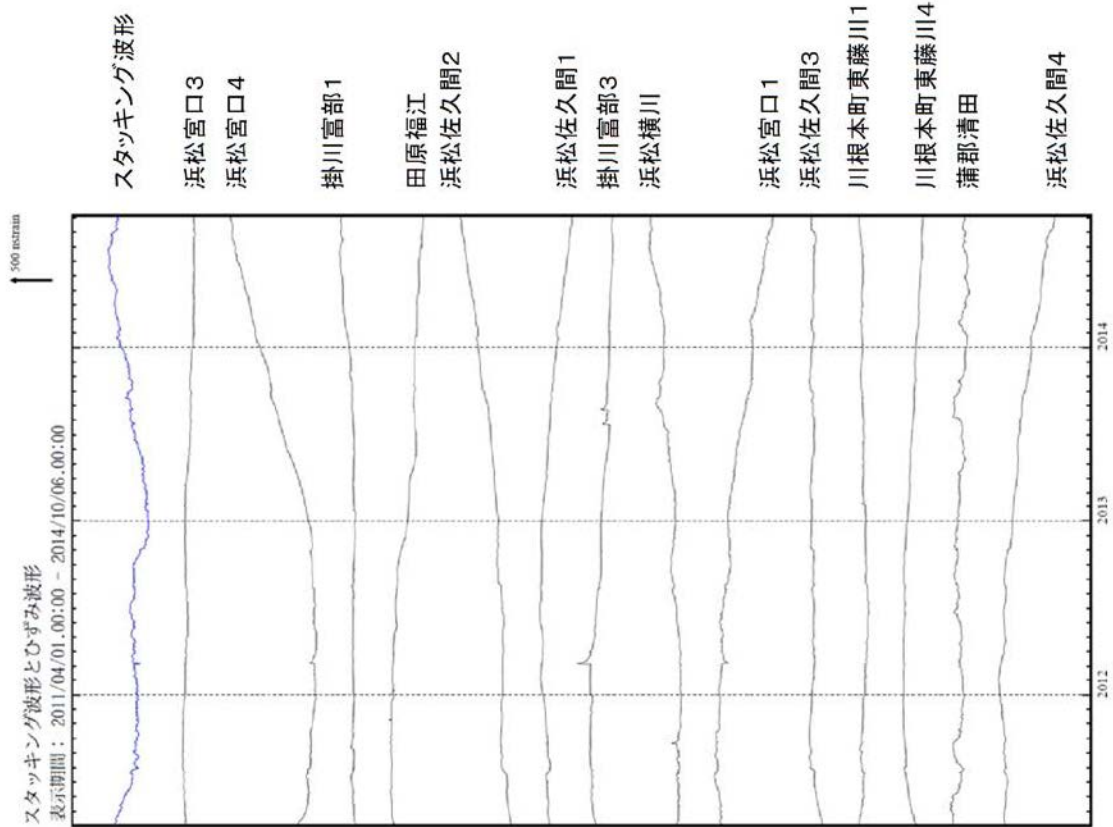
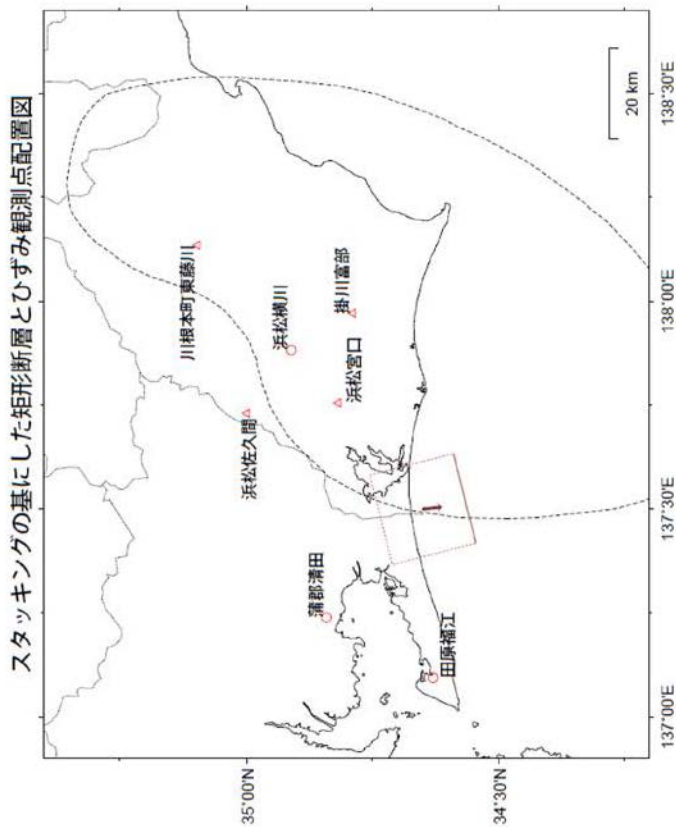


図 4 深部低周波地震活動(2000 年 1 月 1 日～2014 年 10 月 22 日)

浜名湖周辺に長期的ゆっくりすべりを仮定したスタッキング波形

国土地理院によるすべり推定結果において、大きくすべった領域を矩形で近似し、その矩形断層を基に各観測点のデータをスタッキングした結果が右のグラフである。ノイズは大きいものの、2013年初め頃から伸びの傾向が見える。



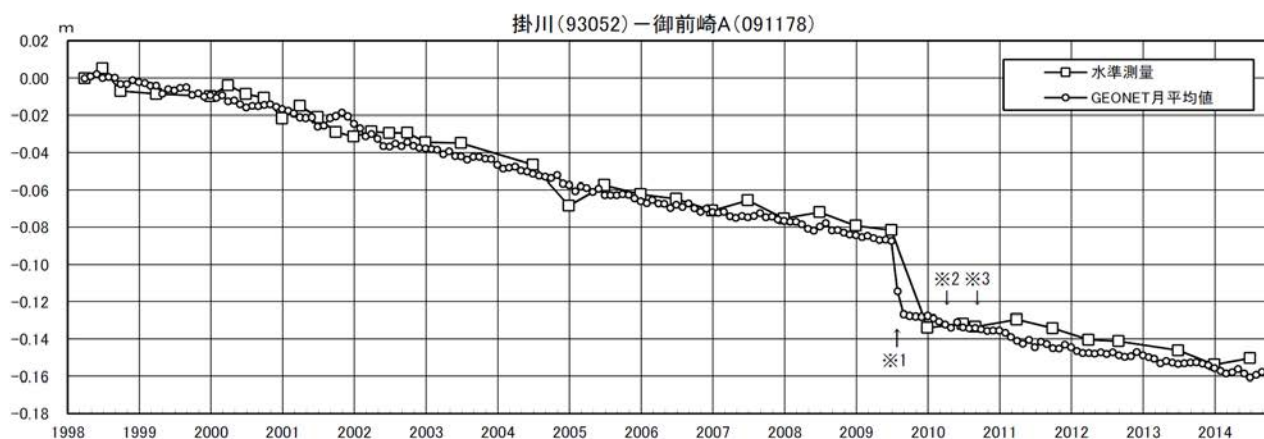
(参考文献)
宮岡一樹・横田崇(2012): 地殻変動検出のためのスタッキング手法の開発,
地震, 2, 65, 205-218.

図5 浜名湖周辺に長期的ゆっくりすべりを仮定したスタッキング波形

御前崎 電子基準点の上下変動

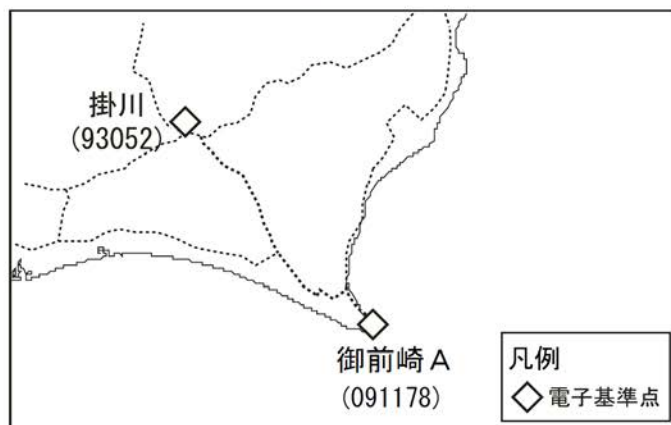
水準測量と G N S S 連続観測

掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。



- ※1 電子基準点「御前崎」は2009年8月11日の駿河湾を震源とする地震(M6.5)に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
 ※2 2010年4月以降は、電子基準点「御前崎」を、より地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎A」とした。
 上記グラフは、電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎A」のデータを接続して表示している。
 ※3 水準測量の結果は、移転後初めて変動量が計算できる2010年9月から表示。

位置図

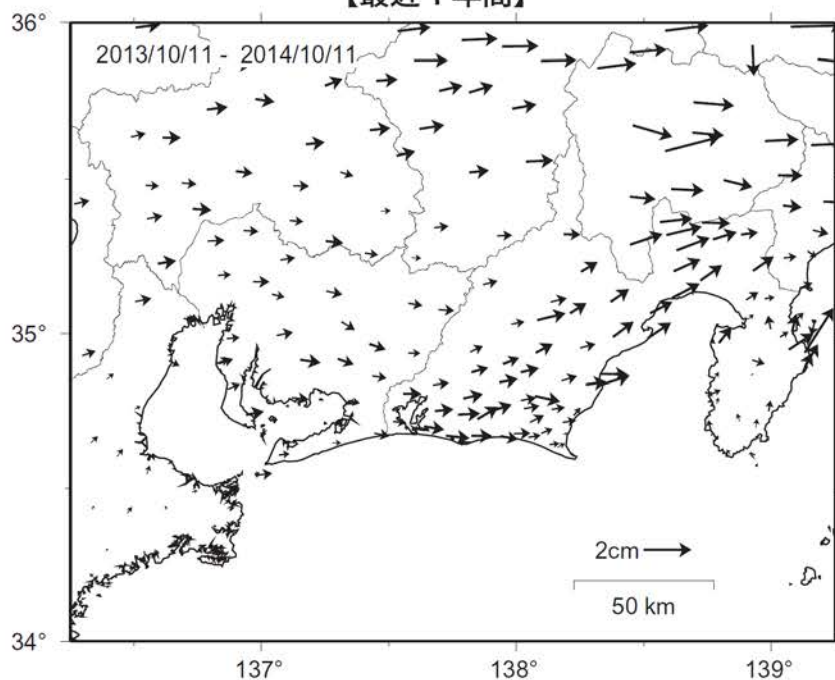


国土地理院

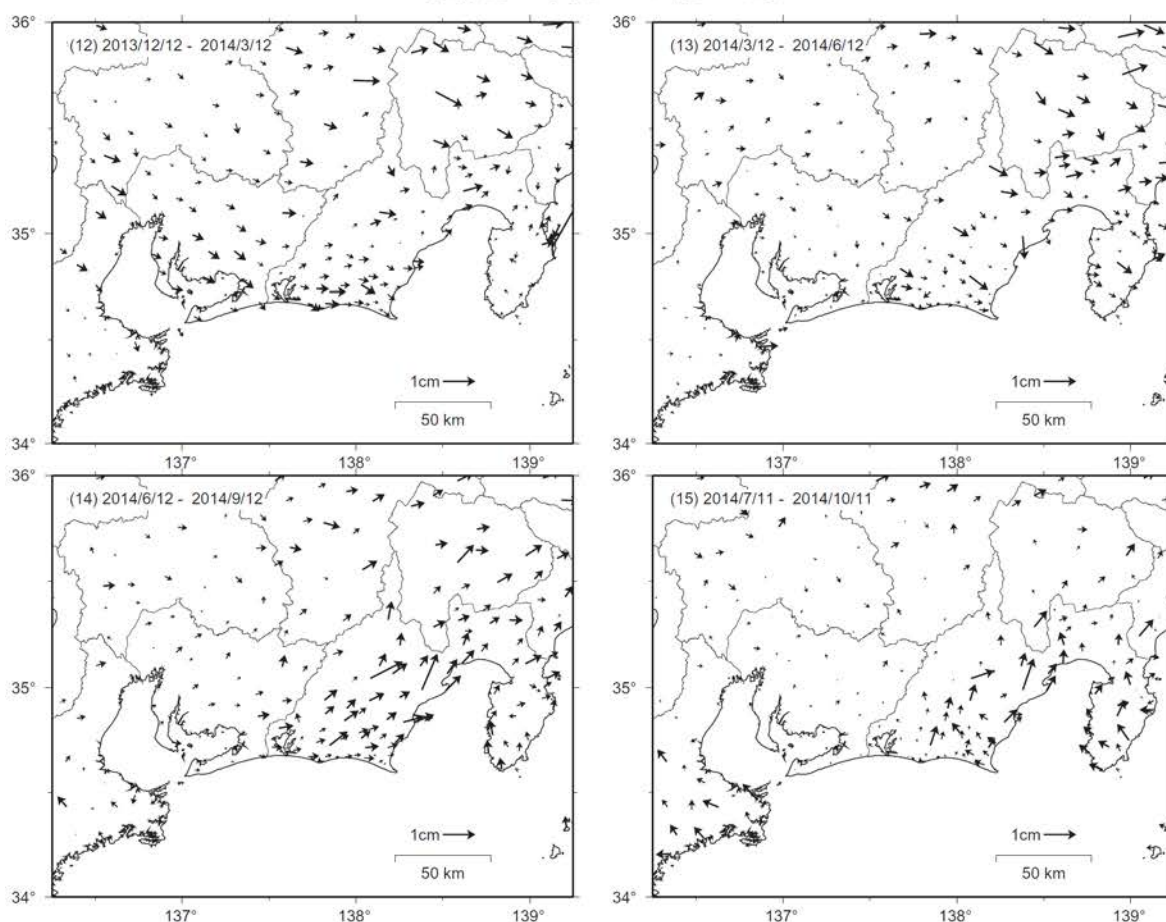
図 6 国土地理院の GNSS 観測結果及び水準測量による御前崎の上下変動

掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向に変化は見られない。

東海地方の非定常水平地殻変動【固定局：三隅】
（2013 年 10 月～2014 年 10 月）
【最近 1 年間】



【最近 1 年間 3 ヶ月ごと】



・平滑化した非定常地殻変動時系列から、1 年間と 3 ヶ月間の変動量を表示している。

※非定常地殻変動時系列：

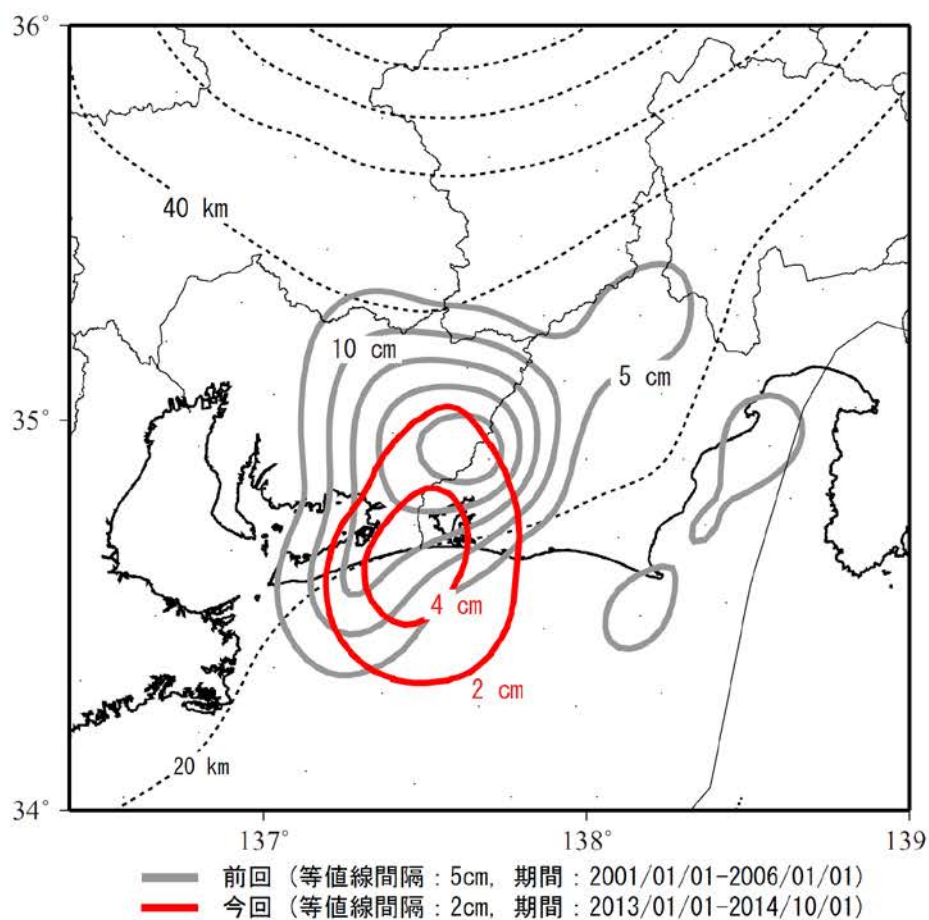
2008 年 1 月～2011 年 1 月のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去した時系列。

図 7 国土地理院の GNSS 観測結果による東海地方の非定常の水平地殻変動

国土地理院

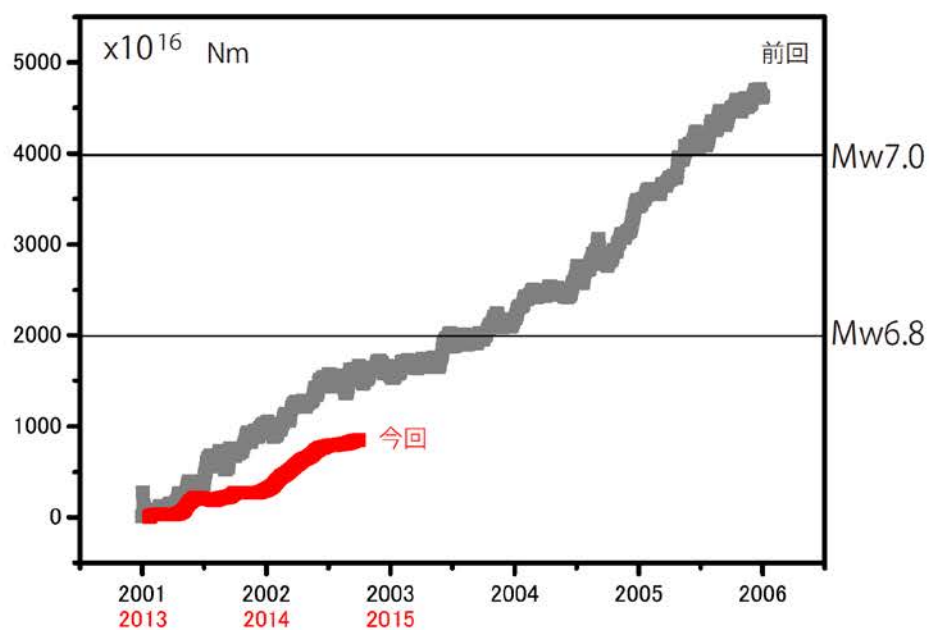
累積すべり分布及びモーメントの時間変化の比較（暫定）

累積すべり分布



- ・それぞれの期間の、累積のすべり量を等値線で示している。
- ・黒破線は、沈み込む海側プレート上面の等深線。

モーメントの時間変化



- ・それぞれの期間のモーメントの時間変化を、横軸を重ねて示している。

国土地理院

図 8 国土地理院の GNSS 観測結果による累積すべり分布及びモーメントの時間変化の比較

● 日本の主な火山活動

御嶽山では、火山活動には低下傾向がみられるものの、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。また、噴気活動や地震活動等が活発化する場合には、火口周辺に大きな噴石を飛散させ、火砕流を伴うような噴火となる可能性がある。火口から 4 km 程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒が必要である（特集（P54～P62）を参照）。

桜島では、爆発的噴火が発生するなど活発な噴火活動が継続した。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

口永良部島では噴火は発生しなかった。引き続き、火山活動は高まった状態で経過しており、新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒が必要である。

西之島では、噴火及び溶岩の流出が継続し新たに形成された陸地の拡大が確認されている。西之島の中心から概ね 6 km 以内の範囲では噴火に警戒が必要である。

草津白根山では、湯釜付近の膨張を示す地殻変動が認められるほか、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられている。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

阿蘇山では、22 日夜遅くから 23 日未明にかけて、中岳第一火口でごく小規模な噴火が発生したと考えられる。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられる。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、火山活動が高まっており、今後の状況によっては小規模な噴火が発生する可能性があると判断し、24 日に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表した。えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島では、噴火が時々発生するなど活発な火山活動が継続した。火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

蔵王山では、火山性微動が 4 回発生し、8 日及び 19 日に御釜の湖面の一部に白濁が確認されている。今後の火山活動の推移に注意が必要である。

表 1 10 月 31 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
（※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	御嶽山、桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル 2（火口周辺規制）	草津白根山、三宅島、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、 諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、 秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、 磐梯山、那須岳、浅間山、新潟焼山、焼岳、富士山、 箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、雲仙岳、 霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	平常	上記以外の活火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 10 月 31 日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 26 年 10 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
御嶽山 火口周辺警報	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 34 号～171 号、172 号～183 号、185 号～200 号	1 日～17 日 00 時 00 分 03 時 00 分 06 時 00 分 09 時 00 分 15 時 00 分 18 時 00 分 21 時 00 分 4 日 06 時 20 分 21 時 10 分 5 日 17 時 15 分 18 時 02 分 11 日 00 時 10 分 15 日 12 時 05 分 18 日～31 日 08 時 00 分 16 時 00 分	噴煙・微動の状況、地震回数等火山活動の状況。
		解説情報第 184 号	23 日 19 時 30 分	火山噴火予知連絡会による見解。
		火山活動解説資料	2 日 16 時 30 分 3 日 14 時 00 分 4 日～6 日、8 日、 10 日～13 日、15 日、 17 日～20 日、 22 日～24 日、27 日、 31 日 16 時 00 分 7 日、9 日、16 日 16 時 10 分 14 日、21 日 16 時 15 分	火山性微動の振幅の状況。現地調査の状況。

御嶽山 火口周辺警報	(噴火警戒レベル 3、入山規制)	降灰予報	1 日～9 日 03 時、09 時、 15 時、21 時 10 日 03 時、09 時、 15 時	噴火に伴い、降灰が予想される地域を発表。
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	降灰予報	23 日 08 時 27 分 24 日 12 時 25 分	噴火に伴い、降灰が予想される地域を発表。
		解説情報第 80 号～88 号	3 日、6 日、10 日、 14 日、17 日、20 日、 24 日、27 日、31 日 16 時 00 分	爆発的噴火による大きな噴石の飛散状況。その他、地震回数等火山活動の状況。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報第 33 号～38 号、 40 号～42 号	3 日、6 日、10 日、 14 日、17 日、20 日、 24 日、27 日、31 日 16 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。
		解説情報第 39 号	23 日 19 時 30 分	火山噴火予知連絡会による見解。
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報第 20 号～24 号	3 日、10 日、17 日、 24 日、31 日 16 時 00 分	地震回数等火山活動の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報第 35 号、37 号、 39 号、41 号	3 日、6 日、14 日、 20 日 16 時 00 分	噴火及び孤立型微動と火山性地震の状況。
		解説情報第 36 号	3 日 16 時 40 分	第 35 号の本文を訂正。
		解説情報第 38 号、40 号、 42 号～44 号	10 日、17 日、24 日、 27 日、31 日 16 時 00 分	現地調査の状況。噴火及び孤立型微動と火山性地震の状況。
霧島山（えびの高原（硫黄山）付近）	噴火予報（平常）	解説情報第 1 号	8 日 16 時 00 分	火山性地震の状況。8 月 20 日の微動発生状況。
	火口周辺警報 (火口周辺危険)	火口周辺警報	24 日 10 時 00 分	火山活動が高まっており、噴気や火山ガスなどが噴出し、今後状況によっては小規模な噴火が発生する可能性があることから噴火予報（平常）から火口周辺警報（火口周辺危険）へ引上げ。
		解説情報第 2 号	24 日 16 時 00 分	
		解説情報第 3 号、4 号	27 日、31 日 16 時 00 分	地震回数等火山活動の状況。現地調査の状況。
蔵王山	噴火予報（平常）	解説情報第 1 号	9 日 11 時 00 分	地震回数、微動の発生等火山活動の状況。御釜の湖面の白濁の状況。

注）表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

この他、三宅島においては毎日 07 時と 17 時に火山ガス予報を発表している。

各火山の 10 月の活動解説

【北海道地方】

めあかんだけ 雌阿寒岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

全磁力連続観測によると、ポンマチネシリ 96-1 火口南側地下の温度の上がった状態が継続している可能性がある。今後の火山活動の推移に注意が必要である。

とかちだけ 十勝岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

ここ数年、山体浅部の膨張や大正火口の噴煙量増加及び地震増加や火山性微動の発生、発光現象などが観測されている。今後の火山活動の推移に注意が必要である。

たるまえさん 樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

山頂溶岩ドーム周辺では 1999 年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

アトサヌプリ [噴火予報（平常）]

たいせつざん 大雪山 [噴火予報（平常）]

くつたら 倶多楽 [噴火予報（平常）]

うすざん 有珠山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

ほっかいどうこまがたけ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

えさん 恵山 [噴火予報（平常）]

【東北地方】

はっこうださん 八甲田山 [噴火予報（平常）]

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」以降増加していた八甲田山周辺の地震は、2014 年 2 月頃から減少し、今期間も少ない状況で経過した。2013 年 4 月から 7 月にかけて増加した、大岳山頂直下の地震活動も低調に経過した。

噴気活動や地殻変動の状況にも特段の変化は認められないが、大岳山頂直下の地震活動は低調ながら継続していることから、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

いわてさん 岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動は低調に経過した。火山性地震が一時的に増加することもあるが、その他の火山活動に変化はなく、噴火の兆候は認められない。

あきたこまがたけ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

めだけ 女岳では、2009 年から拡大している噴気や地熱域が引き続き認められる。地震活動は低調で、地殻変動及び噴気活動にも大きな変化はみられないが、地熱活動が継続しているので今後の火山活動の推移に注意が必要である。

さおうざん 蔵王山 [噴火予報（平常）]

火山性微動が 4 回発生し、微動発生時には傾斜計でわずかな山側上りの変化もみられた。

8 日及び 19 日には御釜の湖面の一部に白濁が確認されている。GNSS¹⁾ による地殻変動と噴気活動に特段の変化はみられない。

2014 年 8 月以降、火山活動の高まりがみられ、過去の活動期には、突発的な噴気孔の生成や、火山ガスの噴出等の現象があったことから、観光や登山で火口に近づく際には十分注意が必要である。

あづまやま 吾妻山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山性地震がやや多い状況で経過した。大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

大穴火口等では火山ガスの噴出がみられるので警戒が必要である。また、大穴火口の風下側でも火山ガスに注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

いわきさん 岩木山 [噴火予報（平常）]

あきたやけやま 秋田焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

ちょうかいさん 鳥海山 [噴火予報（平常）]

くりこまやま 栗駒山 [噴火予報（平常）]

あだたらやま 安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

ばんだいさん 磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

くさつしらねさん 草津白根山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

3 月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が、消長を繰り返しながら多い状態が続いていたが、8 月 20 日以降やや少ない状態で経過している。地殻変動観測²⁾ によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められている。

東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられている。また、全磁力観測による 5 月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、7 月以降停滞している。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要である。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石³⁾が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷地形などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがあるので、注意が必要である。

あさまやま 浅間山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

火山活動に特段の変化はなく、山頂火口から 500m を超える範囲に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。ただし、山頂火口から 500m 以内に影響する程度の噴出現象は突発的に発生する可能性があるため、火山灰の噴出や火山ガス等に警戒が必要である。

みだかはら 弥陀ヶ原【噴火予報（平常）】

弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過した。立山地獄谷では以前から熱活動が活発に継続しており、この付近では火山ガスが高濃度になることがあるため、注意が必要である。

おんたけさん 御嶽山【噴火予報（噴火警戒レベル 3、入山規制）】

火山活動には低下傾向がみられるものの、今後も小規模な噴火が発生する可能性がある。また、噴気活動や地震活動等が活発化する場合には、火口周辺に大きな噴石³⁾を飛散させ、火砕流を伴うような噴火となる可能性がある。遠望カメラによる観測では、噴煙に含まれる火山灰の量が少なくなり、10 月 10 日以降、白色となった。また、火山ガス観測によると二酸化硫黄の放出が継続している。

火口から 4 km 程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流に警戒が必要である。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石³⁾が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流の可能性があるため注意が必要である。

ふじさん 富士山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南

部付近）で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていたが、その後、地震活動は低下してきている。その他の観測データでも浅部の異常を示すものはない。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。

いずおおしま 伊豆大島【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

24 日及び 29 日から 30 日にかけて主に島の西部を震源とする火山性地震が一時的に増加した。

低周波地震や火山性微動は観測されていない。

GNSS¹⁾ 連続観測では、地下深部のマグマの供給によると考えられる島全体の長期的な膨張傾向が続いている。2011 年頃から鈍化していたが、2013 年 8 月頃から再び膨張傾向がみられる。その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。

山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意が必要である。

みやけじま 三宅島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013 年 2 月以降はやや少量となっている。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に警戒が必要である。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるためと予想される地域では火山ガスに警戒が必要である。

にしおしま 西之島【火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報】

海上保安庁等の観測によると、噴火及び溶岩の流出が継続し、新たに形成された陸地の拡大が確認されている。

西之島では、今後も噴火が続くおそれがあるため、西之島の中心から概ね 6 km 以内の範囲では噴火に警戒が必要である。また、周辺海域では浮遊物に注意が必要である。

いおうとう 硫黄島【火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報】

火山性地震の発生はやや少ない状態で経過している。GNSS¹⁾ 連続観測によると、地殻変動は 2014 年 2 月下旬頃から隆起の傾向がみられていたが、9 月頃から停滞の傾向となっている。その他の観測データに特段の異常は認められない。硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴

火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火が発生している地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒が必要である。

ふくとくおかのかほ 福徳岡ノ場【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場では長期にわたり火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生している。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では噴火に警戒が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

なすだけ
那須岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】
にっこうしらねさん
日光白根山【噴火予報（平常）】
にいがたやけやま
新潟焼山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】
やけだけ
焼岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】
のりくらだけ
乗鞍岳【噴火予報（平常）】
はくさん
白山【噴火予報（平常）】
はこねやま
箱根山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】
いずとうぶかざんぐん
伊豆東部火山群【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】
にいじま
新島【噴火予報（平常）】
こうづしま
神津島【噴火予報（平常）】
はちじょうじま
八丈島【噴火予報（平常）】
あおがしま
青ヶ島【噴火予報（平常）】

【九州地方及び南西諸島】

あそさん 阿蘇山【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

24 日の現地調査で、中岳第一火口周辺でわずかな火山灰が認められた。遠望観測ではこの時間帯は天候不良のため噴煙は不明であったが、22 日夜遅くから 23 日未明にかけて周期の短い火山性微動が発生していたことから、この期間にごく小規模な噴火が発生したと考えられる。

現地調査では、引き続き中岳第一火口の中央部付近で高温の噴気孔を確認し、その噴気孔からは火口内にとどまる程度の灰白色の噴煙を確認した。

孤立型微動⁴⁾及び火山性地震は多い状態で、火口内も高温の状態を経過するなど、火山活動は

高まった状態が続いている。

中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要である。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石³⁾に注意が必要である。

きりしまやま しんもろだけ 霧島山（新燃岳）【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

新燃岳火口直下を震源とする地震は概ね少ない状態で経過した。

GNSS¹⁾連続観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深く（えびの高原付近）にあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011 年 12 月以降鈍化・停滞していたが、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられる。

新燃岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要である。噴火時には、風下側で火山灰だけではなく小さな噴石³⁾（火山れき⁵⁾）が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。降雨時には、泥流や土石流に注意が必要である。

きりしまやま こうげん いおうさん しゅうへん 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）【火口周辺警報（火口周辺危険）】←24 日に火口周辺警報（火口周辺危険）に引き上げ

2013 年 12 月以降、韓国岳付近、韓国岳北東側、硫黄山付近で火山性地震が時々発生している。2014 年 8 月 20 日に、硫黄山付近を震源とする継続時間約 7 分の火山性微動が発生した。微動の発生に伴い傾斜計²⁾で硫黄山の北西が隆起するような変動が観測された。

これらのことから、えびの高原（硫黄山）周辺では火山活動が高まっており、噴気や火山ガスなどが噴出し、今後の状況によっては小規模な噴火が発生する可能性がある判断し、24 日に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表した。

えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要である。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石³⁾に注意が必要である。

さくらじま 桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）】

昭和火口では、爆発的噴火⁶⁾が 19 回発生するなど、活発な噴火活動が継続した。大きな噴石が 4 合目（昭和火口より 800～1,300m）まで達する爆発的噴火⁶⁾は、8 回発生した。噴煙の高さの最高は、24 日 12 時 05 分の爆発的噴火⁶⁾による火口縁上 3,200m であった。

南岳山頂火口では、噴火は発生しなかった。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾及び火砕流に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石³⁾（火山れき⁵⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意が必要である。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流に注意が必要である。

さつまいおうじま **薩摩硫黄島【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、硫黄岳火口では噴煙活動が続いており、火口内では火山灰等の噴出する可能性がある。また、火口周辺では、火山ガスに注意が必要である。

くちのえらぶじま **口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）】**

口永良部島では噴火は発生しなかった。

火山性地震が時々発生し、火山ガスも噴火前より多い状況で経過しており、引き続き、火山活動は高まった状態で経過している。

7 日及び 8 日に実施した現地調査で、新岳火口及び西側割れ目付近で噴煙が上がっているのを確認した他、新たに新岳の南西斜面で噴煙が上がっているのを確認した。

新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要である。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒が必要である。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石³⁾に注意が必要である。降雨時には土石流の可能性があるので注意が必要である。

すわのせじま **諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

おたけ
御岳火口では、噴火が時々発生するなど、活発な火山活動が継続した。

噴火に伴う灰白色の噴煙が最高で火口縁上 800m まで上がった。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾に警戒が必要で

ある。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石³⁾が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

つるみだけ がらんだけ
鶴見岳・伽藍岳【噴火予報（平常）】
くじゅうさん
九重山【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】
うんぜんだけ
雲仙岳【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】
きりしまやま おはち
霧島山（御鉢）【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

- 1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称である。
- 2) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがある。
- 3) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 4) 阿蘇山特有の微動で、火口直下のごく浅い場所で発生しており、周期 0.5～1.0 秒、継続時間 10 秒程度で、中岳西山腹観測点の南北動の振幅が 5 $\mu\text{m/s}$ 以上のものを孤立型微動としている。
- 5) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。
- 6) 桜島、諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または気象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としている。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成26年10月31日現在）

(1) 主な活火山

噴火警報、火口周辺警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の警報及び予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 9 月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 4 月10日 噴火予報（レベル 1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2013年 7 月25日 噴火予報（レベル 1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	日光白根山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	草津白根山	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009年 4 月10日 噴火予報（レベル 1、平常）切替 2014年 6 月 3 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	浅間山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月15日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	火口周辺警報（レベル 3、入山規制）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2008年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常） 2014年 9 月27日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2014年 9 月28日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2009年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2011年 3 月31日 噴火予報（レベル 1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年 3 月31日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2013年11月20日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年 6 月 3 日 火口周辺警報（入山危険） 2014年 6 月11日 火口周辺警報（入山危険）切替
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2011年 5 月16日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2011年 6 月20日 噴火予報（レベル 1、平常） 2013年 9 月25日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2013年10月11日 噴火予報（レベル 1、平常） 2013年12月27日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2014年 3 月12日 噴火予報（レベル 1、平常） 2014年 8 月30日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	雲仙岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月22日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル 1、平常） 2010年 3 月30日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月16日 噴火予報（レベル 1、平常） 2010年 5 月 6 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2011年 1 月26日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2011年 1 月31日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2011年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2011年 3 月22日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2012年 6 月26日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2013年10月22日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル 1、平常）	2007年12月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月 1 日 噴火予報（平常） 2014年10月24日 火口周辺警報（火口周辺危険）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 2 月 3 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 2 月20日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 4 月 8 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 7 月14日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 7 月28日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2008年 8 月28日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 2 月 2 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 2 月19日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 3 月 2 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 3 月10日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2009年 4 月24日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 7 月19日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2010年 9 月30日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)
	桜島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2012年 3 月12日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替 2012年 3 月21日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル 1、平常)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年11月29日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2013年 6 月 4 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2013年 7 月10日 噴火予報 (レベル 1、平常)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル 3、入山規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年 1 月25日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2008年 9 月 4 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2009年 3 月18日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年 8 月 4 日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2009年 9 月27日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2009年10月30日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2011年12月15日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制) 2012年 1 月20日 噴火予報 (レベル 1、平常) 2014年 8 月 3 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 2014年 8 月 7 日 火口周辺警報 (レベル 3、入山規制) 切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007年12月 1 日 火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)

(2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表した（但し、*印の活火山では、活火山として選定された平成 23 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表）。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山 *、摩周、雄阿寒岳 *、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

資料 2 第 130 回火山噴火予知連絡会について

平成 26 年 10 月 23 日、第 130 回火山噴火予知連絡会が開催された。同連絡会では、全国の火山活動の評価のほか、御嶽山、口永良部島、桜島、霧島山の火山活動について特に重点的に検討を行い、委員及び関係機関からの報告をもとにとりまとめた。その結果を気象庁が以下のとおり発表した。

第 130 回火山噴火予知連絡会 御嶽山の火山活動に関する検討結果

御嶽山の火山活動には低下傾向がみられるものの、今後噴気活動や地震活動等が活発化する場合には、火口周辺に大きな噴石を飛散させ、火砕流を伴うような噴火が発生する可能性があります。

御嶽山では、9 月 27 日に水蒸気噴火が発生しました。噴火は剣ヶ峰山頂の南西側に新たに形成された北西から南東に伸びる火口列で発生し、大きな噴石が火口列から約 1 キロメートルの範囲に飛散しました。また、火砕流が発生し、火口列から、南西方向に約 2.5 キロメートル及び北西方向に約 1.5 キロメートル流下しました。火砕流は発生しましたが、地獄谷付近では樹木が焦げたような痕跡は認められませんでした。

9 月 27 日以降、活発な噴煙活動と連続的な火山灰の放出が続きましたが、10 月 11 日以降は火山灰を含む有色の噴煙は観測されず、噴煙活動も徐々に低下してきています。

二酸化硫黄の放出量は、噴火発生直後から 10 月 3 日までは 1 日あたりおよそ 500 トンから 1500 トンと多い状態で推移しましたが、その後は 1 日あたりおよそ 100 トンから 500 トンとやや少ない状態となっています。

火山性微動は振幅の増減を繰り返していましたが、10 月 7 日以降は検知できない程度の大きさになっています。火山性地震は噴火発生直後には多発しましたが、その後は次第に減少してきています。

御嶽山東麓の水準測量では、2006 年から 2013 年にかけて隆起が観測されていましたが、噴火後の測量で沈降が観測されました。なお、傾斜計でも、噴火直前に山側上がりの変化がみられ、噴火とともに山側下がりとなりました。

以上のことから、火山活動には低下傾向がみられるものの、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いており、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

また、噴気活動や地震活動等が活発化する場合には、火口周辺に大きな噴石を飛散させ、火砕流を伴うような噴火となる可能性があります。積雪期に火砕流が発生したり、熱水が流出したりした場合には、火山泥流が発生する可能性があります。

今後も噴気活動や地震活動、地殻変動等のデータを注意深く見守る必要があります。

引き続き、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振に注意してください。また、降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

第 130 回火山噴火予知連絡会 口永良部島の火山活動に関する検討結果

口永良部島では、噴煙活動等が継続しており、今後も 8 月 3 日と同程度の噴火が発生する可能性があります。

口永良部島の新岳では、8 月 3 日に噴火が発生しました。大きな噴石が山頂火口から約 1 キロメートルの範囲に飛散し、火砕流が新岳山頂火口の南西側から西側にかけてと東側に流下しました。噴出した火山灰には新鮮なガラス質粒子が少量含まれており、今回の噴火にはマグマが関与したと考えられます。

8 月 3 日の噴火以降、新たな噴火は発生していません。新岳山頂火口や西側割れ目からの噴煙活動がやや活発な状態で継続しており、10 月 7 日から 8 日に実施した現地調査では、新岳南西斜面で新たな噴気が確認されています。

二酸化硫黄の放出量は、1 日あたり 200 から 500 トンと噴火前（1 日あたり 100 トン未満）よりも多い状態となっています。

火山性地震や継続時間の短い火山性微動を時々観測しました。

水準測量や GNSS 観測によると、山麓の観測点による基線長には大きな変化は認められていません。

以上のことから、噴煙活動等は継続しており、今後も 8 月 3 日と同程度の噴火が発生する可能性があります。

現在のところ、マグマが大量に上昇していることを示す変化はみられず、大規模な噴火につながる兆候は認められませんが、今後も地殻変動等のデータを注意深く見守る必要があります。引き続き、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注

意してください。また、降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

第 130 回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、第 129 回火山噴火予知連絡会（平成 26 年 6 月 3 日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○全国の主な火山活動

今期間（平成 26 年 6 月 3 日～10 月 23 日）、御嶽山、口永良部島、桜島、西之島、阿蘇山、諏訪之瀬島で噴火が発生しました。

御嶽山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕については別に「御嶽山の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕については別に「口永良部島の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。爆発的噴火は 8 月下旬から増加し、今期間 265 回（10 月 13 日まで）発生し、噴火による噴煙の最高の高さは火口縁上 4,500m、大きな噴石が最大 3 合目（昭和火口より 1,300～1,800m）まで達しました。また、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が 1 回発生しました。

地殻変動観測では、桜島島内で山体が隆起・膨張する傾向がみられましたが、2014 年 7 月頃から沈降する傾向がみられます。また、始良カルデラ深部の膨張は、停滞していますが、長期的には膨張が進行してきており、引き続き活発な噴火活動が継続すると考えられますので、火山活動の推移に注意してください。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）〕2013 年 11 月 20 日に南東海上での噴火が確認された西之島では、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続しています。新たな陸地（西之島と接続した新島部分）の拡大の継続が確認されており、旧島のほとんどを埋没させています。2014 年 10 月 16 日時点で、新たな陸地の面積は約 1.85km²になっています。

西之島では噴火活動が継続しており、新たな陸地、旧島及びそれらの付近の海域では噴火に警戒してください。また、周辺海域では浮遊物に注意してください。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕GNSS 観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011 年 12 月以降鈍化・停滞していましたが、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられます。

新燃岳火口直下を震源とする地震は概ね少ない状態で経過しました。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）〔噴火予報（平常）〕2013 年 12 月以降、韓国岳付近、韓国岳北東側、硫黄山付近で火山性地震が時々発生しています。2014 年 8 月 20 日に硫黄山付近を震源とする継続時間約 7 分間の火山性微動が発生しました。微動の発生に伴い傾斜計に硫黄山の北西が隆起するような変動が観測されました。えびの高原（硫黄山）周辺では、火山活動が高まっていますので、今後の推移に注意する必要があります。また、噴気や火山ガスなどが突然噴出し、今後状況によっては噴火が発生する可能性があります。

阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕2014 年 8 月 27 日以降孤立型微動や火山性地震が増加しています。中岳第一火口では、火口底の一部で赤熱を観測し、中央部付近の噴気孔は温度の高い状態となるなど火口内の熱活動が高まっています。8 月 30 日～9 月 1 日、9 月 6～7 日に中岳第一火口のごく小規模な噴火が時々発生しました。

以上のように中岳第一火口の火山活動が高まっていることから、中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

草津白根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕2014 年 3 月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加し、地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められています。湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しており、2014 年 5 月頃からは湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる全磁力変化がみられています。また、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられます。

以上のように、草津白根山の火山活動は活発化しており、今後、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大

きな噴石に警戒してください。

蔵王山〔噴火予報（平常）〕2014 年 8 月から 10 月にかけて火山性微動が 9 回発生し、8 月には火山性地震もやや多い状況となりました。火山性微動発生時には、傾斜変動がみられることがありました。10 月 8 日と 19 日に御釜内において軽微な変色域の一時的な発生が確認されました。2013 年 1 月以降、地震活動の高まりがみられており、過去の活動期には突発的な噴気孔の生成、火山ガスや泥の噴出等の現象もありましたので、観光や登山で近づく際には十分に注意してください。

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① アトサヌプリ〔噴火予報（平常）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

② 雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- 火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- 全磁力連続観測によると、96-1 火口南側地下の温度が上がった状態が継続している可能性があります。今後の火山活動の推移に注意してください。

③ 大雪山〔噴火予報（平常）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

④ 十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- 火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- 吹上温泉地区では、2012 年からわずかながら認められた温泉の Cl/SO₄ 比の上昇が、2013 年 4 月以降は横ばいからやや減少の傾向を示しています。
- ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量及び地震回数の増加や火山性微動の発生、発光現象などが観測されています。今後の火山活動の推移に注意してください。

⑤ 樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- 火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

- 山頂溶岩ドーム周辺では、1999 年以降、高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

⑥ 倶多楽〔噴火予報（平常）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑦ 有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧ 北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑨ 恵山〔噴火予報（平常）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

① 岩木山〔噴火予報（平常）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

② 八甲田山〔噴火予報（平常）〕

- 「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」以降増加していた八甲田山周辺の地震は、2014 年 2 月頃から減少し、今期間も少ない状況で経過しました。
- 2013 年 4 月から 7 月にかけて増加した大岳山頂直下の地震活動も、少ない状態で経過しました。
- 2013 年 2 月頃から 11 月頃にかけてみられていた小さな膨張性の地殻変動は、その後みられません。
- 地獄沼付近の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。
- 大岳山頂直下付近の地震活動は低調ながら継続していることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

③ 秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

④ 岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- ・ 6 月上旬に火山性地震が一時的に多くなりましたが、期間をとおしての火山活動は概ね低調に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑤ 秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- ・ 地震活動は低調で、地殻変動及び噴気活動にも特段の変化はみられません。
- ・ 女岳^{めだけ}では、2009 年から拡大している地熱域が引き続きみられます。今期間、南東火口でわずかな地熱域の拡大がみられましたが、その他の領域では変化みられず、総じて大きな変化は認められませんでした。
- ・ 地熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑥ 鳥海山〔噴火予報（平常）〕

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑦ 栗駒山〔噴火予報（平常）〕

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧ 蔵王山〔噴火予報（平常）〕

- ・ 8 月から 10 月にかけて火山性微動が 9 回発生し、8 月には火山性地震もやや多い状況となりました。
- ・ 火山性微動発生時には、傾斜変動がみられることがありました。
- ・ GNSS による地殻変動観測に特段の変化はみられませんでした。
- ・ 噴気活動の変化は確認されませんでした。
- ・ 10 月 8 日と 19 日に御釜内において軽微な変色域の一時的な発生が確認されました。
- ・ 2013 年 1 月以降、地震活動の高まりがみられており、過去の活動期には突発的な噴気孔の生成や、火山ガスや泥の噴出等の現象もありましたので、観光や登山で近づく際には十分に注意してください。

⑨ 吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- ・ 大穴火口の噴気活動は、やや活発な状態が続いています。
- ・ 地震活動は少ない状態で経過し、地殻変動にも特段の変化はみられませんでした。
- ・ 大穴火口等では火山ガスの噴出がみられますので警戒してください。また、大穴火口の風下側でも火山ガスに注意してください。

⑩ 安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑪ 磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

② 日光白根山〔噴火予報（平常）〕

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

③ 草津白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

- ・ 2014 年 3 月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加していましたが、8 月後半からは減少しています。火山性微動は発生していません。
- ・ GNSS による地殻変動観測では、2014 年 4 月頃から湯釜を挟む基線でわずかな伸びの傾向がみられます。
- ・ 湯釜周辺の傾斜計にも湯釜付近の膨張を示す変動が認められています。
- ・ 湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。
- ・ 2014 年 5 月頃から湯釜近傍地下の岩石の熱消磁によると考えられる全磁力変化がみられていましたが、7 月以降は停滞しています。
- ・ 2014 年 5 月から、北側噴気地帯の硫化水素ガス成分が急減しています。
- ・ 以上のように、草津白根山の火山活動は活発な状態が続いており、今後、小規模な噴火が発生する可能性があることから、湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

④ 浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- ・ 火山性地震は、2010 年 4 月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・ 二酸化硫黄の放出量は、2010 年 3 月以降やや少ない状態で推移しています。

- ・山体周辺の GNSS による地殻変動観測では、2009 年秋頃から縮みの傾向がみられます。
- ・火山活動は静穏な状態が続いていますが、山頂火口から 500m の範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒してください。

⑤ 新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑥ 弥陀ヶ原 [噴火予報（平常）]

- ・弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しています。
- ・立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意して下さい。また、この付近では火山ガスに注意してください。

⑦ 焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧ 乗鞍岳 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑨ 御嶽山 [噴火予報（噴火警戒レベル 3、入山規制）] ←平成 26 年 9 月 27 日に噴火警戒レベルを 1（平常）から 3（入山規制）に引上げ。9 月 28 日に警報事項を切替え（噴火警戒レベル 3（入山規制）は継続）。

- ・9 月 27 日 11 時 52 分頃、噴火が発生しました。今回の噴火の規模は、1979 年の噴火と比較すると若干規模の大きいものと考えられます。
- ・気象レーダーの観測によると噴煙は東に流れ、その高さは火口縁上約 7,000m と推定されます。
- ・上空からの調査によると、噴火は剣ヶ峰山頂の南西側で北西から南東に伸びる火口列から発生したとみられ、大きな噴石が火口列から約 1 km の範囲に飛散しているのが確認されました。
- ・火砕流が中部地方整備局設置の滝越カメラにより南西方向に 3 km を超えて流下したのを観測しました。その後の調査により、火砕流は火口列から南西方向に約 2.5 km、北西方向に約 1.5 km 流下したことがわかりました。火砕流は発生しましたが、地獄谷付近で樹木等が焦げたような痕跡は認められませんでした。

- ・噴出した火山灰には新鮮なマグマに由来する物質は確認されておらず、今回の噴火は水蒸気噴火であったと考えられます。

- ・この噴火の 11 分前から発生し始めた火山性微動は、噴火発生以降、振幅の大きい状態が約 30 分間続きました。その後振幅の増減を繰り返しながら 10 月 7 日頃まで継続しました。
- ・御嶽山東麓の水準測量では、2006 年から 2013 年にかけて隆起が観測されていましたが、噴火後の測量で沈降が観測されました。なお、傾斜計でも、噴火発生後の 7 分前から山側上がりの変化がみられ、噴火とともに山側下がりとなるような変化が観測されました。
- ・噴煙の高さは噴火発生翌日の 9 月 28 日には火口縁上 800m を観測しましたが、その後は概ね火口縁上 200～500m で推移しています。
- ・地震回数は、噴火が発生した頃はかなり多くなりましたが、10 月に入ってから減少して少ない状態になっています。
- ・火山ガス（二酸化硫黄）観測によると、噴火発生直後から 10 月 3 日頃までは 1 日あたりおよそ 500～1500 トンで推移していましたが、その後は 1 日あたりおよそ 100～500 トンと減少しています。
- ・今後も噴火する可能性がありますので、火口から 4 km 程度の範囲では、大きな噴石の飛散や火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

⑩ 白山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑪ 富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・2011 年 3 月 15 日に山頂の南南西約 5 km、深さ 15 km を震源とする静岡県東部の地震（マグニチュード 6.4、最大震度 6 強）が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・その他の観測データに異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

⑫ 箱根山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑬ 伊豆東部火山群 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑭ 伊豆大島 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

- ・長期的には、地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。2011 年頃から鈍化していましたが、2013 年 8 月頃から再び膨張傾向がみられます。
- ・7 月 23 日から 25 日及び 28 日から 29 日にかけて、島北部を震源とする火山性地震が増加しました。この期間に震度 1 以上を観測する地震が 17 回発生し、このうち最大の地震は 28 日 17 時 05 分に発生した M3.7（暫定値）の地震で、伊豆大島町元町と静岡県東伊豆町奈良本で最大震度 3 を観測しました。この地域ではこれまでも何度か地震が多発していますが、2002 年以降みられた活動の中では最も活発なものでした。
- ・カルデラ直下浅部が震源と推定される低周波地震を 9 月 3 日 10 時 59 分に観測しました。低周波地震の発生は 2012 年 10 月 28 日以来です。
- ・その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。2014 年 8 月以降、山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意してください。

⑮ 新島 【噴火予報（平常）】

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑯ 神津島 【噴火予報（平常）】

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑰ 三宅島 【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

- ・今期間、噴火は発生しませんでした。噴火は 2013 年 1 月 22 日を最後に発生していません。
- ・山頂浅部を震源とする地震は、今期間概ねやや少ない状態で推移しました。
- ・GNSS による観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013 年頃

から停滞しています。一方、島の南北を挟む長距離の基線で 2006 年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。

- ・二酸化硫黄の放出量は長期的には緩やかな減少傾向にあり、期間中は 1 日あたり 200 トンと、やや少量の火山ガス放出が続きました。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺（雄山環状線内側）では引き続き噴火に警戒してください。風下にあたる地区では火山ガスに警戒してください。

⑱ 八丈島 【噴火予報（平常）】

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑲ 青ヶ島 【噴火予報（平常）】

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑳ 西之島 【火口周辺警報（入山危険）】 ←平成 26 年 6 月 11 日に警報事項を切替え（火口周辺警報（入山危険）は継続）。

- ・2013 年 11 月 20 日に南東海上での噴火が確認された西之島では、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出により、出現した新島が拡大し、2013 年 12 月 26 日には西之島と一体となりました。
- ・その後も噴火活動は継続し、新たに形成された陸地（西之島と接続した新島部分）の拡大が確認されており、旧島のほとんどを埋没させています。2014 年 10 月 16 日時点で、新たな陸地の面積は約 1.85km² になっています。
- ・また、2014 年 10 月中旬までに噴出したマグマの量は約 7 千万 m³ と見積もられており、マグマの噴出レートは 2014 年 10 月現在、1 日あたり約 35 万 m³ 程度です。
- ・噴火確認以降、西之島周辺で常に変色水が確認されています。また、西之島南方約 10 km あたりでも変色水域が確認されています。
- ・西之島では噴火活動が継続しており、新たな陸地、旧島及びそれらの付近の海域では噴火に警戒してください。また、周辺海域では浮遊物に注意してください。

㉑ 硫黄島 【火口周辺警報（火口周辺危険）】

- ・島西部のミリオンダラーホール（旧火口）では、2012 年 2 月以降ごく小規模な水蒸気爆発が度々発生していますが、今期間は噴火は確認されていません。

- ・地震は 2014 年 3 月からやや多い状態で経過しています。火山性微動は時々観測されています。
- ・GNSS による地殻変動観測では、沈降の傾向が 2014 年 1 月頃から停滞していましたが、2 月下旬頃から再び隆起の傾向がみられています。なお、島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点及びその周辺では警戒してください。

② 福德岡ノ場 【噴火警報（周辺海域警戒）】

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒してください。

4. 九州地方・南西諸島

① 鶴見岳・伽藍岳 【噴火予報（平常）】

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

② 九重山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ・GNSS 観測によると、一部の基線でわずかに伸びの傾向がみられます。今後の火山活動の推移に注意してください。

③ 阿蘇山 【噴火予報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】 ←平成 26 年 8 月 30 日に噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引上げ

- ・7 月 5 日から 10 日にかけて火山性微動の振幅が大きくなり、7 月下旬には、孤立型微動や火山性地震が一時的に増加しました。これに伴い火口直下で増圧に引き続き減圧がありました。また、8 月 27 日以降、孤立型微動や火山性地震が多い状態で経過しています。
- ・7 月 17 日の現地調査で、中岳第一火口の火口底の湯だまりが消失しているのを確認しました。湯だまりが消失しているのを確認したのは 1993 年 2 月 25 日以来です。
- ・7 月 28 日の夜間に実施した現地調査では、火口底の一部（火口底中央噴気孔周辺）で赤熱を観測しました。火口底の赤熱は 2005 年 9 月 3 日以来です。
- ・中岳第一火口中央部付近では 5 月以降期間を通じて高温の噴気孔を確認しました。赤

外熱映像装置による観測では、噴気孔の最高温度は 8 月以降、420～498℃（5～7 月：167～352℃）と高い状態になりました。

- ・南側火口壁の温度は高い状態で経過しました。
- ・二酸化硫黄の放出量は、期間を通して 1 日あたり 800～2,200 トンと多い状態で経過しました。2014 年半ば以降、GNSS 観測により草千里の下部にあると考えられるマグマだまりの収縮が、停止していると思われます。
- ・8 月 30 日 09 時頃実施した現地調査で、中岳第一火口の噴火を確認しました。8 月 31 日～9 月 1 日、9 月 6～7 日にもごく小規模な噴火が時々発生しました。
- ・火口内の熱活動が高まるなど中岳第一火口の火山活動が高まった状態になっていると判断し、8 月 30 日 09 時 40 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引上げました。
- ・中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。
- ・南阿蘇村吉岡の噴気活動はやや活発な状態が続いており、引き続き噴気活動に注意してください。

④ 雲仙岳 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑤ 霧島山

新燃岳 【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

- ・新燃岳では、2011 年 9 月 7 日を最後に噴火は発生していません。
- ・火口内に蓄積された溶岩の状態に特段の変化はありませんでした。火口内南東側の火口の形状にも特段の変化はみられませんでした。しかし、火口にたまった溶岩内部には依然高温状態の部分もあると考えられます。
- ・新燃岳直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しました。火山性微動は 2012 年 3 月以降観測されていません。
- ・GNSS 観測によると、新燃岳の北西数 km（えびの高原付近）の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011 年 12 月以降鈍化・停滞していましたが、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられます。
- ・新燃岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火

に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側では火山灰だけではなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。降雨時には泥流や土石流に注意してください。

御鉢 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

えびの高原（硫黄山）周辺 【噴火予報（平常）】

- 2013 年 12 月以降、韓国岳付近、韓国岳北東側、硫黄山付近の海拔下約 0～3 km で、火山性地震が時々発生しています。
- 8 月 20 日に硫黄山付近を震源とする継続時間約 7 分の火山性微動が発生しました。微動の発生に伴い傾斜計で硫黄山の北西が隆起するような変動が観測されました。
- 韓国岳北東に設置した傾斜計では、2013 年 12 月頃から北西上がりの傾向がみられていましたが、2014 年 7 月頃からやや鈍化しています。
- 火山活動が高まっていますので、今後の推移に注意する必要があります。
- えびの高原（硫黄山）周辺では、噴気や火山ガスなどが噴出し、今後状況によっては噴火が発生する可能性があります。

⑥ 桜島 【火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）】

- 昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。
- 爆発的噴火は、8 月下旬から増加し、8 月は 76 回、9 月は 99 回、10 月は 13 日までに 13 回で、期間中（2014 年 5 月から 10 月 13 日）の爆発的噴火の回数は 265 回で、うち 6 回で大きな噴石が 3 合目まで達しました。噴煙の高さが火口縁上 3,000m 以上の噴火は 9 回発生し、最高は火口縁上 4,500m（5 月 10 日 13 時 7 分の爆発的噴火と 6 月 6 日 13 時 11 分の爆発的噴火）でした。火口周辺にとどまるとごく小規模な火砕流が 1 回発生しました。
- 南岳山頂火口では、5 月 8 日～10 日、7 月 28 日、9 月 7 日にごく小規模な噴火が発生しました。
- 二酸化硫黄の放出量は、1 日あたり 1,200～2,500 トンと概ね多い状態が継続しています。
- 鹿児島県の降灰観測データをもとに解析した火山灰の月別の噴出量は、5 月～9 月は 1 ヶ月あたり 10 万トン～60 万トンでした。

- 島内の傾斜計では、2014 年 1 月頃から山体が隆起、膨張する傾向がみられていましたが、7 月中旬頃から山体が沈降する傾向となっています。
- 火山灰の放出量と地殻変動量から導いた桜島直下へのマグマの供給量は、2014 年 2 月以降停滞していましたが、6 月頃一時的に増加し、その後減少しました。9 月からは再び増加に転じています。
- GNSS による地殻変動観測では、島内で 2014 年 1 月頃から伸びの傾向がみられていましたが、7 月頃から停滞しています。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の膨張を示す伸びの傾向は、2013 年 6 月頃から停滞していますが、長期的には膨張が進行してきています。
- 昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

⑦ 薩摩硫黄島 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、硫黄岳火口では噴煙活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

⑧ 口永良部島 【噴火予報（噴火警戒レベル 3、入山規制）】 ←平成 26 年 8 月 3 日に噴火警戒レベルを 1（平常）から 3（入山規制）に引上げ、8 月 7 日に噴火警戒レベル 3（入山規制）を切替

- 8 月 3 日 12 時 24 分頃、新岳で噴火が発生し、灰色の噴煙が火口縁上 800m 以上上がりました。このため、8 月 3 日 12 時 50 分に火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 3（入山規制）に引上げました。
- 8 月 3 日に発生した噴火は、火山灰を分析した結果、マグマが直接関与していた可能性があることがわかりました。今後、マグマが関与した噴火が発生した場合、火砕流が発生する可能性があることから、8 月 7 日 10 時 00 分に火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）を切り替えました。

- ・二酸化硫黄の放出量は、1 日あたり 200～500 トンと、噴火前（1 日あたり 100 トン未満）よりも多い状態で継続しています。
- ・火山性地震や継続時間が短い火山性微動は時々発生しています。
- ・新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。
- ・向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。
- ・風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。
- ・降雨時には土石流の可能性がありますので注意してください。

⑨ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・御岳火口では、爆発的噴火が 6 月に 11 回発生し、その後も噴火が時々発生しました。
- ・8 月 28 日 12 時 50 分に発生した噴火では、灰白色の噴煙が火口縁上 2,000 m まで上がり、9 月 3 日 10 時 49 分に発生した噴火では、灰白色の噴煙が最高で火口縁上 2,200 m まで上がりました。
- ・今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

●世界の主な地震

平成 26 年（2014 年）10 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

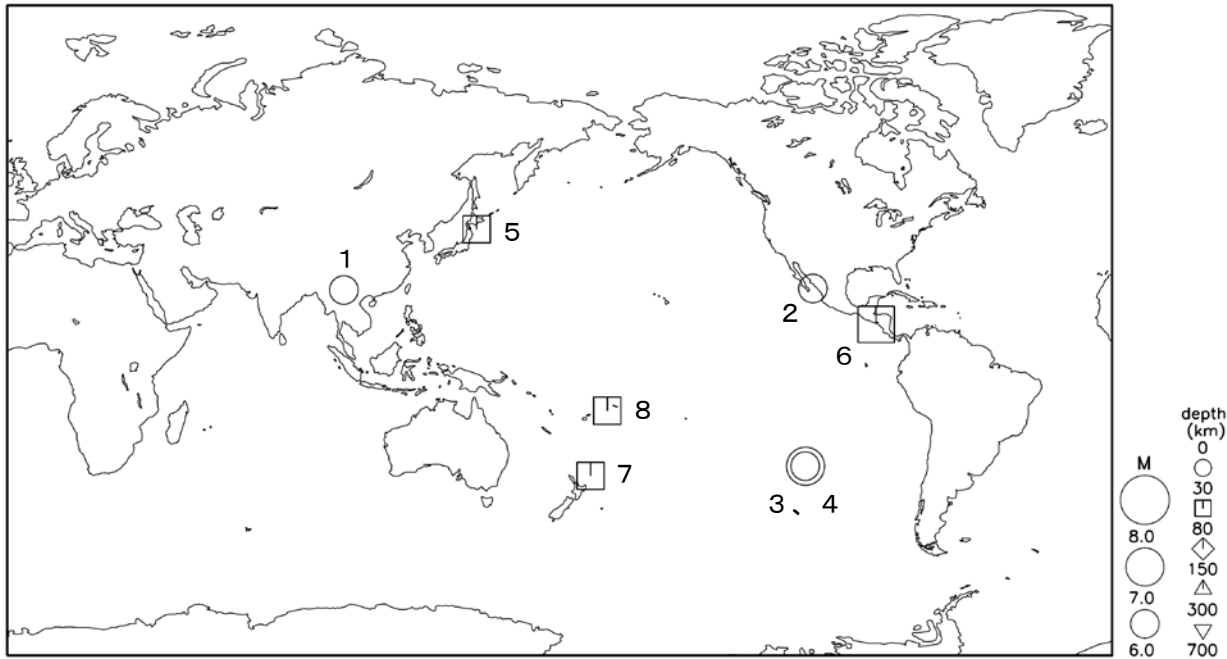


図 1 平成 26 年（2014 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

* : 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2014 年 11 月 3 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
*** : マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 26 年（2014 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	10月07日22時49分	N23° 23.1′	E100° 29.2′	11			6.0	中国、雲南省	死者1人、負傷者323人など		
2	10月08日11時40分	N23° 49.0′	W108° 25.3′	10			6.2	メキシコ、カリフォルニア湾			
3	10月09日11時14分	S32° 06.8′	W110° 46.7′	16			(7.0)	東太平洋海膨南部	チリのイースター島で47cmなどの津波を観測		○
4	10月09日11時32分	S32° 06.5′	W110° 53.3′	10			6.6	東太平洋海膨南部			
5	10月11日11時35分	N40° 57.1′	E143° 14.6′	36		6.1	(6.0)	青森県東方沖			
6	10月14日12時51分	N12° 34.5′	W88° 02.7′	40			(7.3)	中央アメリカ沖	エルサルバドルで死者1人、建物損壊など		○
7	10月14日13時12分	S34° 55.0′	E179° 58.1′	31	6.1			ケルマデック諸島南方			
8	10月28日12時15分	S15° 11.5′	W174° 39.9′	35			6.1	トンガ諸島			

・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2014 年 11 月 3 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Ms の欄に括弧を付して記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
・被害は、新華通信社（2014 年 10 月 8 日現在）、国営ラジオエルサルバドルによる（2014 年 10 月 14 日現在）。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁（NOAA）による（10 月 31 日現在）。
・地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9 時間〕である。
・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。
・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

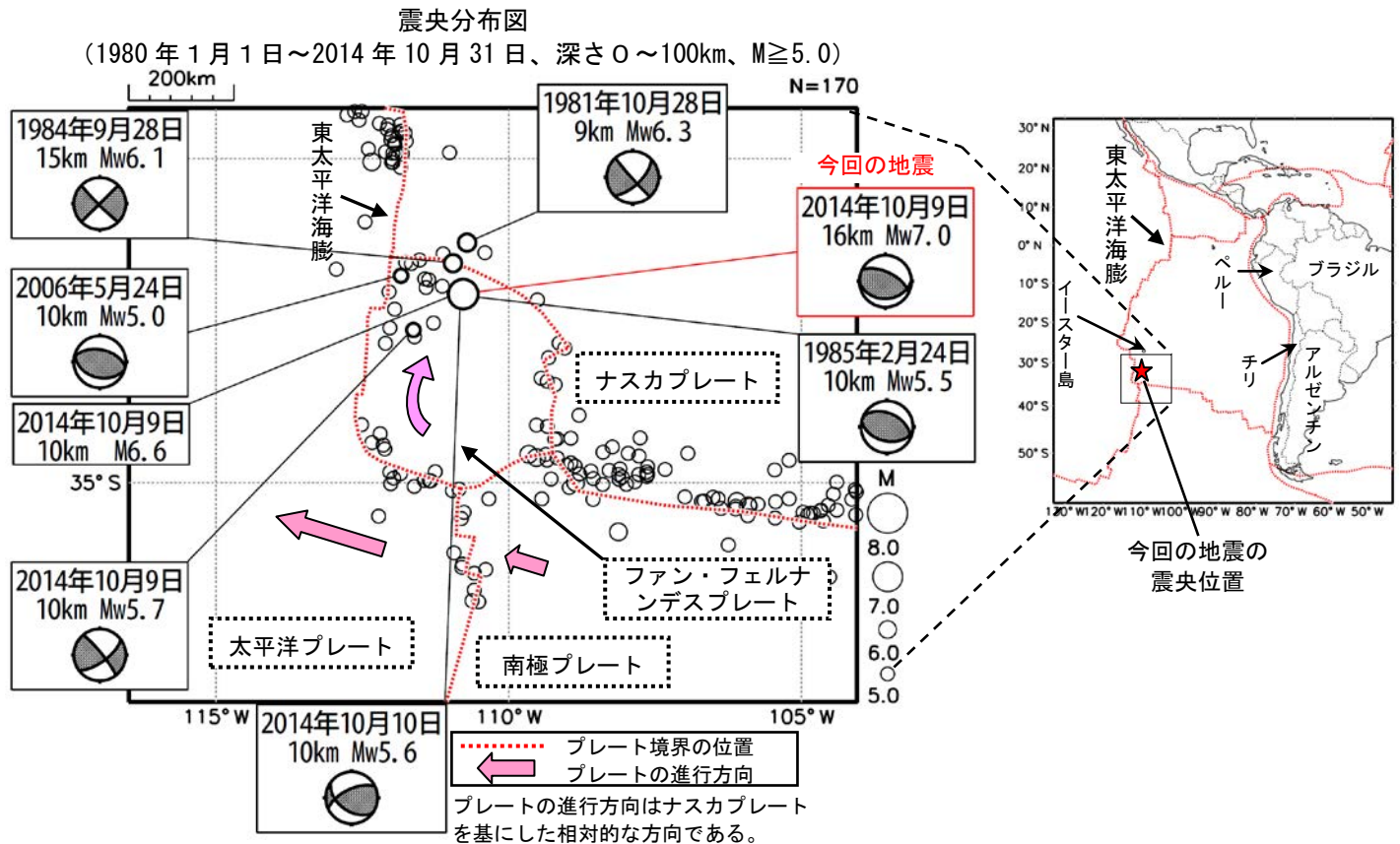
10 月 9 日 東太平洋海膨南部の地震

2014 年 10 月 9 日 11 時 14 分（日本時間）に、東太平洋海膨南部の深さ 16km で Mw7.0 の地震が発生した。この地震はファン・フェルナンデスプレート（マイクロプレート）内で発生した。発震機構（気象庁による CMT 解）は北北東－南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

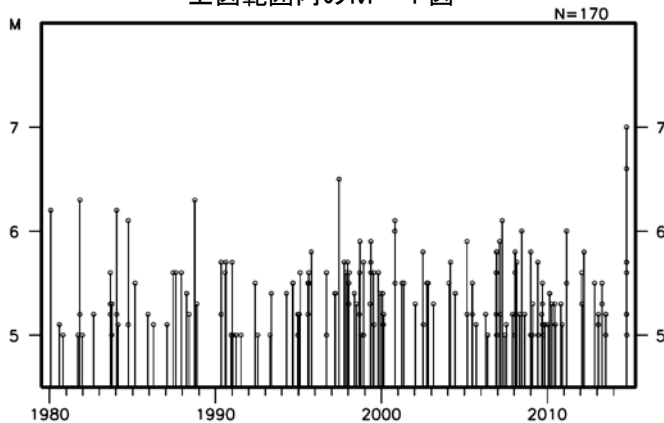
気象庁は、この地震について、同日 12 時 14 分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「震源の近傍で津波発生可能性があります。日本への津波の有無については現在調査中です。」）、同日 14 時 16 分に同情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

この地震により、津波が発生し、チリのイースター島で 47cm などの津波を観測した。

1980 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（下図範囲内）では M6.0 以上の地震がしばしば発生しているが、M7.0 以上の地震の発生は今回が初めてである。



上図範囲内の M-T 図



※本資料中、今回の地震の発震機構 (CMT 解) と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構 (CMT 解) と Mw は GlobalCMT による。その他の震源要素及び被害は米国地質調査所 (USGS) による。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁 (NOAA) による (10 月 31 日現在)。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

1980 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では M7.0 以上の地震がしばしば発生している。2001 年 1 月 14 日には Mw7.7 の地震が発生し、死者 852 人などの被害を生じた。

[illegible]

- 52 -

● 世界の主な火山活動

平成 26 年（2014 年）10 月に噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

キラウエア（Kilauea） アメリカ合衆国（図中 A） 標高 1222m

今年 6 月 27 日以降、キラウエアのプウ・オオ火口の北東山腹から溶岩の流出が続いている。溶岩流は、北東方向の居住地域に向けて流下し続けており、10 月 28 日にはパホアの町の居住地に達した。この影響により、パホアでは学校や一部の道路が閉鎖された。

シナブン（Sinabung） インドネシア（図中 B） 標高 2460m

10 月の期間を通して噴火が繰り返し発生し、10 月 5 日、6 日及び 26 日には火砕流の発生が確認された。その内、10 月 5 日には複数回の火砕流が発生し、2.5～4.5km 南側へ流下した。

インドネシア国家防災庁によると、10 月 27 日現在、3,284 人（1,018 世帯）が避難所に滞在している。

トゥリアルバ（Turrialba） コスタリカ（図中 C） 標高 3340m

9 月下旬に地震が増加し始め、10 月中旬には火山構造性地震の多発が記録された。10 月 28～29 日には、二酸化硫黄の放出量は 1 日あたり 2,000 トン（9 月の平均値は 1 日あたり 1,300 トン）に増加した。10 月 29 日 23 時 10 分に西火口から小規模なマグマ水蒸気爆発が発生し、約 25 分間継続した後、強い爆発と共に噴火が終了した。火山灰は海拔 5.8km まで上昇し、首都サンホセのほか多くの町で降灰があった。この噴火により 11 人が一時的に避難しており、複数の学校が一時的に閉鎖された。

その後、10 月 30～31 日の間も噴火活動は継続した。

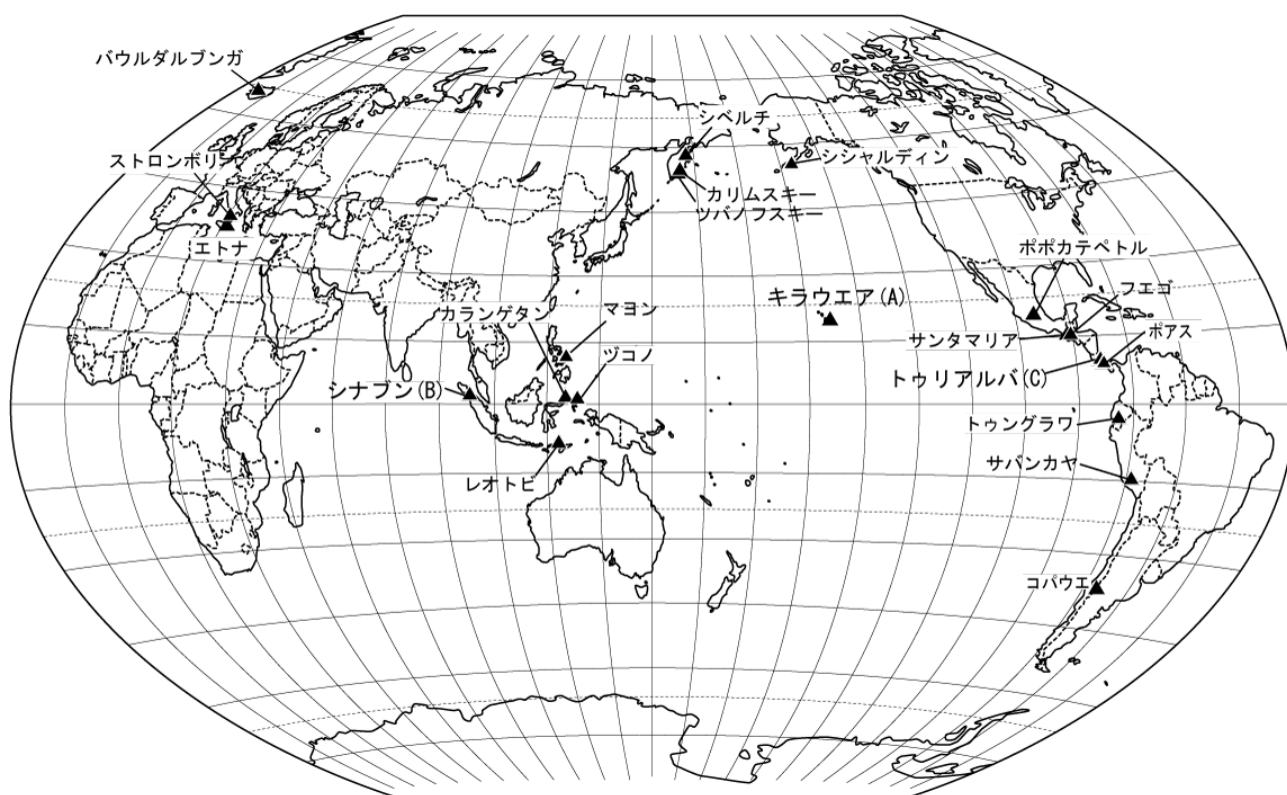


図 平成 26 年（2014 年）10 月に噴火した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

●特集 1. 2014 年 9 月の御嶽山の噴火

1. はじめに

御嶽山では、9 月 27 日 11 時 52 分頃に噴火した。中部地方整備局が王滝村滝越（剣ヶ峰の南南西約 6 km）に設置しているカメラにより、南側斜面を噴煙が 3 km を超えて流れ下るのを観測（その後の調査で火砕流と判定）。同日 12 時 36 分に火口周辺警報（噴火警戒レベル 3（入山規制））を発表し、火口から 4 km 以内では、大きな噴石等の警戒を呼びかけた。また、火砕流への警戒も必要と判断し、9 月 28 日 19 時 30 分に、火口周辺警報（噴火警戒レベル 3（入山規制）継続）を発表し、警戒事項を切り替えた。

御嶽山で噴火が発生したのは、平成 19 年（2007 年）3 月下旬のごく小規模な噴火以来である。

この噴火で、山頂付近にいた登山者 57 名が死亡し 6 名が行方不明となった。（10 月 23 日消防庁まとめ）。

以下、9 月 27 日の噴火の状況及び噴火の前後の火山活動等の概要を紹介する。

2. 被害状況（2014 年 10 月 23 日 15 時現在、総務省消防庁第 37 報による）

死 者	57 名
負 傷 者	69 名（重傷 29 名、軽傷 40 名）
行方不明者	6 名

3. 過去の噴火活動

最近 2 万年間は、水蒸気噴火などの新鮮なマグマを放出しない活動のみだと考えられていた（小林, 1993 ; Kimura and Yoshida, 1999 など）が、最近の研究では、過去 1 万年間に複数回のマグマ噴火が発生していることが明らかにされている（鈴木・他, 2007 ; 及川・他, 2007 ; 鈴木・他, 2009 ; 及川・奥野, 2009）。それらによると、最近 1 万年間にマグマ噴火は 4 回発生している。また、水蒸気噴火は数百年に 1 回の割合で、堆積物として残る規模のものが発生している。有史以降は、1979 年、1991 年、2007 年に水蒸気噴火が発生している。なお、2007 年の噴火前には、火山性地震の発生に加えて、低周波地震、火山性微動や山体の膨張を示す地殻変動が認められていた。

4. 概況

・噴火に至るまでの活動の経過

御嶽山では、2007 年 3 月後半にごく小規模な噴火が発生したが、その後静穏な状態が継続していた。2014 年 9 月 10 日から 11 日にかけて、剣ヶ峰山頂付近で火山性地震が増加し、10 日は 52 回、11 日は 85 回発生し、その後次第に減少していた。また、14 日から 24 日にかけて低周波地震が 3 回発生した。

三岳黒沢遠望カメラ（剣ヶ峰の南東約 14km）による観測では、山頂付近に噴気は認められなかった。中部地方整備局の王滝村滝越（剣ヶ峰の南南西約 6 km）に設置したカメラによる観測では、地獄谷の噴気に特段の変化はなく、噴気の高さは 100m 以下で経過していた。

GNSS 連続観測では地殻変動に特段の変化は認められなかった。

・9 月 27 日の噴火

9 月 27 日 11 時 52 分頃に噴火が発生した。噴火発生時は視界不良のため山頂付近の状況は不明であ

ったが、中部地方整備局が王滝村滝越（剣ヶ峰の南南西約 6 km）に設置しているカメラによると、火砕流が南西方向に 3 km を超えて流下したのを確認した。気象レーダーの観測によると、噴煙は東に流れ、その高度は火口縁上約 7,000m と推定されている。御嶽山で噴火が発生したのは 2007 年以来である。

この噴火の直前の 11 時 41 分頃から連続した火山性微動が発生し、その後振幅の増減を繰り返しながら継続した。田の原観測点（剣ヶ峰の南東約 3 km）の傾斜計では、火山性微動発生直後の 11 時 45 分頃から山側上がりの変化を、11 時 52 分頃から山側下がりの変化を観測した。噴火は、山側上がりから山側下がりの変化に変わった頃に始まったものとみられる。

9 月 28 日に中部地方整備局及び陸上自衛隊の協力で実施した上空からの観測では、剣ヶ峰山頂の南西側で北西から南東に伸びる火口列から活発な噴煙が上がっていることを確認し、赤外熱映像装置による観測でそれらの火口付近の高温域を確認した。噴火はこの火口列から発生したとみられ、大きな噴石が火口列から 1 km の範囲に飛散していることを確認した。火砕流が流れた地獄谷付近で、樹木等が焦げたような痕跡は認められなかった。

気象庁で降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県笛吹市石和町にかけての範囲で降灰が確認された。東京大学地震研究所の現地調査によると、御嶽山の北東山麓を中心に降灰が確認された。

産業技術総合研究所の分析によると、噴出した火山灰には新鮮なマグマに由来する物質は認められなかったことから、今回の噴火は水蒸気噴火であったと考えられている。

・噴火後の状況

9 月 27 日の噴火以降、火山灰を噴出するような噴火が続いていたが、噴煙に含まれる火山灰の量が次第に少なくなり、10 月 10 日 21 時過ぎからは、噴煙に火山灰を含むことを示す有色の噴煙は観測していない。

10 月 7 日に、航空自衛隊の協力により実施した上空からの観測によると、剣ヶ峰山頂の南西側の火口列から白色の噴煙が勢いよく火口縁上約 400m まで上がり、時々火山灰混じりの灰白色の噴煙が上がっていた。また、地獄谷の谷筋に、一部の火口から流出したと考えられる熱水の流下を確認している。なお、前回（9 月 28 日）の上空からの観測以降に、火山灰を広範囲に噴出、または大きな噴石を飛散させるような噴火が発生した痕跡は認められなかった。16 日に、航空自衛隊の協力により実施した上空からの観測によると、白色の噴煙が火口縁上 100m まで上がり北東に流れていた。噴煙中に火山灰は認められていない。いずれの観測でも、噴煙の風下側で、硫化水素臭が認められた。

気象庁機動調査班（JMA-MOT）の現地調査によると、10 月 2 日及び 5 日に山麓でわずかな降灰を観測した。また、14 日の調査でも、車体に火山灰とみられる微量の付着物を確認している。

9 月 28 日以降、上空及び山麓で実施した火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は、10 月 4 日頃までは、1 日あたりおよそ 500 トンから 1500 トンで推移したが、その後は 1 日あたりおよそ 100～500 トンとやや少ない状態で推移した。

噴火発生前の 11 分前の 27 日 11 時 41 分頃から連続して発生した火山性微動は、振幅の増減を繰り返し、10 月 7 日以降は検知できない程度の大きさになった。

火山性地震は噴火が発生した 9 月 27 日は 483 回と増加したが、その後次第に減少している。

御嶽山の南東約 3 km に設置している傾斜計では、10 月 4 日 13 時頃からわずかな山側上がりの変化がみられたが、10 月 5 日 08 時頃から横ばいの状態となり、その後 10 月 4 日 13 時以前の状態に戻っ

たものとみられる。この期間にみられた変動の大きさは、噴火直前の数分前に観測された変動の大きさと比較すると約 50 分の 1 程度であった。

GNSS 連続観測では地殻変動に特段の変化は認められていない。



図 1 御嶽山 火砕流の状況（中部地方整備局の滝越カメラによる。2014 年 9 月 27 日 11 時 56 分）
・山の南西方向に火砕流が 3 km を超えて流下した。



図 2 御嶽山 山頂付近の状況
（2014 年 9 月 28 日 14 時 36 分、陸上自衛隊の協力により山頂南西側の上空から撮影）
・剣ヶ峰の南西側の火口列から活発な噴煙が上がっていた。

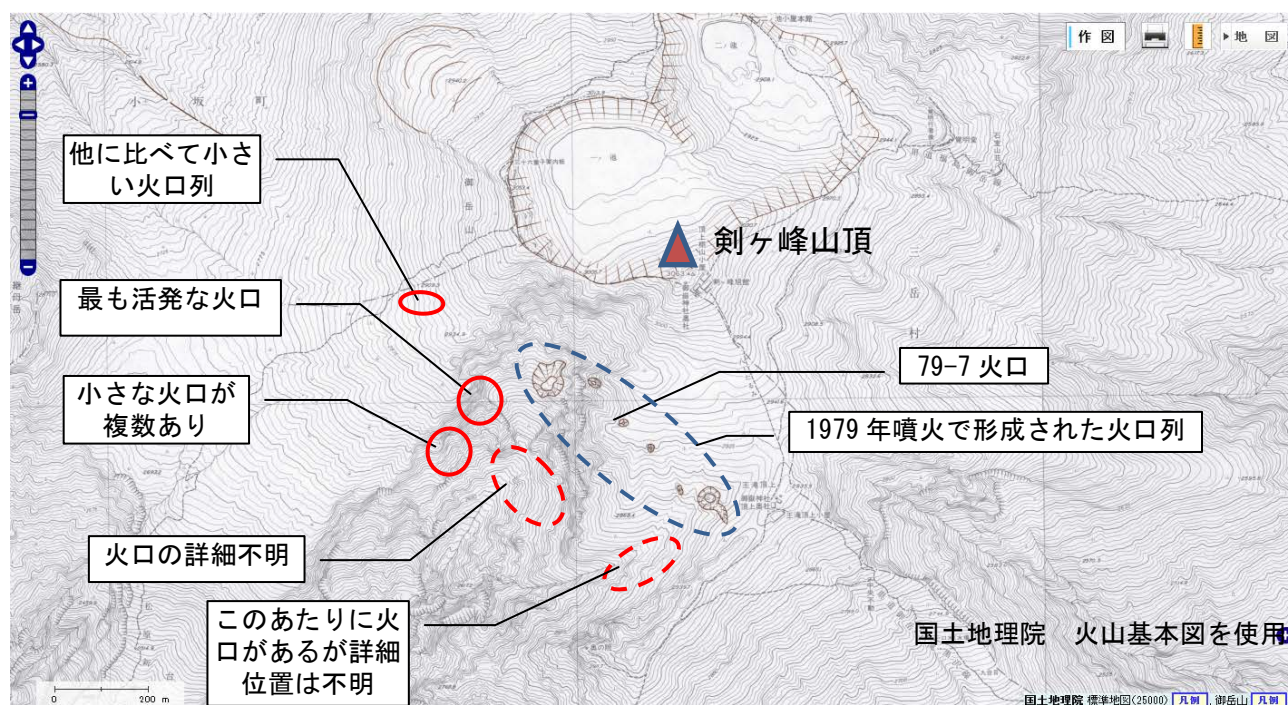


図 3 御嶽山 火口位置

- ・ 剣ヶ峰山頂の南西側に北西から南東に伸びる火口列が形成されていた。

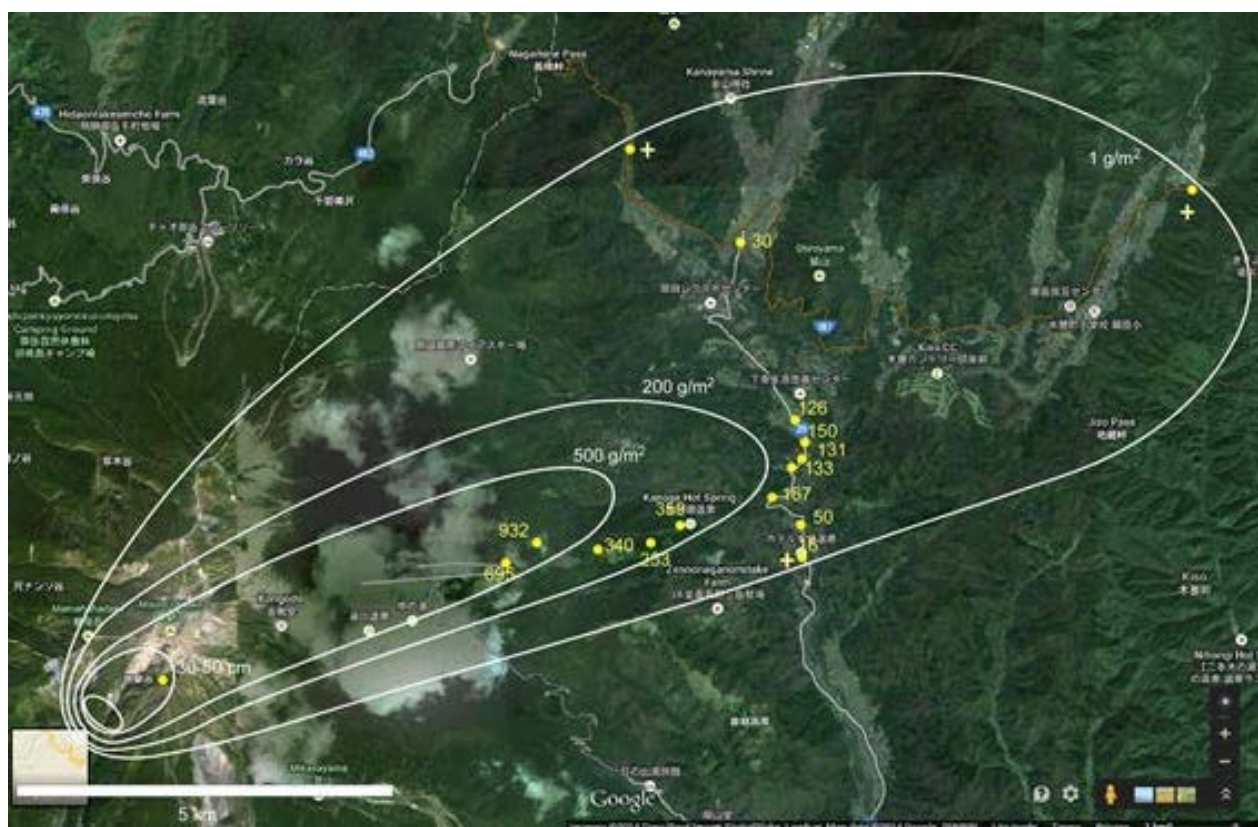


図 4 御嶽山 2014 年 9 月 27 日噴火の火山灰の等重量線図（東京大学地震研究所提供）

- ・ 東京大学地震研究所の現地調査によると、御嶽山の北東山麓を中心に降灰が確認された。

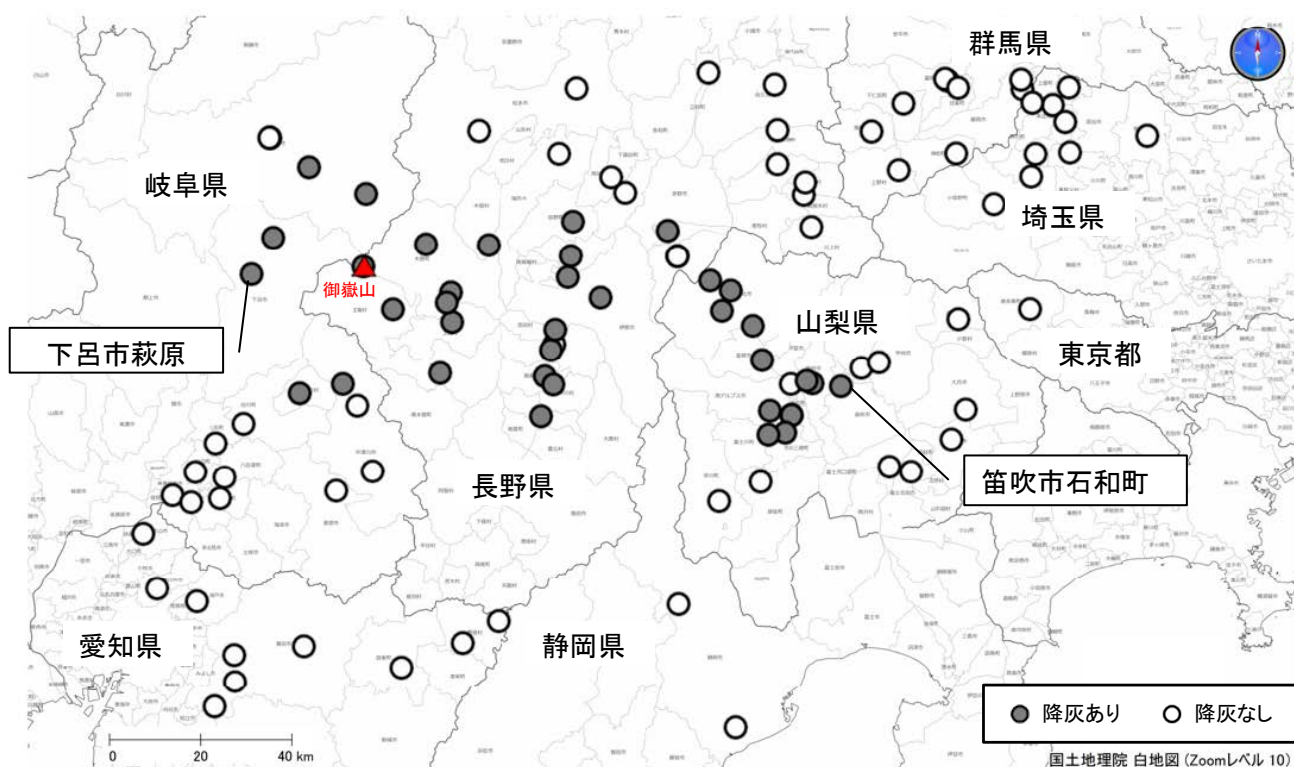


図5 気象庁の聞き取り調査による降灰の状況（9月28日16時現在）

- ・山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県笛吹市石和町（ふえふきし いさわちょう）にかけての範囲で降灰が確認された。

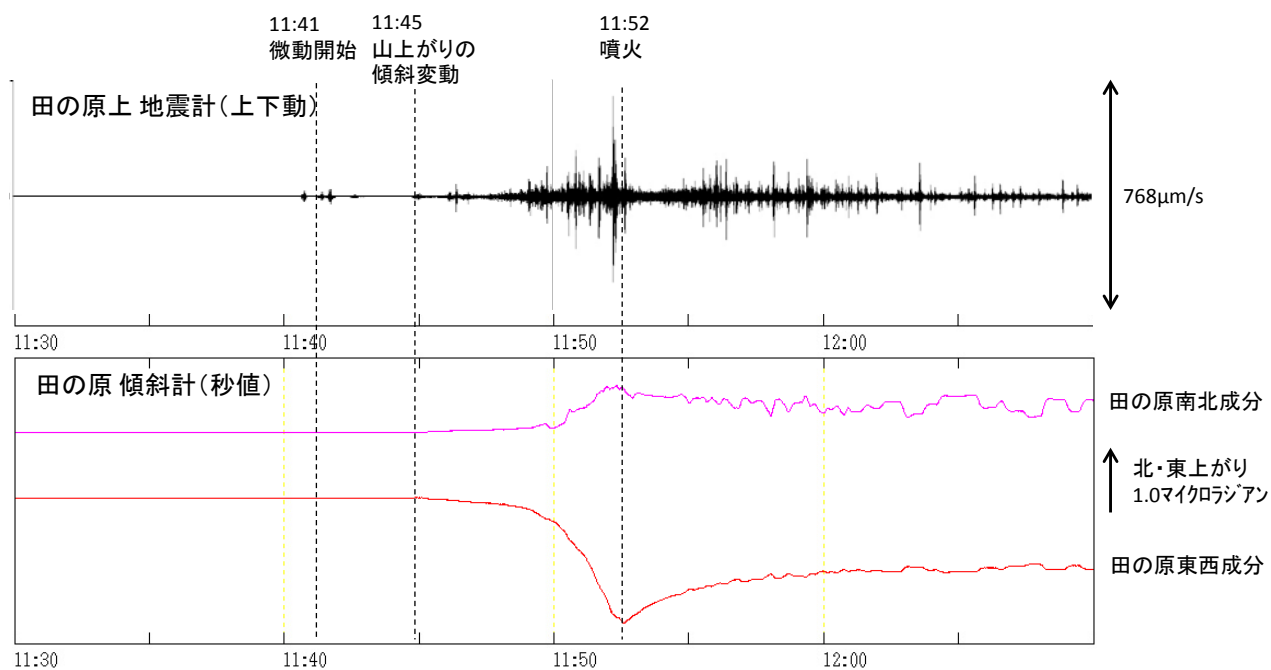


図6 御嶽山 噴火発生時の震動データ及び傾斜データの状況

- ・火山性微動の発生に伴い、剣ヶ峰山頂の南東3kmの田の原観測点で北西上がり（山側上がり）の変化を、その約7分後の11時52分頃に南東上がり（山側下がり）の変化を観測した。なお、南東上がりの変化には火山性微動等による変動も含まれている。

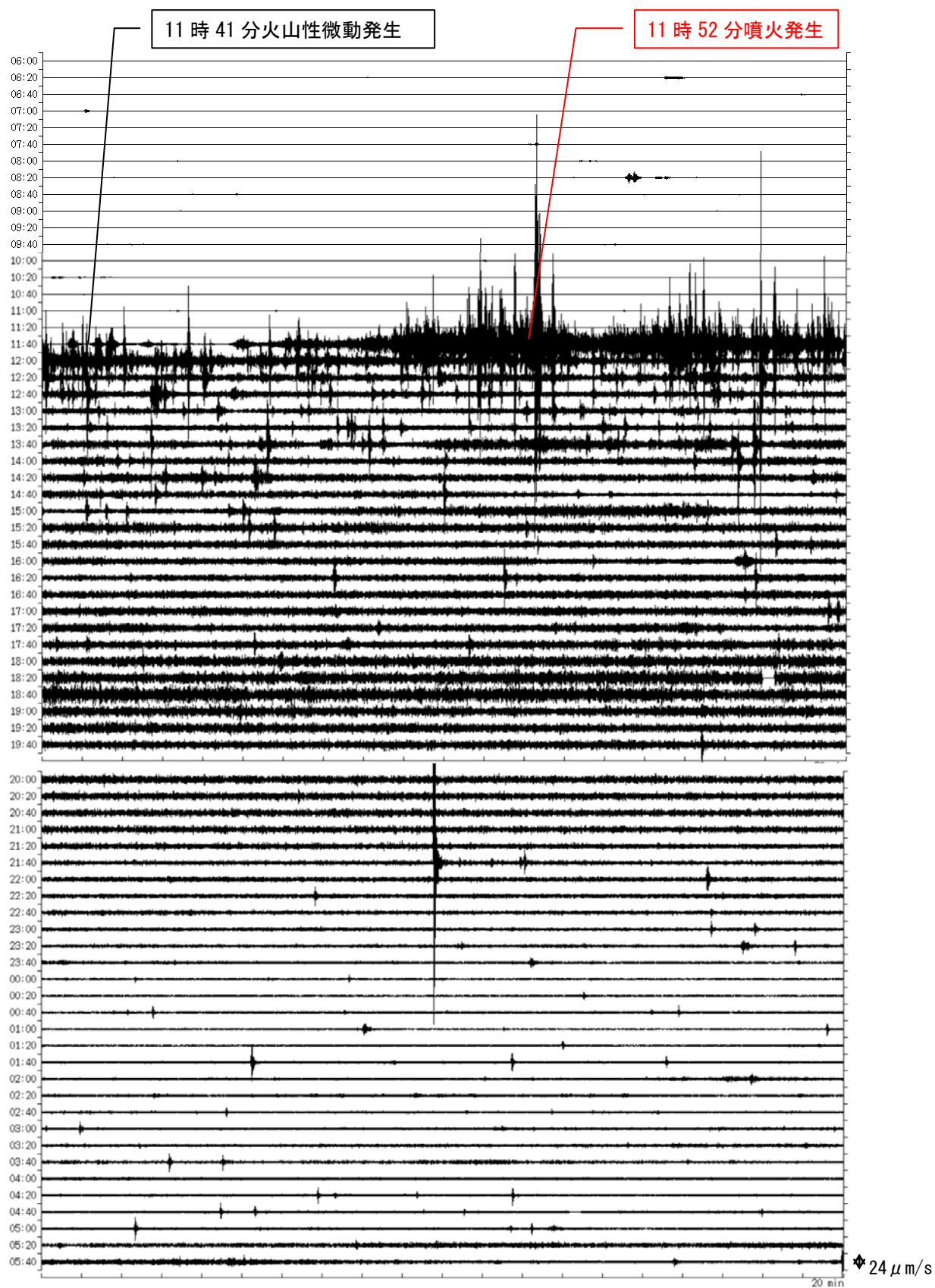


図 7 御嶽山 噴火発生直後の地震及び微動の発生状況

(2014 年 9 月 27 日 10 時 00 分～9 月 28 日 06 時 00 分)

・火山性微動が 11 時 41 分に発生し、噴火発生以降、振幅の大きい状態が約 30 分間続き、その後、振幅が徐々に小さくなりながら続いた。

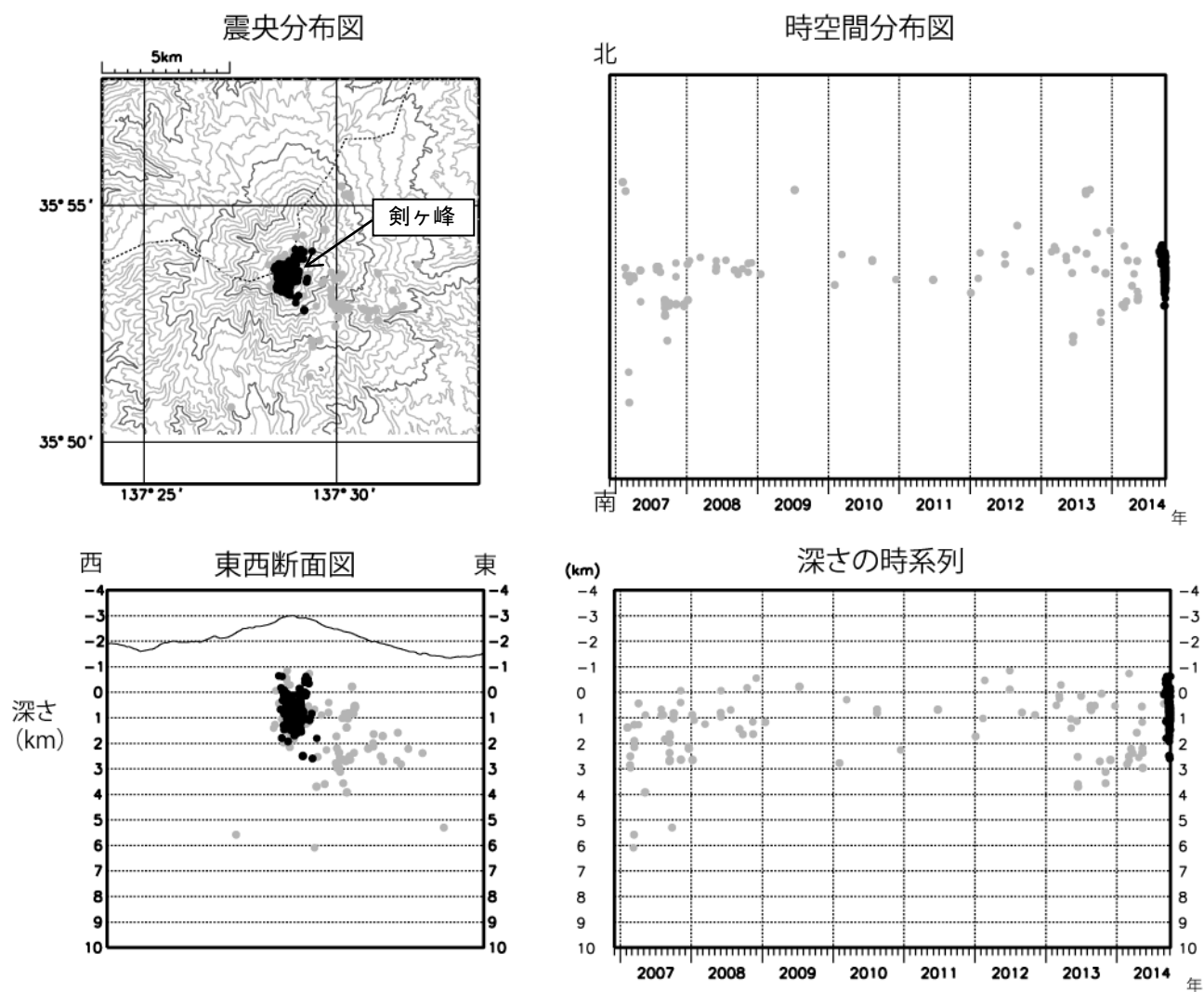


図 8 御嶽山 震源分布図（2006 年 12 月 1 日～2014 年 10 月 31 日）

● : 2006 年 12 月 1 日～2014 年 8 月 31 日

● : 2014 年 9 月 1 日～10 月 7 日

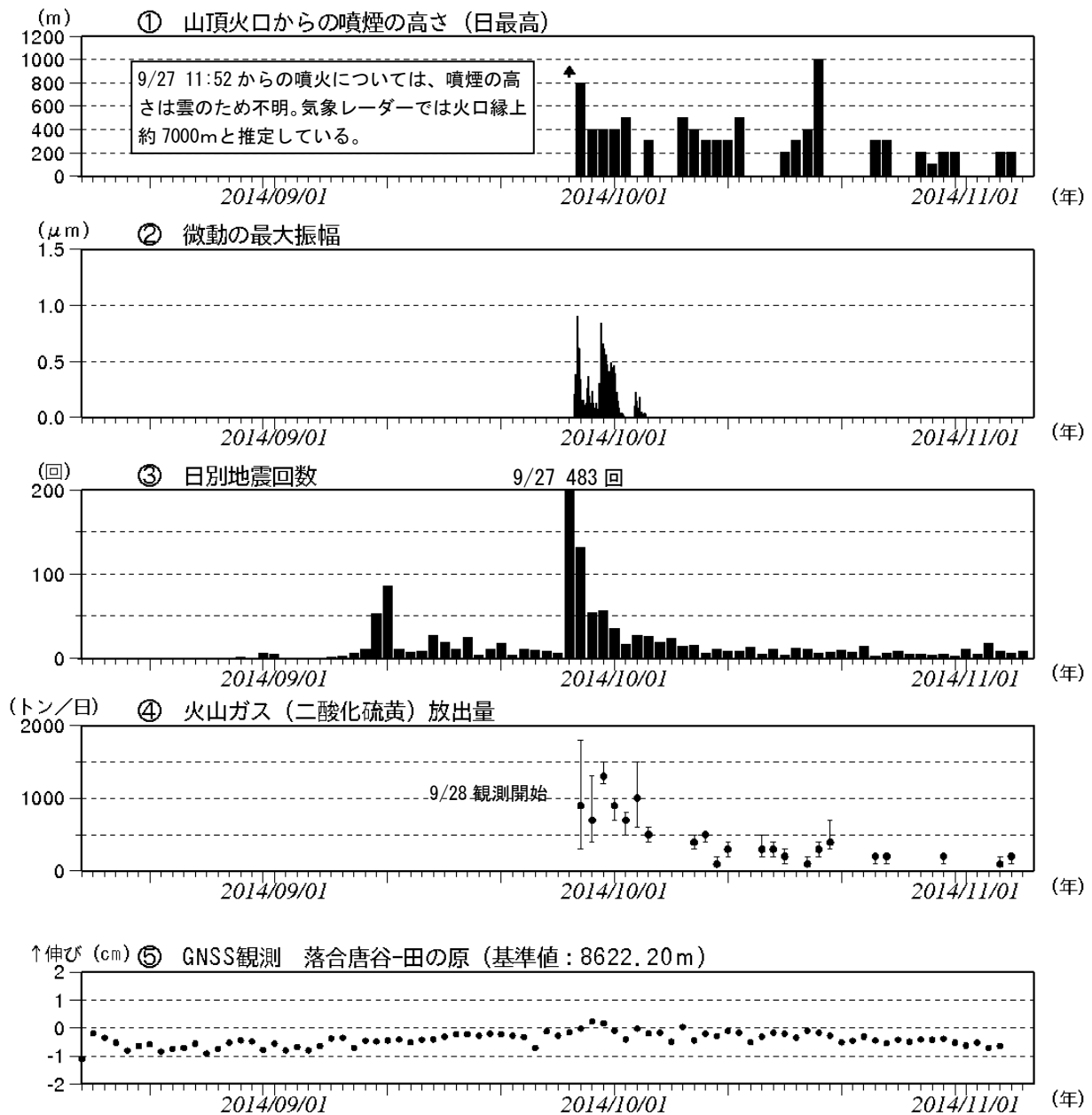


図 9 御嶽山 最近の火山活動経過図（2014 年 8 月 15 日～10 月 31 日）

※①遠望カメラによる噴煙の高さ 噴煙の高さは日最大値（噴火時以外は定時観測（09 時・15 時）の値）。矢印は噴火開始を示す。

- ・噴火発生 11 分前の 9 月 27 日 11 時 41 分頃から火山性微動が発生し、振幅の増減を繰り返しながら続いた。10 月 1 日 19 時頃からは検知できない程度の大きさになったが、2 日 19 時 30 分頃から再び観測され始めた。その後振幅は小さいながらも継続していたが、7 日以降は、検知できない程度の大きさになっている。
- ・火山性地震は、噴火発生直後は多い状態であったが次第に減少し、7 日以降はやや少ない状態で経過している。いずれも体に感じない微小な地震である。
- ・二酸化硫黄の放出量は、4 日頃までは 1 日あたりおよそ 500 トンから 1500 トンで推移していたが、その後は 1 日あたりおよそ 100 トンから 500 トンとやや少ない状態で推移している。

●付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 25 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、* のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 15 41	福島県沖 福島県	37° 05.3' N	141° 10.3' E	34km	M: 3.4
		2 檜葉町北田*=1.6 1 川内村上川内早渡*=1.4 川内村下川内=0.8 川内村上川内小山平*=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5				
2	1 16 35	茨城県沖 茨城県	36° 13.7' N	140° 52.9' E	46km	M: 3.3
		1 日立市助川小学校*=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.6 石岡市柿岡=0.6				
3	2 14 32	宮城県沖 岩手県	38° 25.9' N	141° 40.1' E	54km	M: 4.2
		2 一関市室根町*=2.1 大船渡市大船渡町=1.8 住田町世田米*=1.7 一関市千厩町*=1.6 1 大船渡市猪川町=1.4 一関市東山町*=1.4 陸前高田市高田町*=1.3 釜石市中妻町*=1.2 一関市藤沢町*=1.2 一関市花泉町*=1.2 一関市大東町=1.0 釜石市只越町=0.9 奥州市前沢区*=0.9 奥州市衣川区*=0.9 北上市相去町*=0.8 大船渡市盛町*=0.8 一関市竹山町*=0.8 宮古市区界*=0.7 盛岡市玉山区薮川*=0.7 宮古市鉾ヶ崎=0.6 宮古市田老*=0.6 金ヶ崎町西根*=0.5 平泉町平泉*=0.5 盛岡市玉山区洪民*=0.5 奥州市胆沢区*=0.5 花巻市大迫町=0.5 山田町大沢*=0.5 遠野市青笹町*=0.5 遠野市宮守町*=0.5				
		宮城県				
		2 女川町女川浜*=2.1 石巻市北上町*=2.0 南三陸町歌津*=1.7 石巻市桃生町*=1.7 気仙沼市唐桑町*=1.7 気仙沼市笹が陣*=1.6 涌谷町新町裏=1.5 1 登米市中田町=1.4 登米市津山町*=1.4 石巻市大街道南*=1.4 東松島市矢本*=1.4 気仙沼市本吉町西川内=1.3 石巻市鮎川浜*=1.3 石巻市雄勝町*=1.3 登米市東和町*=1.3 南三陸町志津川=1.2 大崎市鹿島台*=1.2 仙台宮城野区苦竹*=1.2 石巻市泉町=1.2 登米市石越町*=1.2 東松島市小野*=1.2 松島町高城=1.2 気仙沼市赤岩=1.1 栗原市若柳*=1.1 登米市豊里町*=1.1 登米市南方町*=1.1 大崎市古川大崎=1.0 大崎市田尻*=1.0 名取市増田*=1.0 栗原市瀬峰*=1.0 登米市迫町*=1.0 宮城美里町北浦*=0.9 塩竈市旭町*=0.9 岩沼市桜*=0.9 仙台青葉区作並*=0.9 宮城美里町木間塚*=0.9 栗原市一迫*=0.8 大崎市松山*=0.8 石巻市相野谷*=0.8 栗原市志波姫*=0.8 登米市米山町*=0.8 七ヶ浜町東宮浜*=0.8 大衡村大衡*=0.8 栗原市栗駒=0.7 石巻市前谷地*=0.7 宮城川崎町前川*=0.7 大崎市古川北町*=0.7 大崎市鳴子*=0.7 登米市登米町*=0.7 栗原市高清水*=0.7 石巻市大瓜=0.6 仙台青葉区大倉=0.6 栗原市金成*=0.6 大崎市古川三日町=0.6 栗原市築館*=0.5				
		青森県				
		1 階上町道仏*=0.8				
4	2 19 56	宮城県沖 宮城県	38° 18.2' N	141° 52.1' E	46km	M: 3.5
		1 石巻市北上町*=0.5				
5	3 01 17	京都府南部 京都府	34° 58.4' N	135° 38.8' E	11km	M: 2.8
		1 京都西京区大枝*=0.8 亀岡市安町=0.8 亀岡市余部町*=0.8 長岡京市開田*=0.8 大山崎町円明寺*=0.7 京都西京区榎原*=0.6 久御山町田井*=0.6 京都中京区西ノ京=0.5				
		大阪府				
		1 島本町若山台*=0.5				
6	3 07 52	沖縄本島近海 鹿児島県	27° 26.8' N	128° 39.3' E	43km	M: 3.9
		2 伊仙町伊仙*=1.5 知名町瀬利覚=1.5 1 天城町平土野*=1.1 和泊町国頭=1.0 瀬戸内町請島*=0.9 和泊町和泊*=0.9 知名町知名*=0.9 徳之島町亀津*=0.5				
7	3 09 57	岩手県沖 岩手県	40° 09.9' N	142° 37.6' E	28km	M: 5.7
		4 盛岡市玉山区薮川*=3.5 3 普代村銅屋*=3.4 野田村野田*=3.2 盛岡市玉山区洪民*=3.1 矢巾町南矢幅*=2.9 八幡平市田頭*=2.8 二戸市浄法寺町*=2.8 滝沢市鶴飼*=2.8 盛岡市山王町=2.7 宮古市田老*=2.7 八幡平市野駄*=2.6 岩手町五日市*=2.5 釜石市中妻町*=2.5 軽米町軽米*=2.5 花巻市石鳥谷町*=2.5 花巻市東和町*=2.5 奥州市江刺区*=2.5 奥州市胆沢区*=2.5 2 紫波町日詰*=2.4 遠野市青笹町*=2.4 宮古市区界*=2.3 陸前高田市高田町*=2.3 八幡平市大更=2.3 花巻市材木町*=2.3 北上市柳原町=2.3 北上市相去町*=2.3 一関市千厩町*=2.3 金ヶ崎町西根*=2.3 八幡平市叭田*=2.2 宮古市鉾ヶ崎=2.2 宮古市川井*=2.2 奥州市水沢区大鐘町=2.2 雫石町千刈田=2.2 一戸町高善寺*=2.2 花巻市大迫町=2.1 平泉町平泉*=2.1 葛巻町葛巻元木=2.1 奥州市前沢区*=2.1 久慈市川崎町=2.1 盛岡市馬場町*=2.1 遠野市宮守町*=2.1 一関市室根町*=2.1 一関市花泉町*=2.0 西和賀町沢内川舟*=2.0 久慈市枝成沢=2.0 奥州市衣川区*=2.0 雫石町西根上駒木野=1.9 宮古市五月町*=1.9 山田町八幡町=1.9 山田町大沢*=1.9 岩泉町岩泉*=1.9 岩手洋野町種市=1.9 岩手洋野町大野*=1.9 奥州市水沢区佐倉河*=1.9 大船渡市大船渡町=1.9 住田町世田米*=1.9 九戸村伊保内*=1.8 二戸市福岡=1.8 二戸市石切所*=1.8 田野畑村田野畑=1.8 釜石市只越町=1.8 田野畑村役場*=1.8 久慈市長内町*=1.7 花巻市大迫総合支所*=1.7 宮古市茂市*=1.7				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		大槌町小鍬*=1.7 一関市藤沢町*=1.6 一関市東山町*=1.6 久慈市山形町*=1.5 1 宮古市長沢=1.4 岩泉町大川*=1.4 葛巻町消防分署*=1.4 葛巻町役場*=1.4 一関市竹山町*=1.4 西和賀町川尻*=1.4 西和賀町沢内太田*=1.4 大船渡市盛町*=1.3 大船渡市猪川町=1.3 一関市大東町=1.0 3 八戸市南郷区*=3.4 階上町道仏*=3.2 青森南部町苫米地*=3.1 五戸町古館=3.0 おいらせ町中下田*=2.9 青森南部町平*=2.9 野辺地町野辺地*=2.7 おいらせ町上明堂*=2.7 八戸市内丸*=2.6 七戸町森ノ上*=2.6 六戸町大落瀬*=2.6 野辺地町田狭沢*=2.5 青森市花園=2.5 東北町上北南*=2.5 三戸町在府小路町*=2.5 2 外ヶ浜町蟹田*=2.3 東通村砂子又沢内*=2.3 青森市中央*=2.3 平内町小湊=2.3 三沢市桜町*=2.2 七戸町七戸*=2.2 五戸町倉石中市*=2.2 むつ市金谷*=2.2 八戸市湊町=2.2 十和田市西十二番町*=2.2 むつ市金曲=2.1 むつ市大畑町中島*=2.1 田子町田子*=2.0 青森南部町沖田面*=2.0 六ヶ所村尾駈=1.9 つがる市稲垣町*=1.9 横浜町林ノ脇*=1.9 東通村砂子又蒲谷地=1.8 東北町塔ノ沢山*=1.8 むつ市川内町*=1.8 十和田市奥瀬*=1.7 青森市浪岡*=1.7 横浜町寺下*=1.7 藤崎町水木*=1.5 平川市猿賀*=1.5 八戸市島守=1.5 新郷村戸来*=1.5 中泊町中里*=1.5 藤崎町西豊田*=1.5 六ヶ所村出戸=1.5 1 平内町東田沢*=1.4 蓬田村蓬田*=1.4 つがる市木造*=1.4 むつ市脇野沢*=1.4 大間町大間*=1.4 つがる市柏*=1.3 田舎館村田舎館*=1.3 五所川原市敷島町*=1.3 東通村小田野沢*=1.3 板柳町板柳*=1.3 中泊町小泊*=1.2 黒石市市ノ町*=1.2 五所川原市金木町*=1.2 鶴田町鶴田*=1.2 つがる市車力町*=1.2 平川市柏木町*=1.1 五所川原市太田=1.1 今別町今別*=1.1 平川市碓ヶ関*=1.0 外ヶ浜町平館*=1.0 佐井村長後*=1.0 弘前市弥生=0.9 つがる市森田町*=0.9 東通村尻屋*=0.9 五所川原市相内*=0.8 弘前市賀田*=0.8 七戸町北天間館=0.7 外ヶ浜町三厩*=0.7 鯉ヶ沢町本町=0.7 むつ市大畑町奥薬研=0.6 3 石巻市桃生町*=2.6 2 涌谷町新町裏=2.3 栗原市若柳*=2.2 登米市米山町*=2.2 登米市迫町*=2.2 登米市中田町=2.1 栗原市一迫*=2.0 登米市南方町*=2.0 大崎市古川三日町=2.0 松島町高城=2.0 登米市登米町*=1.9 宮城美里町木間塚*=1.9 大崎市古川北町*=1.9 大崎市松山*=1.9 東松島市矢本*=1.9 気仙沼市赤岩=1.8 気仙沼市唐桑町*=1.8 栗原市築館*=1.8 栗原市志波姫*=1.8 登米市豊里町*=1.8 石巻市前谷地*=1.7 気仙沼市笹が陣*=1.7 南三陸町志津川=1.7 大崎市田尻*=1.7 岩沼市桜*=1.6 石巻市大街道南*=1.6 栗原市高清水*=1.6 栗原市金成*=1.5 大崎市鹿島台*=1.5 名取市増田*=1.5 角田市角田*=1.5 蔵王町円田*=1.5 1 宮城加美町中新田*=1.4 色麻町四蔵*=1.4 栗原市鶯沢*=1.4 栗原市花山*=1.4 登米市東和町*=1.4 宮城美里町北浦*=1.4 大崎市古川大崎=1.4 丸森町鳥屋*=1.4 登米市石越町*=1.3 大崎市鳴子*=1.3 大河原町新南*=1.3 仙台青葉区作並*=1.3 利府町利府*=1.3 栗原市瀬峰*=1.3 宮城川崎町前川*=1.2 山元町浅生原*=1.2 宮城加美町小野田*=1.2 仙台宮城野区苦竹*=1.2 塩竈市旭町*=1.2 大衡村大衡*=1.2 大崎市岩出山*=1.1 仙台若林区遠見塚*=1.1 石巻市北上町*=1.1 大郷町粕川*=1.1 亙理町下小路*=1.1 東松島市小野*=1.0 仙台青葉区落合*=1.0 石巻市泉町=1.0 大崎市三本木*=1.0 仙台太白区山田*=0.9 仙台区将監*=0.9 南三陸町歌津*=0.9 村田町村田*=0.8 宮城加美町宮崎*=0.8 仙台宮城野区五輪=0.8 白石市亙理町*=0.8 女川町女川浜*=0.8 登米市津山町*=0.8 気仙沼市本吉町西川内=0.7 仙台青葉区雨宮*=0.7 富谷町富谷*=0.6 仙台青葉区大倉=0.6 大和町吉岡*=0.6 北海道 2 函館市新浜町*=2.2 新冠町北星町*=1.7 函館市泊町*=1.7 室蘭市寿町*=1.5 1 函館市日ノ浜町*=1.4 安平町早来北進*=1.4 様似町栄町*=1.3 木古内町木古内*=1.3 知内町重内*=1.3 函館市美原=1.1 厚真町鹿沼=1.1 浦河町築地*=0.9 新千歳空港=0.9 七飯町桜町=0.9 江別市緑町*=0.9 浦河町潮見=0.9 札幌東区元町*=0.8 標津町北2条*=0.8 苫小牧市末広町=0.8 七飯町本町*=0.7 札幌北区篠路*=0.7 別海町常盤=0.7 日高地方日高町門別*=0.6 新ひだか町三石旭町*=0.6 浦河町野深=0.6 函館市川汲町*=0.6 根室市瑤瑤瑠*=0.5 鹿部町宮浜*=0.5 秋田県 2 横手市大雄*=2.3 大仙市高梨*=2.3 由利本荘市前郷*=2.0 大館市桜町*=2.0 大館市中城*=2.0 大館市比内町扇田*=2.0 鹿角市花輪*=2.0 三種町豊岡*=1.9 秋田市雄和妙法*=1.9 北秋田市花園町=1.8 大館市早口*=1.7 北秋田市新田目*=1.7 大仙市刈和野*=1.7 大仙市大曲花園町*=1.7 横手市平鹿町浅瀬*=1.6 能代市二ツ井町上谷*=1.6 井川町北川尻*=1.6 北秋田市米内沢*=1.5 横手市雄物川町今宿*=1.5 横手市大森町*=1.5 羽後町西馬音内*=1.5 大仙市北長野*=1.5 藤里町藤琴*=1.5 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*=1.5 1 秋田市雄和女米木=1.4 秋田市河辺和田*=1.4 大館市比内町味噌内=1.4 小坂町小坂砂森*=1.4 横手市中央町*=1.4 仙北市田沢湖生保内上清水*=1.4 能代市緑町=1.3 能代市上町*=1.3 にかほ市平沢*=1.3 上小阿仁村小沢田*=1.3 湯沢市沖鶴=1.3 秋田美郷町土崎*=1.3 仙北市角館町小勝田*=1.3 由利本荘市矢島町矢島町*=1.2 由利本荘市西目町沼田*=1.2 由利本荘市岩谷町*=1.2 小坂町小坂上谷地*=1.2 北秋田市阿仁銀山*=1.2 横手市山内土湫*=1.2 大仙市太田町太田*=1.2 仙北市西木町上桧木内*=1.2 能代市常盤山谷=1.2 仙北市西木町上荒井*=1.2 横手市十文字町*=1.1 湯沢市川連町*=1.1 東成瀬村田子内*=1.1 大仙市神宮寺*=1.1 大仙市南外*=1.1 湯上市昭和太保*=1.1 横手市安田柳堤地内*=1.1 大仙市協和境野田*=1.0 秋田市山王=1.0 由利本荘市東由利老方*=1.0 湯沢市佐竹町*=1.0 三種町鶴川*=1.0 由利本荘市島海町伏見*=0.9 八郎潟町大道*=0.9 横手市増田町増田*=0.9 由利本荘市石脇=0.9 由利本荘市尾崎*=0.9 湯沢市寺沢*=0.9 湯沢市横堀*=0.9 由利本荘市岩城内道川*=0.8 五城目町西磯ノ目=0.8 にかほ市金浦*=0.8 にかほ市象潟町浜ノ田*=0.8 東成瀬村椿川*=0.8 三種町鹿渡*=0.7 大仙市協和境唐松岳*=0.6 男鹿市船川*=0.5 山形県 1 中山町長崎*=1.4 酒田市飛鳥*=1.3 酒田市山田*=1.2 酒田市亀ヶ崎=1.1 三川町横山*=1.1 白鷹町荒砥*=1.1 鶴岡市道田町*=1.0 遊佐町遊佐=1.0 上山市河崎*=1.0 村山市中央*=0.9 河北町谷地=0.9 河北町役場*=0.9 鶴岡市藤島*=0.8 遊佐町舞鶴*=0.8 庄内町狩川*=0.8 庄内町余目*=0.8 天童市老野森*=0.8 山辺町緑ヶ丘*=0.8 米沢市林泉寺*=0.8 東根市中央*=0.7 大蔵村肘折*=0.7 戸沢村古口*=0.6 山形市薬師町*=0.5 福島県 1 田村市大越町*=0.9 福島市松木町=0.8 浪江町幾世橋=0.7 郡山市朝日=0.6 須賀川市八幡山*=0.6				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		天栄村下松本*0.6				
8	3 15 56	青森県東方沖 青森県 1 階上町道仏*0.9	40° 53.7' N	142° 08.4' E	50km	M: 3.4
9	3 20 43	青森県東方沖 青森県 1 階上町道仏*0.5	40° 52.8' N	142° 05.7' E	53km	M: 3.1
10	3 22 12	日向灘 高知県 2 宿毛市桜町*2.0 1 宿毛市片島=0.9 大月町弘見*0.6 熊本県 2 熊本高森町高森*1.6 1 阿蘇市波野*1.2 大分県 2 佐伯市蒲江蒲江浦=2.0 佐伯市鶴見*1.9 豊後大野市清川町*1.7 佐伯市上浦*1.6 1 佐伯市春日町*1.4 佐伯市米水津*1.4 臼杵市臼杵*1.2 竹田市荻町*1.2 津久見市宮本町*1.1 佐伯市役所*0.9 津久見市立花町*0.8 豊後大野市三重町=0.7 佐伯市蒲江猪串浦=0.6 愛媛県 1 西予市明浜町*1.4 愛南町一本松*1.4 愛南町柏*0.9 愛南町船越*0.8 宇和島市津島町*0.7 愛南町城辺*0.6 宇和島市住吉町=0.5 宮崎県 1 高千穂町三田井=1.1 延岡市北浦町古江*0.8 高千穂町寺迫*0.8 延岡市北川町川内名白石*0.7	32° 38.4' N	132° 13.2' E	35km	M: 3.9
11	3 23 07	静岡県西部 静岡県 愛知県 1 浜松市竜区春野町*0.6 1 新城市矢部=0.8 新城市東入船*0.6	35° 05.3' N	137° 58.8' E	36km	M: 3.1
12	4 01 44	四国沖 徳島県 2 海陽町久保*1.5 1 牟岐町中村*1.1 海陽町大里*0.9 美波町奥河内*0.5 和歌山県 1 日高川町土生*0.9 上富田町朝来*0.8 湯浅町湯浅*0.7 御坊市菌=0.5 高知県 1 東洋町生見*1.0	33° 23.2' N	134° 53.2' E	37km	M: 3.8
13	4 09 34	択捉島南東沖 北海道 1 根室市落石東*1.4 標津町北2条*0.9 根室市瑤瑤瑠*0.9 別海町常盤=0.8 根室市牧の内*0.7 標茶町塘路*0.6	44° 12.9' N	148° 05.8' E	94km	M: 4.8
14	4 18 21	豊後水道 高知県 1 宿毛市桜町*0.5	32° 54.9' N	132° 37.5' E	29km	M: 2.9
15	5 03 10	紀伊水道 和歌山県 3 由良町里*2.5 2 御坊市菌=2.3 みなべ町芝*2.0 白浜町消防本部=2.0 白浜町日置*2.0 和歌山日高町高家*1.9 日高川町土生*1.9 有田市初島町*1.7 紀美野町下佐々*1.7 日高川町川原河*1.7 湯浅町湯浅*1.6 有田川町下津野*1.6 和歌山美浜町和田*1.5 有田川町中井原*1.5 田辺市中屋敷町*1.5 1 有田市箕島=1.4 和歌山広川町広*1.4 田辺市本宮町本宮*1.4 海南市日方*1.3 田辺市中辺路町近露=1.3 海南市下津*1.3 紀の川市貴志川町神戸*1.1 日高川町高津尾*1.1 田辺市中辺路町栗栖川*1.1 和歌山市一番丁*1.0 和歌山印南町印南*1.0 みなべ町土井=1.0 有田川町清水*0.8 かつらぎ町丁ノ町*0.8 田辺市龍神村西*0.8 新宮市熊野川町日足*0.8 すさみ町周参見*0.7 上富田町朝来*0.7 和歌山市男野芝丁=0.6 紀の川市粉河=0.6 紀の川市桃山町元*0.6 高野町高野山中学校=0.5 古座川町高池=0.5 田辺市鮎川*0.5 徳島県 2 阿南市山口町*1.8 那賀町和食*1.8 阿南市富岡町=1.6 美波町西の地*1.6 阿南市那賀川町*1.5 1 小松島市横須町*1.2 那賀町上那賀*1.2 徳島市大和町=1.1 石井町高川原*0.9 牟岐町中村*0.8 美馬市木屋平*0.7 勝浦町久国*0.7 那賀町横石=0.7 美波町奥河内*0.7 吉野川市鴨島町=0.6 吉野川市川島町*0.6 上勝町旭*0.5 那賀町木頭和無田*0.5 海陽町久保*0.5 奈良県 1 御所市役所*1.0 宇陀市大宇陀迫間*0.9 奈良市半田開町=0.7 広陵町南郷*0.6 野迫川村北股*0.5 葛城市長尾*0.5 田原本町役場*0.5 桜井市初瀬=0.5	33° 40.8' N	135° 08.9' E	39km	M: 3.9
16	5 13 37	宮城県沖 岩手県 1 一関市東山町*0.5	38° 45.0' N	141° 34.8' E	74km	M: 3.2
17	5 13 56	岩手県沖 岩手県 1 宮古市田老*0.7	40° 02.0' N	142° 30.3' E	33km	M: 3.9
18	5 23 07	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*0.5	36° 31.9' N	140° 36.2' E	13km	M: 2.7
19	6 00 09	福島県沖 福島県 2 浪江町幾世橋=1.8 いわき市三和町=1.5 南相馬市原町区高見町*1.5 1 檜葉町北田*1.4 川内村下川内=1.4 富岡町本岡*1.2 浅川町浅川*1.2 田村市都路町*1.1 田村市滝根町*1.1 相馬市中村*1.1 川内村上川内早渡*1.1 南相馬市原町区三島町=1.1 大熊町野上*1.0 新地町谷地小屋*1.0 田村市大越町*1.0 南相馬市原町区本町*1.0 福島県広野町下北迫大谷地原*0.9 田村市船引町=0.9 葛尾村落合落合*0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 玉川村小高*0.8 田村市常葉町*0.8 いわき市平四ツ波*0.7 飯館村伊丹沢*0.7 川内村上川内小山平*0.6 小野町小野新町*0.6 白河市新白河*0.6 小野町中通*0.6	37° 30.6' N	141° 22.5' E	51km	M: 4.1

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
20	6 13 20	南相馬市鹿島区栃窪=0.5 宮城県 茨城県 茨城県南部 栃木県 茨城県 埼玉県	36° 04.8' N	139° 52.4' E	46km	M: 3.5
21	6 15 38	宮城県沖 岩手県 宮城県 福島県	38° 18.5' N	141° 53.2' E	45km	M: 4.2
22	6 19 23	根室半島南東沖 北海道	43° 06.2' N	145° 39.6' E	47km	M: 3.2
23	7 12 07	茨城県北部 茨城県	36° 46.8' N	140° 35.8' E	8km	M: 2.6
24	7 15 03	秋田県内陸南部 秋田県	39° 26.9' N	140° 22.4' E	9km	M: 2.0
25	7 15 10	西表島付近 沖縄県	23° 57.9' N	123° 35.2' E	32km	M: 3.8
26	7 17 42	和歌山県北部 和歌山県	34° 14.9' N	135° 11.7' E	6km	M: 2.0
27	7 19 37	釧路沖 北海道	42° 43.7' N	144° 17.4' E	62km	M: 3.7
28	8 12 16	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 52.0' N	141° 38.1' E	61km	M: 3.2
29	8 12 53	豊後水道 大分県	32° 51.9' N	132° 07.5' E	38km	M: 3.2
30	8 22 11	陸奥湾 青森県	41° 08.4' N	140° 50.4' E	10km	M: 2.3
31	9 01 31	岩手県沖 宮城県	39° 15.9' N	142° 21.6' E	31km	M: 3.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
32	9 04 09	陸奥湾 青森県 1 むつ市脇野沢*=1.2	41° 08.6' N	140° 50.0' E	8km	M: 2.5
33	9 08 37	留萌地方中北部 北海道 1 天塩町川口*=1.0 遠別町本町*=0.6	44° 49.3' N	141° 50.6' E	24km	M: 2.7
34	9 09 16	大分県中部 大分県 2 由布市湯布院町川上*=1.5 1 別府市天間=1.1	33° 17.5' N	131° 23.3' E	9km	M: 2.4
35	9 11 17	陸奥湾 青森県 1 むつ市脇野沢*=0.8	41° 08.4' N	140° 50.2' E	11km	M: 2.4
36	9 13 09	岩手県内陸北部 岩手県 1 八幡平市田頭*=1.1	39° 53.9' N	141° 02.9' E	8km	M: 1.7
37	9 22 01	茨城県沖 茨城県 1 水戸市内原町*=1.0 高萩市安良川*=0.8 東海村東海*=0.8 笠間市笠間*=0.7 日立市助川小学校*=0.6 土浦市常名=0.5	36° 41.5' N	141° 24.6' E	50km	M: 3.9
38	10 08 05	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.5	36° 46.1' N	141° 07.9' E	25km	M: 3.4
39	10 17 22	宮城県北部 岩手県 2 一関市室根町*=1.8 1 住田町世田米*=1.3 釜石市中妻町*=1.2 一関市東山町*=1.2 一関市千厩町*=1.1 平泉町平泉*=1.0 陸前高田市高田町*=0.9 大船渡市猪川町=0.8 北上市相去町*=0.7 大船渡市大船渡町=0.7 一関市藤沢町*=0.6 金ヶ崎町西根*=0.6 遠野市青笹町*=0.6 西和賀町沢内川舟*=0.6 花巻市大迫町=0.6 釜石市只越町=0.6 宮城県 2 南三陸町志津川=1.6 気仙沼市笹が陣*=1.5 1 気仙沼市赤岩=1.2 登米市豊里町*=1.1 気仙沼市唐桑町*=1.0 登米市中田町=0.9 南三陸町歌津*=0.8 女川町女川浜*=0.8 石巻市北上町*=0.7 石巻市桃生町*=0.7 栗原市栗駒=0.6 登米市東和町*=0.5	38° 56.2' N	141° 38.0' E	74km	M: 3.8
40	11 11 33	渡島地方西部 北海道 1 福島町福島*=0.5	41° 29.7' N	140° 11.0' E	8km	M: 1.9
41	11 11 35	千葉県東方沖 茨城県 1 神栖市溝口*=1.0 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 行方市麻生*=0.6 神栖市波崎*=0.5 稲敷市江戸崎甲*=0.5 茨城鹿嶋市宮中*=0.5 千葉県 1 銚子市川口町=0.6	35° 49.6' N	140° 56.1' E	23km	M: 3.3
42	11 11 35	青森県東方沖 青森県 4 青森南部町平*=3.5 3 五戸町古館=3.4 八戸市南郷区*=3.1 野辺地町野辺地*=3.1 平内町小湊=3.1 平内町東田沢*=3.0 野辺地町田狭沢*=3.0 七戸町森ノ上*=2.9 外ヶ浜町蟹田*=2.9 五戸町倉石中市*=2.9 おいらせ町中下田*=2.9 青森南部町苦米地*=2.8 むつ市金曲=2.7 東通村砂子又沢内*=2.7 六戸町大落瀬*=2.7 東北町上北南*=2.7 階上町道仏*=2.7 つがる市木造*=2.6 つがる市稲垣町*=2.6 むつ市金谷*=2.6 むつ市川内町*=2.6 おいらせ町上明堂*=2.5 つがる市車力町*=2.5 青森市花園=2.5 むつ市大畑町中島*=2.5 七戸町七戸*=2.5 2 五所川原市栄町=2.4 つがる市柏*=2.4 八戸市内丸*=2.4 十和田市西二番町*=2.4 横浜町林ノ脇*=2.4 横浜町寺下*=2.4 三戸町在府小路町*=2.4 鶴田町鶴田*=2.3 中泊町中里*=2.3 三沢市桜町*=2.3 大間町大間*=2.3 東通村砂子又蒲谷地=2.3 青森市中央*=2.3 十和田市西二番町*=2.2 蓬田村蓬田*=2.2 青森市浪岡*=2.2 八戸市湊町=2.2 田子町田子*=2.2 青森南部町沖田面*=2.2 五所川原市敷島町*=2.2 五所川原市金木町*=2.1 藤崎町水木*=2.1 むつ市脇野沢*=2.1 東北町塔ノ沢山*=2.1 平川市猿賀*=2.0 鯉ヶ沢町本町=2.0 藤崎町西豊田*=2.0 新郷村戸来*=1.9 つがる市森田町*=1.9 十和田市奥瀬*=1.9 今別町今別*=1.9 板柳町板柳*=1.8 東通村小田野沢*=1.8 鯉ヶ沢町舞戸町*=1.8 六ヶ所村尾駸=1.8 五所川原市太田=1.8 田舎館村田舎館*=1.7 五所川原市相内*=1.7 外ヶ浜町平館*=1.7 佐井村長後*=1.6 黒石市市ノ町*=1.6 むつ市大畑町奥薬研=1.5 平川市柏木町*=1.5 外ヶ浜町三厩*=1.5 六ヶ所村出戸=1.5 1 中泊町小泊*=1.4 弘前市弥生=1.4 八戸市島守=1.4 七戸町北天間館=1.4 風間浦村易国間*=1.3 弘前市賀田*=1.3 深浦町深浦岡町=1.3 東通村尻屋*=1.2 西目屋村田代*=1.1 平川市碓ヶ関*=1.1 弘前市五所*=1.0 弘前市和田町=1.0 佐井村佐井*=1.0 深浦町深浦中沢*=0.9 深浦町岩崎*=0.8 大鰐町大鰐*=0.7 深浦町長慶平=0.7 岩手県 4 盛岡市玉山区薮川*=3.5 3 二戸市浄法寺町*=2.9 普代村銅屋*=2.8 盛岡市玉山区洪民*=2.8 滝沢市鶴飼*=2.8 八幡平市野駄*=2.7 岩手町五日市*=2.6 二戸市福岡=2.5 八幡平市田頭*=2.5 2 野田村野田*=2.4 軽米町軽米*=2.4 矢巾町南矢幅*=2.4 盛岡市山王町=2.3 八幡平市叭田*=2.3 八幡平市大更=2.2 一戸町高善寺*=2.1 二戸市石切所*=2.1 紫波町日詰*=2.0 花巻市東和町*=2.0 花巻市石鳥谷町*=1.9 花巻市材木町*=1.9 奥州市胆沢区*=1.9 宮古市田老*=1.9 遠野市青笹町*=1.8 奥州市江刺区*=1.8 奥州市前沢区*=1.8 岩手洋野町種市=1.8 雫石町千刈田=1.8 金ヶ崎町西根*=1.7 平泉町平泉*=1.7 奥州市水沢区大鐘町=1.7 久慈市川崎町=1.7 久慈市枝成沢=1.7	40° 57.1' N	143° 14.6' E	36km	M: 6.1

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		北海道				九戸村伊保内*=1.7 北上市相去町*=1.7 北上市柳原町=1.6 一関市花泉町*=1.6 盛岡市馬場町*=1.6 奥州市衣川区*=1.6 陸前高田市高田町*=1.5 釜石市中妻町*=1.5 奥州市水沢区佐倉河*=1.5 1 宮古市五月町*=1.4 宮古市川井*=1.4 雫石町西根上駒木野=1.4 葛巻町葛巻元木=1.4 花巻市大迫町=1.4 一関市千厩町*=1.4 宮古市茂市*=1.3 久慈市長内町*=1.3 岩手洋野町大野*=1.2 大船渡市大船渡町=1.2 一関市竹山町*=1.2 一関市室根町*=1.2 宮古市区界*=1.1 釜石市只越町=1.1 住田町世田米*=1.1 遠野市宮守町*=1.1 一関市藤沢町*=1.0 西和賀町川尻*=1.0 山田町八幡町=1.0 山田町大沢*=1.0 花巻市大迫総合支所*=1.0 西和賀町沢内川舟*=0.9 葛巻町消防分署*=0.9 葛巻町役場*=0.8 宮古市鉾ヶ崎=0.8 宮古市長沢=0.7 大船渡市盛町*=0.6 岩泉町大川*=0.6 田野畑村田野畑=0.5 一関市大東町=0.5 3 函館市新浜町*=2.8 函館市泊町*=2.7 浦幌町桜町*=2.6 新篠津村第4 7 線*=2.6 浦河町潮見=2.5 2 新冠町北星町*=2.4 函館市大森町*=2.3 函館市日ノ浜町*=2.3 渡島北斗市中央*=2.3 南幌町栄町*=2.3 安平町早来北進*=2.3 むかわ町松風*=2.3 江別市緑町*=2.3 浦河町築地*=2.3 様似町栄町*=2.3 函館市美原=2.3 厚真町京町*=2.2 厚真町鹿沼=2.2 室蘭市寿町*=2.1 札幌北区篠路*=2.1 新ひだか町静内山手町=2.1 白老町大町=2.0 知内町重内*=2.0 厚沢部町新町*=2.0 十勝大樹町東本通*=2.0 札幌北区太平*=2.0 新千歳空港=2.0 苫小牧市旭町*=2.0 長沼町中央*=1.9 壮瞥町滝之町*=1.9 千歳市若草*=1.9 木古内町木古内*=1.9 上ノ国町大留*=1.9 千歳市支笏湖温泉*=1.9 札幌東区元町*=1.9 厚沢部町木間内*=1.8 帯広市東4条=1.8 七飯町本町*=1.8 苫小牧市末広町=1.8 日高地方日高町門別*=1.8 留寿都村留寿都*=1.8 渡島森町砂原*=1.8 新ひだか町静内御幸町*=1.8 札幌市稲区前田*=1.8 岩見沢市北村赤川*=1.7 釧路町別保*=1.7 札幌北区新琴似*=1.7 当別町白樺*=1.7 むかわ町穂別*=1.7 札幌清田区平岡*=1.7 平取町振内*=1.7 千歳市北栄=1.7 七飯町桜町=1.7 札幌白石区北郷*=1.7 浦河町野深=1.7 登別市桜木町*=1.7 真狩村真狩*=1.7 えりも町えりも岬*=1.7 札幌厚別区もみじ台*=1.7 幕別町忠類錦町*=1.7 恵庭市漁平=1.6 恵庭市京町*=1.6 渡島北斗市本町*=1.6 胆振伊達市梅本=1.6 帯広市東6条*=1.6 音更町元町*=1.6 乙部町緑町*=1.6 洞爺湖町洞爺町*=1.6 釧路市音別町本町*=1.6 せたな町北檜山区徳島*=1.6 白糠町西1条*=1.6 ニセコ町中央通*=1.6 長万部町平里*=1.6 江別市高砂町=1.6 倶知安町南1条=1.6 倶知安町北4条*=1.5 更別村更別*=1.5 新ひだか町三石旭町*=1.5 広尾町並木通=1.5 赤井川村赤井川*=1.5 岩見沢市栗沢町東本町*=1.5 札幌南区真駒内*=1.5 石狩市花川=1.5 鹿追町東町*=1.5 石狩市花畔*=1.5 白老町緑丘*=1.5 北広島市共栄*=1.5 芽室町東2条*=1.5 1 渡島森町御幸町=1.4 岩見沢市鳩が丘*=1.4 栗山町松風*=1.4 胆振伊達市大滝区本町*=1.4 洞爺湖町栄町*=1.4 安平町追分柏が丘*=1.4 新ひだか町静内御園=1.4 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=1.4 岩見沢市5条=1.3 鹿部町宮浜*=1.3 十勝清水町南4条=1.3 豊頃町茂岩本町*=1.3 美瑛市西5条=1.3 標津町北2条*=1.3 渡島森町上台町*=1.3 月形町円山公園*=1.3 福島町福島*=1.3 檜山江差町姥神=1.3 新得町2条*=1.2 檜山江差町中歌町*=1.2 小樽市勝納町=1.2 中札内村東2条*=1.2 滝川市大町=1.2 日高地方日高町日高*=1.2 札幌西区琴似*=1.2 黒松内町黒松内*=1.1 岩内町清住=1.1 増毛町見晴町*=1.1 三笠市幸町*=1.1 広尾町白樺通=1.1 釧路市阿寒町中央*=1.1 札幌南区篠舞*=1.0 石狩市聚富=1.0 夕張市若菜=1.0 札幌中央区北2条=1.0 土幌町土幌*=1.0 別海町常盤=1.0 札幌中央区南4条*=1.0 札幌豊平区月寒東*=1.0 平取町本町*=0.9 富良野市若松町=0.9 標茶町塘路*=0.9 えりも町本町=0.9 喜茂別町喜茂別*=0.9 別海町本別海*=0.9 函館市川汲町*=0.9 豊浦町大岸*=0.9 由仁町新光*=0.9 蘭越町蘭越*=0.9 函館市尾札部町=0.9 釧路市幸町=0.9 渡島松前町福山=0.8 根室市瑤瑤瑤*=0.8 知内町小谷石=0.8 えりも町目黒*=0.8 鶴居村鶴居東*=0.7 登別市鉾山=0.7 弟子屈町弟子屈*=0.7 八雲町上の湯=0.7 北竜町竜西=0.7 本別町北2丁目=0.7 室蘭市山手町=0.7 本別町向陽町*=0.6 平取町仁世宇=0.6 芦別市旭町=0.6 弟子屈町美里=0.6 標茶町川上*=0.5 足寄町上螺湾=0.5 2 登米市迫町*=2.4 涌谷町新町裏=2.3 登米市南方町*=2.1 石巻市桃生町*=2.1 栗原市若柳*=2.0 登米市米山町*=2.0 登米市登米町*=1.8 栗原市志波姫*=1.7 登米市中田町=1.7 宮城美里町木間塚*=1.7 大崎市古川三日町=1.7 大崎市古川北町*=1.6 大崎市松山*=1.6 石巻市大街道南*=1.6 石巻市相野谷*=1.6 石巻市前谷地*=1.6 東松島市矢本*=1.6 栗原市築館*=1.6 松島町高城=1.5 栗原市一迫*=1.5 栗原市高清水*=1.5 丸森町鳥屋*=1.5 1 栗原市栗駒=1.4 登米市豊里町*=1.4 大河原町新南*=1.4 宮城加美町中新田*=1.3 栗原市金成*=1.3 角田市角田*=1.3 岩沼市桜*=1.3 色麻町四竈*=1.2 栗原市鶯沢*=1.2 栗原市花山*=1.2 南三陸町志津川=1.2 宮城美里町北浦*=1.2 大崎市鹿島台*=1.2 大崎市岩出山*=1.2 名取市増田*=1.2 気仙沼市笹が陣*=1.1 利府町利府*=1.1 大崎市古川大崎=1.1 蔵王町円田*=1.0 気仙沼市赤岩=1.0 宮城川崎町前川*=1.0 気仙沼市唐桑町*=1.0 宮城加美町小野田*=1.0 栗原市瀬峰*=1.0 登米市石越町*=0.9 大崎市鳴子*=0.9 山元町浅生原*=0.9 亙理町下小路*=0.8 仙台宮城野区苦竹*=0.8 大衡村大衡*=0.8 仙台若林区遠見塚*=0.7 大郷町柏川*=0.7 大崎市三本木*=0.7 石巻市北上町*=0.6 2 井川町北川尻*=2.4 鹿角市花輪*=2.2 三種町豊岡*=2.1 大館市江城*=1.9 大館市比内町扇田*=1.9 北秋田市阿仁銀山*=1.9 潟上市昭和久保*=1.8 秋田市雄和妙法*=1.8 大館市桜町*=1.8 上小阿仁村小沢田*=1.8 横手市大雄*=1.8 大仙市高梨*=1.8 北秋田市花園町=1.7 北秋田市米内沢*=1.7 能代市上町*=1.6 八郎潟町大道*=1.6 秋田市河辺和田*=1.6 大館市早口*=1.6 北秋田市新田目*=1.6 大仙市刈和野*=1.6 大仙市大曲花園町*=1.6 能代市常盤山谷=1.5 能代市二ツ井町上台*=1.5 潟上市飯田川下虻川*=1.5 潟上市天王*=1.5 三種町鶴川*=1.5 三種町鹿渡*=1.5 小坂町小坂上谷地*=1.5 1 能代市緑町=1.4 五城町町西磯ノ目=1.4 小坂町小坂砂森*=1.4 藤里町藤琴*=1.3 由利本荘市前郷*=1.3 大館市比内町味噌内=1.3 大瀧村中央*=1.2 秋田市山王=1.2 由利本荘市西目町沼田*=1.2 にかほ市平沢*=1.1 大仙市太田町太田*=1.1 男鹿市角間崎*=1.0 三種町ことおか中央公園*=1.0 北秋田市阿仁水無*=1.0 秋田美郷町六郷東根=1.0 秋田美郷町土崎*=1.0 大仙市北長野*=1.0 秋田市雄和女米木=0.9 横手市中央町*=0.9 羽後町西馬音内*=0.9 仙北市市沢湖生保内宮ノ後*=0.9 横手市十文字町*=0.8 湯沢市沖鶴=0.8 大仙市神宮寺*=0.8 大仙市南外*=0.8 仙北市角館町東勝楽丁=0.8 仙北市西木町上荒井*=0.8 男鹿市船川*=0.8 横手市雄物川町今宿=0.8 横手市平鹿町浅舞*=0.8 由利本荘市岩谷町*=0.7
		宮城県				
		秋田県				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
43	11 14 20	仙北市田沢湖生保内上清水＊=0.7 仙北市角館町小勝田＊=0.7 横手市大森町＊=0.7 由利本荘市矢島町矢島町＊=0.7 湯沢市川連町＊=0.6 にかほ市象潟町浜ノ田＊=0.6 八峰町峰浜目名潟＊=0.6 由利本荘市尾崎＊=0.6 横手市増田町増田＊=0.6 由利本荘市岩城内道川＊=0.6 横手市山内土洸＊=0.5 にかほ市金浦＊=0.5 湯沢市佐竹町＊=0.5 東成瀬村田子内＊=0.5 由利本荘市東由利老方＊=0.5 山形県 2 中山町長崎＊=1.7 1 酒田市亀ヶ崎=1.1 酒田市飛鳥＊=1.0 酒田市山田＊=1.0 村山市中央＊=1.0 遊佐町遊佐=0.9 上山市河崎＊=0.9 白鷹町荒砥＊=0.9 天童市老野森＊=0.8 河北町谷地=0.8 福島県 1 浪江町幾世橋=0.7 青森県東方沖 40° 55.2' N 143° 17.4' E 34km M: 5.6 青森県 3 五戸町古館=2.5 2 おいらせ町中下田＊=2.3 八戸市南郷区＊=2.2 青森南部町平＊=2.2 青森南部町苦米地＊=2.2 六戸町大落瀬＊=2.1 東北町上北南＊=2.1 五戸町倉石中市＊=2.1 野辺地町野辺地＊=2.1 階上町道仏＊=2.0 つがる市稲垣町＊=2.0 平内町小湊=2.0 野辺地町田狭沢＊=2.0 七戸町森ノ上＊=1.9 つがる市車力町＊=1.9 平内町東田沢＊=1.9 外ヶ浜町蟹田＊=1.9 むつ市金曲=1.9 むつ市金谷＊=1.9 十和田市西十二番町＊=1.8 つがる市木造＊=1.8 三戸町在府小路町＊=1.8 おいらせ町上明堂＊=1.8 つがる市柏＊=1.8 鶴田町鶴田＊=1.8 東通村砂子又沢内＊=1.8 八戸市内丸＊=1.7 十和田市西二番町＊=1.7 五所川原市栄町=1.7 むつ市大畑町中島＊=1.6 むつ市川内町＊=1.6 中泊町中里＊=1.6 五所川原市敷島町＊=1.6 青森市花園=1.6 七戸町七戸＊=1.6 青森南部町沖田面＊=1.6 横浜町寺下＊=1.5 八戸市湊町=1.5 青森市中央＊=1.5 田子町田子＊=1.5 1 三沢市桜町＊=1.4 東北町塔ノ沢山＊=1.4 大間町大間＊=1.4 東通村砂子又蒲谷地=1.4 青森市浪岡＊=1.3 蓬田村蓬田＊=1.3 田舎館村田舎館＊=1.2 平川市猿賀＊=1.2 十和田市奥瀬＊=1.2 五所川原市金木町＊=1.2 新郷村戸来＊=1.2 藤崎町西豊田＊=1.2 藤崎町水木＊=1.2 つがる市森田町＊=1.1 鯉ヶ沢町本町=1.0 五所川原市相内＊=0.9 今別町今別＊=0.9 むつ市脇野沢＊=0.9 板柳町板柳＊=0.9 平川市柏木町＊=0.9 五所川原市太田=0.9 東通村小田野沢＊=0.8 佐井村長後＊=0.8 黒石市市ノ町＊=0.8 六ヶ所村尾駈=0.8 弘前市弥生=0.8 むつ市大畑町奥薬研=0.7 中泊町小泊＊=0.7 外ヶ浜町平館＊=0.7 八戸市島守=0.6 六ヶ所村出戸=0.6 岩手県 3 盛岡市玉山区薮川＊=2.8 2 八幡平市野駄＊=2.2 盛岡市玉山区洪民＊=2.1 二戸市浄法寺町＊=2.1 岩手町五日市＊=2.1 八幡平市田頭＊=2.1 滝沢市鶴飼＊=1.9 普代村銅屋＊=1.8 八幡平市大更=1.8 野田村野田＊=1.7 軽米町軽米＊=1.7 矢巾町南矢幅＊=1.7 八幡平市叭田＊=1.6 紫波町日詰＊=1.6 盛岡市山王町=1.6 奥州市前沢区＊=1.6 二戸市福岡=1.5 花巻市石鳥谷町＊=1.5 奥州市江刺区＊=1.5 奥州市胆沢区＊=1.5 一戸町高善寺＊=1.5 久慈市川崎町=1.5 北海道 1 花巻市東和町＊=1.4 雫石町千刈田=1.3 花巻市材木町＊=1.3 北上市相去町＊=1.3 二戸市石切所＊=1.2 北上市柳原町=1.2 遠野市青笹町＊=1.2 奥州市水沢区大鐘町=1.2 宮古市田老＊=1.2 雫石町西根上駒木野=1.1 奥州市水沢区佐倉河＊=1.1 九戸村伊保内＊=1.1 岩手洋野町種市=1.0 一関市竹山町＊=1.0 久慈市枝成沢=1.0 久慈市長内町＊=0.7 釜石市中妻町＊=0.7 葛巻町葛巻元木=0.7 花巻市大迫町=0.7 宮古市五月町＊=0.7 宮古市川井＊=0.7 盛岡市馬場町＊=0.6 2 函館市泊町＊=2.3 函館市新浜町＊=2.2 厚沢部町新町＊=1.7 渡島北斗市中央＊=1.6 函館市大森町＊=1.5 函館市日ノ浜町＊=1.5 函館市美原=1.5 宮城県 1 新冠町北星＊=1.4 七飯町桜町=1.3 様似町栄町＊=1.3 浦河町潮見=1.2 室蘭市寿町＊=1.1 厚真町鹿沼=1.1 江別市緑町＊=1.1 木古内町木古内＊=1.1 浦河町築地＊=1.0 七飯町本町＊=1.0 安平町早来北進＊=1.0 福島町福島＊=0.9 新ひだか町静内山手町=0.9 札幌北区篠路＊=0.8 十勝大樹町東本通＊=0.8 白老町大町=0.8 新千歳空港=0.8 札幌東区元町＊=0.8 苫小牧市末広町=0.7 千歳市支笏湖温泉＊=0.7 浦河町野深=0.7 札幌清田区平岡＊=0.7 札幌北区新琴似＊=0.7 鹿部町宮浜＊=0.6 帯広市東 4 条=0.6 釧路市江差町姥神=0.5 2 登米市迫町＊=2.2 登米市米山町＊=1.8 栗原市若柳＊=1.6 登米市中田町=1.6 登米市南方町＊=1.6 登米市登米町＊=1.5 石巻市桃生町＊=1.5 秋田県 1 宮城美里町木間塚＊=1.4 栗原市志波姫＊=1.2 大崎市古川北町＊=1.2 石巻市大街道南＊=1.2 石巻市前谷地＊=1.2 丸森町鳥屋＊=1.1 松島町高城=1.1 大崎市松山＊=1.1 栗原市一迫＊=1.0 大崎市古川三日町=1.0 角田市角田＊=1.0 大河原町新南＊=1.0 栗原市栗駒=0.9 栗原市高清水＊=0.9 栗原市金成＊=0.9 栗原市鶯沢＊=0.8 栗原市花山＊=0.8 石巻市相野谷＊=0.8 東松島市矢本＊=0.8 利府町利府＊=0.8 宮城加美町中新田＊=0.6 宮城川崎町前川＊=0.5 2 三種町豊岡＊=1.6 山形県 1 大館市中城＊=1.4 鹿角市花輪＊=1.4 井川町北川尻＊=1.3 大館市桜町＊=1.3 大館市比内町扇田＊=1.2 横手市大雄＊=1.2 潟上市昭和久保＊=1.1 大館市早口＊=1.1 大仙市高梨＊=1.1 八郎潟町大道＊=1.0 小坂町小坂砂森＊=1.0 北秋田市花園町=1.0 上小阿仁村小沢田＊=0.9 北秋田市阿仁銀山＊=0.9 大仙市刈和野＊=0.9 大潟村中央＊=0.8 秋田市河辺和田＊=0.8 由利本荘市西目町沼田＊=0.8 小坂町小坂上谷地＊=0.8 北秋田市米内沢＊=0.8 能代市上町＊=0.8 能代市二ツ井町上台＊=0.7 藤里町藤琴＊=0.7 秋田美郷町六郷東根=0.7 大仙市北長野＊=0.7 三種町鹿渡＊=0.7 三種町鶴川＊=0.6 羽後町西馬音内＊=0.6 秋田美郷町土崎＊=0.6 大仙市太田町太田＊=0.6 横手市中央町＊=0.5 にかほ市平沢＊=0.5				
44	11 18 58	青森県東方沖 40° 52.6' N 143° 16.7' E 29km M: 4.2 青森県 1 五戸町古館=0.9 青森南部町平＊=0.8				
45	12 05 28	千葉県東方沖 35° 35.7' N 140° 55.0' E 20km M: 4.3 千葉県 2 旭市高生＊=1.9 旭市萩園＊=1.9 香取市仁良＊=1.8 銚子市若宮町＊=1.7 旭市二＊=1.6 成田市花崎町=1.5 1 旭市南堀之内＊=1.4 銚子市川口町=1.2 芝山町小池＊=1.2 匝瑳市今泉＊=1.1 山武市埴谷＊=1.1 香取市佐原諏訪台＊=1.0 香取市役所＊=1.0 成田市松子＊=1.0 八街市八街＊=1.0 東金市日吉台＊=0.9				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		山武市松尾町富士見台=0.9 一宮町一宮=0.9 成田市中台*=0.9 長南町長南*=0.9 匝瑳市八日市場ハ*=0.9 香取市佐原平田=0.8 神崎町神崎本宿*=0.8 山武市蓮沼ハ*=0.8 成田国際空港=0.8 白子町関*=0.8 市原市姉崎*=0.8 栄町安食台*=0.8 成田市役所*=0.7 横芝光町宮川*=0.7 多古町多古=0.7 千葉花見川区花島町*=0.6 長生村本郷*=0.6 柏市大島田*=0.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.6 東庄町笹川*=0.6 千葉若葉区小倉台*=0.5 茨城県 1 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 稲敷市江戸崎甲*=1.2 稲敷市須賀津*=1.2 神栖市波崎*=1.2 土浦市下高津*=1.2 美浦村受領*=1.1 土浦市常名=1.1 潮来市堀之内=1.1 稲敷市結佐*=1.1 石岡市柿岡=1.0 稲敷市柴崎*=1.0 かすみがうら市大和田*=1.0 行方市山田*=0.9 小美玉市上玉里*=0.9 鉾田市鉾田=0.8 茨城鹿嶋市宮中*=0.8 ひたちなか市南神敷台*=0.8 かすみがうら市上土田*=0.8 小美玉市小川*=0.8 小美玉市堅倉*=0.8 笠間市笠間*=0.8 水戸市内原町*=0.7 鉾田市造谷*=0.7 稲敷市役所*=0.7 取手市寺田*=0.7 利根町布川=0.6 行方市麻生*=0.6 石岡市八郷*=0.6 笠間市下郷*=0.6 桜川市羽田*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.6				
46	12 07 43	長野県中部 長野県	36° 26.2' N	138° 02.8' E	2km	M: 1.8 2 麻績村麻*=1.5 1 筑北村坂井=0.8 筑北村西条*=0.5
47	12 10 19	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 47.8' N	141° 34.9' E	72km	M: 3.4 1 一関市東山町*=1.0 一関市千厩町*=0.5 住田町世田米*=0.5 一関市室根町*=0.5 1 栗原市栗駒=0.5
48	12 15 00	千葉県南部 神奈川県	35° 13.9' N	139° 54.6' E	111km	M: 3.9 2 愛川町角田*=1.8 1 藤沢市長後*=1.4 箱根町湯本*=1.4 湯河原町中央=1.4 中井町比奈窪*=1.3 厚木市中町*=1.2 川崎川崎区宮前町*=1.2 秦野市曽屋=1.2 相模原緑区橋本*=1.2 横浜磯子区磯子*=1.1 相模原中央区上溝*=1.1 横浜旭区川井宿町*=1.1 神奈川大井町金子*=1.1 松田町松田惣領*=1.0 横浜緑区十日市場町*=1.0 三浦市城山町*=1.0 清川村煤ヶ谷*=1.0 大磯町月京*=0.9 秦野市平沢*=0.9 横浜泉区和泉町*=0.9 相模原緑区中野*=0.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=0.9 横浜神奈川区神大寺*=0.8 大和市下鶴間*=0.8 相模原南区磯部*=0.7 横浜旭区今宿東町*=0.7 山北町山北*=0.7 横浜中区山手町=0.7 横須賀市光の丘=0.7 南足柄市関本*=0.6 川崎中原区小杉陣屋町=0.5 埼玉県 1 新座市野火止*=0.6 千葉県 1 市原市姉崎*=0.5 館山市長須賀=0.5 東京都 1 東京新宿区百人町*=1.2 東京練馬区豊玉北*=1.1 東京千代田区大手町=1.1 東京新宿区上落合*=0.9 東京大田区多摩川*=0.9 東京渋谷区本町*=0.9 三鷹市野崎*=0.8 調布市西つつじヶ丘*=0.8 町田市忠生*=0.8 東京中野区中野*=0.8 東京北区西ヶ原*=0.8 東京港区白金*=0.8 八王子市堀之内*=0.7 西東京市中町*=0.7 東京大田区本羽田*=0.7 東京練馬区東大泉*=0.7 東京国際空港=0.6 東京江東区塩浜*=0.6 東京品川区北品川*=0.6 東京品川区平塚*=0.6 東京中央区築地*=0.5 昭島市田中町*=0.5 東京渋谷区宇田川町*=0.5 町田市市中町*=0.5 山梨県 1 大月市御太刀*=1.2 富士河口湖町船津=1.2 山梨北杜市長坂町*=0.9 上野原市役所*=0.9 富士河口湖町長浜*=0.9 大月市大月=0.6 上野原市上野原=0.5 静岡県 1 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 熱海市泉*=0.7 東伊豆町奈良本*=0.6 函南町平井*=0.6
49	12 16 23	和歌山県北部 和歌山県	34° 12.7' N	135° 13.4' E	4km	M: 2.0 1 和歌山市一番丁*=0.8
50	13 02 44	茨城県北部 茨城県	36° 41.6' N	140° 38.1' E	8km	M: 3.5 3 高萩市下手綱*=2.5 2 日立市十王町友部*=2.1 高萩市安良川*=2.0 日立市助川小学校*=1.8 日立市役所*=1.5 1 常陸太田市金井町*=1.2 東海村東海*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=0.8 北茨城市磯原町*=0.7 常陸太田市高柿町*=0.6 常陸太田市町屋町=0.6 常陸大宮市北町*=0.5 常陸大宮市山方*=0.5
51	13 02 47	茨城県北部 茨城県	36° 41.3' N	140° 38.0' E	7km	M: 2.5 1 日立市助川小学校*=0.5 高萩市安良川*=0.5
52	13 08 55	和歌山県北部 和歌山県	34° 02.2' N	135° 12.1' E	5km	M: 2.2 1 湯浅町湯浅*=1.0
53	13 10 59	宮城県沖 岩手県	38° 46.0' N	142° 01.8' E	35km	M: 3.3 1 一関市千厩町*=1.1
54	14 00 41	茨城県沖 茨城県	36° 11.7' N	140° 59.2' E	44km	M: 4.1 2 茨城鹿嶋市鉢形=2.2 茨城鹿嶋市宮中*=2.2 日立市助川小学校*=1.9 日立市役所*=1.7 ひたちなか市南神敷台*=1.7 東海村東海*=1.6 土浦市常名=1.5 高萩市安良川*=1.5 城里町石塚*=1.5 鉾田市汲上*=1.5 1 水戸市金町=1.4 潮来市堀之内=1.4 土浦市下高津*=1.3 高萩市下手綱*=1.2 行方市麻生*=1.2 水戸市千波町*=1.1 取手市寺田*=1.1 水戸市中央*=1.1 水戸市内原町*=1.1 常陸大宮市山方*=1.1 那珂市福田*=1.1 稲敷市江戸崎甲*=1.0 かすみがうら市上土田*=1.0 常陸大宮市上小瀬*=1.0 鉾田市造谷*=1.0 小美玉市上玉里*=1.0 大子町池田*=1.0 石岡市柿岡=1.0 常陸大宮市北町*=1.0 鉾田市鉾田=0.9 常陸大宮市高部*=0.9 つくば市小基*=0.9 小美玉市小川*=0.9 稲敷市須賀津*=0.9 常陸大宮市野口*=0.9 神栖市溝口*=0.9 桜川市真壁*=0.8 桜川市羽田*=0.8 かすみがうら市大和田*=0.8 ひたちなか市東石川*=0.8 神栖市波崎*=0.8 行方市山田*=0.8

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		笠間市笠間※=0.8 桜川市岩瀬※=0.7 大洗町磯浜町※=0.7 筑西市海老ヶ島※=0.7 笠間市下郷※=0.7 龍ヶ崎市役所※=0.7 日立市十王町友部※=0.7 小美玉市堅倉※=0.7 茨城町小堤※=0.7 牛久市中央※=0.6 稲敷市結佐※=0.6 つくば市天王台※=0.6 ひたちなか市山ノ上町=0.6 常陸太田市町屋町=0.6 美浦村受領※=0.6 阿見町中央※=0.6 土浦市藤沢※=0.5 常陸太田市高柿町※=0.5 那珂市瓜連※=0.5 城里町阿波山※=0.5 笠間市中央※=0.5 常陸太田市町田町※=0.5 千葉県 2 成田市花崎町=1.5 1 香取市佐原平田=1.2 香取市佐原諏訪台※=1.2 香取市仁良※=1.2 旭市南堀之内※=1.1 香取市役所※=1.1 成田市中台※=1.1 成田国際空港=0.9 銚子市若宮町※=0.8 山武市埴谷※=0.8 成田市役所※=0.8 成田市松子※=0.8 東金市東新宿=0.7 芝山町小池※=0.7 多古町多古=0.6 銚子市川口町=0.5 東金市日吉台※=0.5 旭市二※=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5 千葉中央区千葉市役所※=0.5 柏市旭町=0.5 八街市八街※=0.5 栄町安食台※=0.5 福島県 1 棚倉町棚倉中居野=1.4 白河市新白河※=1.1 泉崎村泉崎※=1.0 白河市郭内=1.0 白河市東※=0.9 白河市大信※=0.9 天栄村下松本※=0.9 浅川町浅川※=0.7 矢祭町東館館本※=0.6 玉川村小高※=0.5 郡山市湖南町※=0.5 栃木県 1 真岡市石島※=1.0 大田原市湯津上※=0.9 茂木町茂木※=0.9 栃木那珂川町馬頭※=0.8 那須町寺子※=0.7 宇都宮市中里町※=0.7 栃木那珂川町小川※=0.6 宇都宮市明保野町=0.5 小山市神鳥谷※=0.5 芳賀町祖母井※=0.5 那須烏山市中央=0.5 下野市田中※=0.5 群馬県 1 沼田市利根町※=0.5				
55	14 05 25	青森県東方沖 青森県 2 階上町道仏※=2.2 八戸市湊町=2.0 八戸市内丸※=1.8 八戸市南郷区※=1.6 1 青森南部町苦米地※=1.2 五戸町古館=1.1 青森南部町平※=1.1 五戸町倉石中市※=0.7 野辺地町田狭沢※=0.7 野辺地町野辺地※=0.6 おいらせ町中下田※=0.5 北海道 1 函館市泊町※=0.7 岩手県 1 軽米町軽米※=1.3 久慈市枝成沢=1.0 岩手洋野町種市=0.8 岩手洋野町大野※=0.5 八幡平市田頭※=0.5	40° 55.1' N	142° 18.0' E	49km	M: 4.1
56	14 06 24	青森県東方沖 青森県 3 東通村砂子又沢内※=2.6 2 階上町道仏※=2.4 八戸市湊町=2.2 野辺地町田狭沢※=2.1 東通村砂子又蒲谷地=2.0 青森南部町苦米地※=1.9 八戸市内丸※=1.9 東通村小田野沢※=1.8 東北町上北南※=1.7 五戸町倉石中市※=1.7 むつ市川内町※=1.7 三戸町在府小路町※=1.6 青森市花園=1.6 平内町小湊=1.5 平内町東田沢※=1.4 野辺地町野辺地※=1.4 横浜町林ノ脇※=1.4 東北町塔ノ沢山※=1.4 青森南部町平※=1.4 五戸町古館=1.3 青森市中央※=1.3 佐井村長後※=1.3 八戸市南郷区※=1.3 三沢市桜町※=1.3 十和田市奥瀬※=1.2 むつ市金曲=1.2 横浜町寺下※=1.2 七戸町七戸※=1.2 六ヶ所村尾駈=1.2 七戸町森ノ上※=1.2 十和田市西二番町※=1.1 むつ市金谷※=1.0 外ヶ浜町蟹田※=1.0 十和田市西十二番町※=0.9 青森南部町沖田面※=0.9 六ヶ所村出戸=0.9 青森市浪岡※=0.8 むつ市脇野沢※=0.8 東通村尻屋※=0.8 八戸町大落瀬※=0.7 つがる市市柏※=0.7 むつ市大畑町中島※=0.7 つがる市木造※=0.6 鶴岡町鶴岡※=0.6 おいらせ町中下田※=0.6 五所川原市敷島町※=0.5 むつ市大畑町奥薬研=0.5 北海道 2 函館市泊町※=2.0 1 函館市新浜町※=1.0 函館市日ノ浜町※=0.9 函館市川汲町※=0.7 岩手県 2 久慈市枝成沢=2.0 1 久慈市川崎町=1.4 軽米町軽米※=1.4 岩手洋野町大野※=1.3 久慈市長内町※=1.2 野田村野田※=1.2 岩手洋野町種市=1.1 九戸村伊保内※=1.1 宮古市田老※=0.9 二戸市浄法寺町※=0.8 二戸市石切所※=0.7 盛岡市玉山区薮川※=0.6	40° 59.9' N	141° 44.5' E	81km	M: 4.4
57	14 15 48	新潟県中越地方 新潟県 1 小千谷市旭町※=0.7	37° 14.9' N	138° 51.3' E	11km	M: 1.7
58	15 03 08	青森県東方沖 北海道 2 函館市泊町※=1.7 函館市新浜町※=1.6 1 厚真町鹿沼=0.6 浦河町潮見=0.5 青森県 2 五戸町古館=1.8 平内町小湊=1.7 野辺地町野辺地※=1.6 五戸町倉石中市※=1.6 青森南部町平※=1.6 野辺地町田狭沢※=1.6 1 八戸市南郷区※=1.4 階上町道仏※=1.4 東通村砂子又沢内※=1.4 七戸町森ノ上※=1.3 平内町東田沢※=1.3 三戸町在府小路町※=1.2 東北町上北南※=1.2 むつ市川内町※=1.2 七戸町七戸※=1.1 おいらせ町中下田※=1.1 むつ市金谷※=1.1 外ヶ浜町蟹田※=1.1 青森南部町苦米地※=1.1 六戸町大落瀬※=1.0 むつ市大畑町中島※=1.0 三沢市桜町※=1.0 おいらせ町上明堂※=0.9 むつ市金曲=0.9 青森南部町沖田面※=0.9 八戸市湊町=0.9 つがる市市柏※=0.9 十和田市西十二番町※=0.9 東通村砂子又蒲谷地=0.8 中泊町中里※=0.8 つがる市車力町※=0.8 八戸市内丸※=0.8 つがる市稲垣町※=0.8 つがる市木造※=0.8 横浜町寺下※=0.7 青森市花園=0.7 むつ市脇野沢※=0.7 東北町塔ノ沢山※=0.6 岩手県 2 盛岡市玉山区薮川※=1.8 二戸市浄法寺町※=1.6 岩手町五日市※=1.5 1 八幡平市田頭※=1.4 盛岡市玉山区洪民※=1.3 普代村銅屋※=1.2 八幡平市野駄※=1.2 滝沢市鶴飼※=1.2 軽米町軽米※=1.0 盛岡市山王町=0.9 二戸市福岡=0.9 八幡平市大更=0.9 花巻市石鳥谷町※=0.6 二戸市石切所※=0.6 宮古市田老※=0.5 宮城県 1 登米市迫町※=0.9 石巻市桃生町※=0.7 登米市米山町※=0.6 秋田県 1 大館市中城※=0.5	40° 51.9' N	143° 23.8' E	35km	M: 5.0
59	15 03 48	紀伊水道 和歌山県 2 湯浅町湯浅※=1.5 1 和歌山広川町広※=1.0 有田川町下津野※=1.0 有田市箕島=0.8 有田市初島町※=0.8 由良町里※=0.7	34° 03.3' N	135° 06.9' E	5km	M: 2.6

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
60	15 07 52	海南市下津*=0.6 御坊市藺=0.5 沖縄本島近海 26° 17.3' N 127° 21.6' E 46km M: 5.1 沖縄県 4 座間味村座間味*=3.5 3 渡嘉敷村渡嘉敷*=3.2 久米島町謝名堂=3.0 久米島町比嘉*=2.8 八重瀬町東風平*=2.7 栗国村浜=2.6 渡名喜村渡名喜*=2.5 久米島町山城=2.5 2 栗国村役場*=2.4 中城村当間*=2.4 西原町与那城*=2.4 那覇市港町*=2.3 豊見城市翁長*=2.3 糸満市潮崎町*=2.2 恩納村恩納*=2.2 南城市佐敷*=2.2 那覇市樋川=2.1 沖縄市美里*=2.1 与那原町上与那原*=2.1 南城市玉城富里*=2.1 宜野湾市野嵩*=2.1 久米島町仲泊*=2.1 読谷村座喜味=2.0 南風原町兼城*=2.0 浦添市安波茶*=2.0 名護市港*=2.0 那覇空港=2.0 八重瀬町具志頭*=1.9 南城市知念久手堅*=1.9 金武町金武*=1.9 うるま市みどり町*=1.9 南城市大里仲間*=1.9 うるま市石川石崎*=1.9 北中城村喜舎場*=1.8 うるま市与那城平安座*=1.8 今帰仁村仲宗根*=1.7 北谷町桑江*=1.7 国頭村辺土名*=1.7 宜野座村宜野座*=1.7 南城市玉城字玉城=1.7 うるま市与那城饒辺*=1.5 1 名護市宮里=1.4 名護市豊原=1.3 嘉手納町嘉手納*=1.3 伊江村東江前*=1.1 国頭村奥=1.0 東村平良*=0.8 鹿児島県 1 与論町茶花*=0.5				
61	15 12 51	宮城県沖 38° 32.7' N 141° 37.4' E 64km M: 4.6 宮城県 4 涌谷町新町裏=3.5 3 登米市中田町=3.2 仙台宮城野区苦竹*=3.2 岩沼市桜*=3.0 登米市東和町*=2.9 石巻市桃生町*=2.9 宮城川崎町前川*=2.8 仙台青葉区大倉=2.8 仙台青葉区作並*=2.8 気仙沼市唐桑町*=2.8 大崎市鳴子*=2.8 東松島市小野*=2.8 登米市南方町*=2.7 登米市迫町*=2.7 南三陸町歌津*=2.7 角田市角田*=2.6 大崎市古川三日町=2.6 柴田町船岡=2.5 登米市豊里町*=2.5 登米市石越町*=2.5 大崎市鹿島台*=2.5 大崎市田尻*=2.5 栗原市花山*=2.5 塩竈市旭町*=2.5 東松島市矢本*=2.5 宮城美里町木間塚*=2.5 2 気仙沼市赤岩=2.4 栗原市鶯沢*=2.4 栗原市瀬峰*=2.4 大崎市古川大崎=2.4 名取市増田*=2.4 大衡村大衡*=2.4 女川町女川浜*=2.4 宮城美里町北浦*=2.3 色麻町四竈*=2.3 大崎市古川北町*=2.3 大崎市松山*=2.3 栗原市栗駒=2.3 仙台泉区将監*=2.3 松島町高城=2.3 大郷町粕川*=2.3 気仙沼市笹が陣*=2.3 仙台宮城野区五輪=2.2 仙台若林区遠見塚*=2.2 栗原市高清水*=2.2 石巻市北上町*=2.2 石巻市前谷地*=2.2 登米市米山町*=2.2 南三陸町志津川=2.2 栗原市一迫*=2.2 大河原町新南*=2.2 村田町村田*=2.2 登米市登米町*=2.1 気仙沼市本吉町西川内=2.1 亙理町下小路*=2.1 栗原市志波姫*=2.1 宮城加美町中新田*=2.1 石巻市大街道南*=2.0 登米市津山町*=2.0 栗原市金成*=2.0 蔵王町円田*=2.0 気仙沼市本吉町津谷*=1.9 栗原市築館*=1.9 石巻市泉町=1.9 石巻市相野谷*=1.9 大崎市岩出山*=1.9 山元町浅生原*=1.9 仙台空港=1.9 富谷町富谷*=1.9 仙台青葉区落合*=1.8 栗原市若柳*=1.8 多賀城市中央*=1.8 仙台青葉区雨宮*=1.8 大和町吉岡*=1.8 宮城加美町小野田*=1.7 仙台太白区山田*=1.6 利府町利府*=1.6 石巻市雄勝町*=1.6 宮城加美町宮崎*=1.5 七ヶ浜町東宮浜*=1.5 1 丸森町上滝=1.4 白石市亙理町*=1.3 丸森町鳥屋*=1.2 石巻市鮎川浜*=1.2 大崎市三本木*=1.1 石巻市大瓜=1.1 七ヶ宿町関*=0.9 岩手県 3 一関市室根町*=2.8 一関市東山町*=2.7 一関市千厩町*=2.6 一関市花泉町*=2.6 2 奥州市衣川区*=2.4 一関市藤沢町*=2.3 奥州市前沢区*=2.0 住田町世田米*=2.0 釜石市中妻町*=1.9 大船渡市大船渡町=1.9 一関市竹山町*=1.8 奥州市胆沢区*=1.8 北上市相去町*=1.7 陸前高田市高田町*=1.6 平泉町平泉*=1.5 一関市大東町=1.5 金ヶ崎町西根*=1.5 1 大船渡市猪川町=1.4 矢巾町南矢幅*=1.3 奥州市江刺区*=1.3 花巻市東和町*=1.2 北上市柳原町=1.2 西和賀町沢内川舟*=1.2 山田町大沢*=1.1 遠野市宮守町*=1.1 釜石市只越町=1.0 宮古市区界*=1.0 八幡平市田頭*=0.9 大船渡市盛町*=0.9 花巻市石鳥谷町*=0.9 遠野市青笹町*=0.8 花巻市大迫町=0.8 盛岡市玉山区薮川*=0.8 奥州市水沢区大鐘町=0.7 奥州市水沢区佐倉河*=0.7 盛岡市山王町=0.7 宮古市鍛ヶ崎=0.7 盛岡市玉山区洪民*=0.7 花巻市材木町*=0.6 宮古市田老*=0.6 紫波町日詰*=0.5 山田町八幡町=0.5 盛岡市馬場町*=0.5 花巻市大迫総合支所*=0.5 山形県 2 河北町谷地=2.3 天童市老野森*=2.2 中山町長崎*=2.2 東根市中央*=2.1 河北町役場*=2.0 尾花沢市若葉町*=2.0 寒河江市中央*=1.7 舟形町舟形*=1.6 戸沢村古口*=1.6 山形朝日町宮宿*=1.6 寒河江市西根*=1.6 大石田町緑町*=1.6 白鷹町荒砥*=1.6 最上町向町*=1.5 山辺町緑ヶ丘*=1.5 1 大蔵村清水*=1.4 村山市中央*=1.4 米沢市林泉寺*=1.4 上山市河崎*=1.3 大江町左沢*=1.3 白鷹町黒鴨=1.3 新庄市東谷地田町=1.3 大蔵村肘折*=1.3 西川町大井沢*=1.1 米沢市アルカディア=1.1 山形市緑町=1.1 山形市薬師町*=1.1 南陽市三間通*=1.0 高畠町高畠*=0.9 三川町横山*=0.9 庄内町狩川*=0.9 鮭川村佐渡*=0.8 山形川西町上小松*=0.8 米沢市駅前=0.8 酒田市山田*=0.7 米沢市金池*=0.7 長井市ままの上*=0.7 山形市旅籠町*=0.7 真室川町新町*=0.7 新庄市沖の町*=0.6 山形金山町金山*=0.6 山形小国町岩井沢=0.5 新庄市堀端町*=0.5 鶴岡市藤島*=0.5 福島県 2 相馬市中村*=2.0 新地町谷地小屋*=2.0 福島伊達市霊山町*=1.9 飯館村伊丹沢*=1.9 桑折町東大隅*=1.8 田村市都路町*=1.7 福島伊達市梁川町*=1.7 福島市桜木町*=1.7 二本松市針道*=1.7 南相馬市原町区三島町=1.7 福島市松木町=1.6 福島市五老内町*=1.6 本宮市白岩*=1.6 南相馬市原町区高見町*=1.6 南相馬市鹿島区西町*=1.6 福島伊達市月館町*=1.5 本宮市本宮*=1.5 南相馬市鹿島区栃窪=1.5 1 国見町藤田*=1.4 川俣町樋ノ口*=1.4 福島伊達市保原町*=1.4 田村市大越町*=1.3 檜葉町北田*=1.3 福島市飯野町*=1.2 田村市船引町=1.2 福島伊達市前川原*=1.2 南相馬市原町区本町*=1.2 二本松市金色*=1.1 玉川村小高*=1.1 小野町中通*=1.1 田村市常葉町*=1.1 田村市滝根町*=1.1 浪江町幾世橋=1.1 南相馬市小高区*=1.1 葛尾村落合落合*=1.0 白河市新白河*=0.9 須賀川市岩瀬支所*=0.9 いわき市三和町=0.9				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		川内村下川内=0.9 川内村上川内早渡*=0.9 小野町小野新町*=0.9 郡山市朝日=0.8 富岡町本岡*=0.8 天栄村下松本*=0.8 須賀川市八幡山*=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*=0.7 大玉村玉井*=0.7 平田村永田*=0.7 浅川町浅川*=0.6 川内村上川内小山平*=0.6 三春町大町*=0.6 大熊町野上*=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.5 青森県 1 階上町道仏*=0.9 秋田県 1 大仙市高梨*=1.0 仙北市西木町上桧木内*=1.0 横手市大雄*=0.7 東成瀬村椿川*=0.6 羽後町西馬音内*=0.5 大仙市刈和野*=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.5				
62	15 19 44	種子島近海 鹿児島県	30° 34.2' N	130° 57.3' E	7km	M: 3.4
		3 中種子町野間*=3.0 1 南種子町中之上*=1.1 西之表市住吉=0.8 南種子町西之*=0.7 南種子町中之下=0.5				
63	15 20 59	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 16.3' N	141° 52.5' E	51km	M: 3.5
		1 一関市千厩町*=0.5 1 女川町女川浜*=0.8				
64	15 23 05	岩手県沖 岩手県 宮城県	39° 11.0' N	142° 24.2' E	34km	M: 4.0
		1 一関市室根町*=1.0 釜石市中妻町*=0.8 一関市千厩町*=0.8 山田町大沢*=0.8 住田町世田米*=0.5 1 南三陸町志津川=0.7 気仙沼市赤岩=0.5				
65	16 04 39	伊予灘 愛媛県	33° 42.3' N	132° 37.3' E	41km	M: 4.0
		3 内子町小田*=2.5 2 久万高原町久万*=2.3 松山市北持田町=1.9 砥部町総津*=1.9 西条市丹原町鞆瀬=1.9 内子町平岡*=1.8 宇和島市丸穂*=1.8 上島町弓削*=1.7 西予市城川町*=1.7 松山市北条辻*=1.7 伊予市中山町*=1.7 大洲市大洲*=1.7 内子町内子*=1.7 大洲市肱川町*=1.6 松山市富久町*=1.6 大洲市河辺町*=1.6 西予市明浜町*=1.5 八幡浜市五反田*=1.5 愛媛鬼北町近永*=1.5 今治市菊間町*=1.5 1 今治市吉海町*=1.4 新居浜市別子山*=1.4 松山市中島大浦*=1.4 伊方町湊浦*=1.4 西予市宇和町*=1.3 宇和島市三間町*=1.3 八幡浜市保内町*=1.3 松野町松丸*=1.3 上島町魚島*=1.2 愛南町柏*=1.2 愛媛鬼北町下鍵山*=1.2 伊予市下吾川*=1.2 宇和島市住吉町=1.2 宇和島市津島町*=1.2 今治市宮窪町*=1.2 西予市野村町=1.1 宇和島市吉田町*=1.1 愛媛松前町筒井*=1.0 八幡浜市広瀬=1.0 今治市南宝来町二丁目=1.0 新居浜市一宮町=0.9 西条市新田*=0.9 伊方町三崎*=0.9 上島町岩城*=0.9 愛南町一本松*=0.9 久万高原町渋草*=0.9 東温市南方*=0.9 今治市大西町*=0.9 久万高原町東川*=0.8 伊方町三机*=0.8 西予市三瓶町*=0.8 伊予市双海町*=0.7 今治市上浦町*=0.7 西条市丹原町池田*=0.7 上島町生名*=0.7 大洲市長浜*=0.7 愛南町船越*=0.6 愛媛鬼北町成川=0.6 四国中央市土居町*=0.6 今治市朝倉北*=0.6 今治市波方町*=0.6 久万高原町柳井川*=0.5 四国中央市新宮町*=0.5 愛南町城辺*=0.5 広島県 2 廿日市市大野*=1.5 1 呉市二河町*=1.4 大崎上島町中野*=1.2 広島中区羽衣町*=1.2 江田島市能美町*=1.2 江田島市大柿町*=1.1 呉市倉橋町鷹ヶ巣=1.1 尾道市向島町*=1.0 江田島市江田島町*=0.9 広島安芸区中野*=0.9 江田島市沖美町*=0.9 呉市広*=0.9 呉市下蒲刈町*=0.9 廿日市市津田*=0.9 府中町大通り*=0.9 広島安佐北区可部南*=0.8 呉市宝町=0.8 海田町上市*=0.8 三原市本郷南*=0.7 呉市川尻町*=0.7 大竹市小方*=0.7 東広島市黒瀬町=0.7 大崎上島町東野*=0.7 呉市音戸町*=0.6 呉市安浦町*=0.6 呉市豊町*=0.6 広島西区己斐*=0.6 尾道市瀬戸田町*=0.6 東広島市福富町*=0.6 福山市内海町*=0.6 広島佐伯区利松*=0.6 呉市豊浜町*=0.6 呉市焼山*=0.6 三原市円一町=0.6 北広島町有田=0.5 東広島市西条栄町*=0.5 東広島市安芸津町*=0.5 廿日市市吉和*=0.5 安芸太田町中筒賀*=0.5 世羅町西上原*=0.5 神石高原町油木*=0.5 高知県 2 高知市春野町芳原=1.5 1 佐川町役場*=1.4 いの町上八川*=1.4 梶原町梶原*=1.3 日高村本郷*=1.2 いの町長沢*=1.1 仁淀川町大崎*=1.1 中土佐町久礼*=1.1 黒潮町入野=1.1 高知市役所*=1.1 四万十町大正*=1.0 いの町脇ノ山*=1.0 宿毛市桜町*=1.0 四万十町琴平町*=0.9 黒潮町佐賀*=0.9 高知津野町力石*=0.9 須崎市西糺町*=0.9 土佐町土居*=0.9 仁淀川町土居*=0.8 高知市高須東町*=0.8 土佐市蓮池*=0.8 大川村小松*=0.8 本山町本山*=0.7 いの町役場*=0.7 高知市丸ノ内*=0.7 四万十市西土佐江川崎*=0.7 越知町越知*=0.6 仁淀川町森*=0.6 高知市本町=0.6 中土佐町大野見吉野*=0.5 梶原町広野*=0.5 山口県 2 上関町長島*=1.9 光市中央*=1.8 柳井市大島*=1.8 周防大島町東和総合支所*=1.8 平生町平生*=1.7 周防大島町西安下庄*=1.7 周防大島町小松*=1.6 田布施町下田布施=1.5 周防大島町平野*=1.5 1 岩国市由宇町*=1.4 柳井市南町*=1.4 周防大島町久賀*=1.2 岩国市横山*=1.1 岩国市美川町高ヶ原*=1.0 防府市西浦*=1.0 下松市大手町*=1.0 周南市熊毛中央町*=0.9 岩国市玖珂町阿山*=0.8 和木町和木*=0.8 周南市桜馬場通り*=0.8 周南市岐山通り*=0.8 岩国市周東町下久原*=0.7 岩国市玖珂総合支所*=0.7 光市岩田*=0.7 上関町室津*=0.7 岩国市今津=0.6 岩国市本郷町本郷*=0.5 周南市富田*=0.5 島根県 1 浜田市三隅町三隅*=1.0 吉賀町六日市*=0.5 岡山県 1 岡山美咲町久木*=0.5 玉野市宇野*=0.5 岡山北区御津金川*=0.5 徳島県 1 徳島三好市池田総合体育館=1.3 香川県 1 観音寺市豊浜町*=0.8 観音寺市坂本町=0.7 三豊市詫間町*=0.7 綾川町滝宮*=0.7 観音寺市瀬戸町*=0.5 大分県 1 大分市佐賀関*=0.9 国東市田深*=0.8				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
66	16 08 02	十勝地方中部 北海道	42° 37.4' N	143° 30.0' E	93km	M: 3.6 1 豊頃町茂岩本町*=0.7 本別町向陽町*=0.6 十勝大樹町生花*=0.5
67	16 08 21	奄美大島近海 鹿児島県	27° 33.9' N	128° 50.0' E	16km	M: 3.2 1 伊仙町伊仙*=1.1 知名町瀬利寛=0.5
68	16 08 53	八丈島東方沖 千葉県	32° 07.0' N	140° 49.1' E	9km	M: 5.7 2 鋸南町下佐久間*=1.8 館山市北条*=1.5 1 鴨川市横渚*=1.3 館山市長須賀=1.3 鴨川市八色=0.9 千葉中央区都町*=0.8 君津市久保*=0.8 市原市姉崎*=0.7 東京都 2 青ヶ島村=1.8 1 八丈町富士グラント*=1.4 八丈町三根=1.1 八丈町檜立=1.1 新島村大原=0.9 東京大田区本羽田*=0.8 神津島村金長=0.8 三宅村神着=0.8 三宅村役場臨時庁舎=0.8 東京江東区塩浜*=0.8 東京大田区多摩川*=0.7 御蔵島村西川=0.7 東京千代田区大手町=0.7 町田市中町*=0.5 埼玉県 1 春日部市谷原新田*=0.9 さいたま緑区中尾*=0.9 加須市大利根*=0.9 富士見市鶴馬*=0.8 さいたま南区別所*=0.7 志木市中宗岡*=0.6 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.8 横浜泉区和泉町*=0.6 湯河原町中央=0.5 新潟県 1 南魚沼市六日町=0.5 長野県 1 諏訪市高島*=0.7 静岡県 1 伊豆の国市四日町*=0.8 伊豆の国市長岡*=0.8
69	16 09 29	茨城県北部 茨城県	36° 41.2' N	140° 38.1' E	8km	M: 3.0 1 高萩市安良川*=0.7 日立市助川小学校*=0.6
70	16 21 30	秋田県内陸南部 秋田県	39° 26.7' N	140° 22.5' E	7km	M: 1.4 1 大仙市南外*=0.7
71	17 12 34	茨城県沖 茨城県	36° 25.8' N	140° 39.4' E	53km	M: 3.5 2 東海村東海*=2.4 水戸市金町=1.8 日立市助川小学校*=1.7 ひたちなか市東石川*=1.5 日立市役所*=1.5 1 水戸市内原町*=1.3 ひたちなか市南神敷台*=1.3 常陸大宮市北町*=1.3 常陸大宮市上小瀬*=1.3 城里町徳蔵*=1.3 常陸大宮市野口*=1.2 小美玉市堅倉*=1.2 土浦市常名=1.2 水戸市中央*=1.1 水戸市千波町*=1.0 小美玉市小川*=1.0 石岡市柿岡=1.0 常陸太田市町屋町=0.9 笠間市下郷*=0.9 小美玉市上玉里*=0.9 日立市十王町友部*=0.9 大子町池田*=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 桜川市羽田*=0.9 鉾田市汲上*=0.9 茨城町小堤*=0.8 那珂市瓜連*=0.8 常陸太田市高柿町*=0.8 常陸太田市町田町*=0.7 常陸大宮市山方*=0.7 かすみがうら市上土田*=0.7 かすみがうら市大和田*=0.7 筑西市海老ヶ島*=0.6 高萩市下手綱*=0.6 土浦市下高津*=0.6 那珂市福田*=0.5 城里町阿波山*=0.5 常陸太田市大中町*=0.5 桜川市真壁*=0.5 福島県 1 浅川町浅川*=0.6 栃木県 1 茂木町茂木*=0.9 真岡市田町*=0.6 益子町益子=0.5 栃木那珂川町馬頭*=0.5
72	17 18 58	茨城県沖 茨城県	35° 56.5' N	141° 03.6' E	17km	M: 4.1 2 稲敷市江戸崎甲*=1.5 1 稲敷市柴崎*=1.1 稲敷市須賀津*=1.1 土浦市下高津*=1.0 つくば市小茎*=1.0 日立市役所*=1.0 土浦市常名=1.0 稲敷市結佐*=1.0 美浦村受領*=0.9 茨城鹿嶋市宮中*=0.9 神栖市溝口*=0.9 行方市麻生*=0.9 水戸市内原町*=0.8 潮来市堀之内=0.8 ひたちなか市南神敷台*=0.8 稲敷市役所*=0.8 龍ヶ崎市役所*=0.8 東海村東海*=0.8 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 取手市寺田*=0.7 日立市助川小学校*=0.7 水戸市金町=0.6 城里町石塚*=0.5 かすみがうら市大和田*=0.5 石岡市柿岡=0.5 水戸市千波町*=0.5 千葉県 2 香取市仁良*=1.8 成田市花崎町=1.8 東金市日吉台*=1.5 1 多古町多古=1.3 芝山町小池*=1.2 香取市役所*=1.2 山武市松尾町富士見台=1.2 成田市中台*=1.2 横芝光町宮川*=1.1 横芝光町横芝*=1.1 山武市埴谷*=1.1 千葉中央区都町*=1.1 香取市佐原平田=1.1 成田市役所*=1.1 成田市松子*=1.1 八街市八街*=1.1 東金市東新宿=1.0 東金市東岩崎*=1.0 千葉若葉区小倉台*=1.0 香取市佐原諏訪台*=1.0 栄町安食台*=1.0 富里市七栄*=1.0 匝瑳市八日市場ハ*=0.9 匝瑳市今泉*=0.9 銚子市川口町=0.9 旭市ニ*=0.9 山武市蓮沼ハ*=0.9 千葉中央区千葉市役所*=0.8 千葉稲毛区園生町*=0.8 旭市南堀之内*=0.8 千葉美浜区稲毛海岸*=0.8 山武市殿台*=0.8 成田国際空港=0.7 千葉花見川区花島町*=0.7 四街道市鹿渡*=0.6 千葉中央区中央港=0.6 柏市旭町=0.6 埼玉県 1 春日部市谷原新田*=0.5
73	18 02 26	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 49.6' N	141° 38.3' E	68km	M: 3.3 1 大船渡市大船渡町=0.5 一関市千厩町*=0.5 1 気仙沼市笹が陣*=1.2 気仙沼市唐桑町*=0.7
74	18 02 41	奄美大島北西沖 鹿児島県	29° 39.2' N	128° 22.4' E	26km	M: 5.3 1 鹿児島十島村悪石島*=1.0 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.5
75	18 11 03	宮城県沖 岩手県	38° 51.3' N	141° 38.6' E	74km	M: 3.2 1 一関市千厩町*=0.6 一関市室根町*=0.6
76	18 13 08	栃木県北部 栃木県	36° 59.0' N	139° 37.7' E	7km	M: 2.7 1 日光市日蔭*=0.6 那須塩原市塩原庁舎*=0.6

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
77	18 15 40	石垣島近海 沖縄県 1 石垣市新栄町*=0.9 竹富町大原=0.9 竹富町船浮=0.9 石垣市平久保=0.8 石垣市美崎町*=0.8 石垣市伊原間*=0.5 石垣市登野城=0.5	24° 24.5' N	124° 06.3' E	43km	M: 3.8
78	18 19 08	有明海 長崎県 1 島原市有明町*=1.1 南島原市深江町*=0.9 雲仙市国見町=0.8 雲仙市小浜町雲仙=0.8 熊本県 1 玉名市天水町*=1.1 宇城市松橋町=0.6 熊本西区春日=0.6 上天草市大矢野町=0.5	32° 47.9' N	130° 31.2' E	12km	M: 3.2
79	19 02 34	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*=0.6	37° 02.2' N	139° 21.4' E	8km	M: 1.6
80	19 05 25	茨城県沖 福島県 1 田村市都路町*=1.1 茨城県 1 水戸市内原町*=0.8 笠間市笠間*=0.7 日立市助川小学校*=0.5	36° 41.5' N	141° 20.8' E	48km	M: 3.8
81	19 08 28	青森県東方沖 青森県 1 階上町道仏*=0.7	40° 44.5' N	142° 11.6' E	48km	M: 3.2
82	19 11 07	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市一番丁*=0.9 海南市日方*=0.6	34° 12.7' N	135° 09.7' E	6km	M: 2.7
83	19 13 02	長野県中部 長野県 1 松本市会田*=0.6 安曇野市穂高支所=0.6	36° 20.1' N	137° 59.0' E	5km	M: 2.0
84	20 16 36	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市若宮町*=1.4 銚子市川口町=1.3 銚子市天王台=0.7 旭市萩園*=0.5 香取市仁良*=0.5	35° 45.6' N	140° 51.1' E	13km	M: 3.4
85	21 05 25	福島県浜通り 福島県 2 いわき市錦町*=1.6 1 いわき市三和町=1.2 田村市都路町*=0.9 郡山市開成*=0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5 玉川村小高*=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.2 高萩市下手綱*=0.7 東海村東海*=0.7 常陸太田市町屋町=0.6 常陸大宮市北町*=0.6 高萩市安良川*=0.5 日立市役所*=0.5 常陸大宮市上小瀬*=0.5 城里町石塚*=0.5	36° 59.0' N	140° 41.5' E	10km	M: 3.7
86	21 08 53	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=1.0 一関市藤沢町*=0.7 住田町世田米*=0.6 一関市東山町*=0.5 宮城県 1 涌谷町新町裏=1.2 女川町女川浜*=1.1 東松島市小野*=1.0 石巻市大街道南*=0.9 石巻市桃生町*=0.9 塩竈市旭町*=0.9 岩沼市桜*=0.9 宮城川崎町前川*=0.9 東松島市矢本*=0.8 仙台宮城野区苦竹*=0.8 大衡村大衡*=0.8 名取市増田*=0.8 石巻市泉町=0.7 仙台青葉区大倉=0.7 大崎市鹿島台*=0.7 登米市中田町=0.6 登米市東和町*=0.6 栗原市瀬峰*=0.6 柴田町船岡=0.5 登米市石越町*=0.5	38° 20.3' N	141° 52.9' E	62km	M: 3.8
87	21 15 37	愛知県西部 愛知県 1 豊田市長興寺*=0.8 豊田市小坂本町=0.7 豊田市足助町*=0.7 豊田市坂上町*=0.7 豊田市百々町*=0.7 愛知美浜町河和*=0.6 愛知みよし市三好町*=0.6	34° 58.3' N	136° 59.8' E	36km	M: 3.1
88	21 19 03	岩手県沖 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.7	39° 04.5' N	142° 24.0' E	32km	M: 3.5
89	22 05 53	釧路地方北部 北海道 2 弟子屈町サワンチサップ*=2.4	43° 36.0' N	144° 23.0' E	3km	M: 2.3
90	22 05 55	沖縄本島北西沖 沖縄県 1 中城村当間*=1.2 うるま市石川石崎*=1.2 渡嘉敷村渡嘉敷*=1.1 恩納村恩納*=1.1 西原町与那城*=1.0 今帰仁村仲宗根*=0.9 宜野湾市野嵩*=0.9 那覇市港町*=0.8 名護市港*=0.8 八重瀬町東風平*=0.8 久米島町謝名堂=0.8 うるま市みどり町*=0.6 国頭村辺土名*=0.6 国頭村奥=0.5 名護市豊原=0.5 宜野座村宜野座*=0.5	27° 06.5' N	127° 21.9' E	92km	M: 4.2
91	22 07 55	熊本県熊本地方 長崎県 2 雲仙市小浜町雲仙=1.5 1 雲仙市雲仙出張所*=1.0 雲仙市南串山町*=0.9 南島原市北有馬町*=0.8 南島原市深江町*=0.7 南島原市口之津町*=0.7 長崎市元町*=0.6 南島原市南有馬町*=0.6 南島原市有家町*=0.5 熊本県 2 八代市坂本町*=2.2 上天草市大矢野町=2.1 八代市松江城町*=2.0 宇城市小川町*=1.9 氷川町島地*=1.9 八代市平山新町=1.9 上天草市姫戸町*=1.9 宇城市豊野町*=1.7 宇城市不知火町*=1.6 八代市千丁町*=1.6 上天草市松島町*=1.6 1 八代市鏡町*=1.4 熊本美里町永富*=1.4 宇城市三角町*=1.4 熊本美里町馬場*=1.3 宇城市松橋町=1.3 嘉島町上島*=1.3 八代市泉支所*=1.2 熊本西区春日=1.2 芦北町芦北=1.2 宇土市浦田町*=1.1 熊本南区富合町*=1.1 甲佐町豊内*=1.1 芦北町田浦町*=1.1 五木村甲*=0.9 水俣市牧ノ内*=0.9 八代市東陽町*=0.9 上天草市龍ヶ岳町*=0.9 天草市倉岳町*=0.9 八代市泉町=0.8 天草市五和町*=0.8 山都町下馬尾*=0.7 天草市有明町*=0.7 熊本南区城南町*=0.7 球磨村渡*=0.6 菊池市旭志*=0.5 福岡県 1 みやま市高田町*=0.5 鹿児島県 1 長島町獅子島*=0.9 伊佐市大口鳥巢*=0.6 長島町鷹巢*=0.5	32° 30.6' N	130° 34.8' E	10km	M: 3.7

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
92	22 07 59	宮城県沖 岩手県	38° 42.0' N	141° 47.5' E	53km	M: 2.9 1 一関市室根町*=0.9
93	22 09 15	沖縄本島近海 鹿児島県 沖縄県	27° 26.5' N	128° 34.1' E	51km	M: 5.6 4 知名町瀬利覚=4.0 天城町平土野*=3.9 与論町茶花*=3.8 3 知名町知名*=3.3 和泊町国頭=3.2 和泊町和泊*=3.2 伊仙町伊仙*=3.2 瀬戸内町請島*=2.9 与論町麦屋=2.6 2 徳之島町亀津*=2.3 瀬戸内町与路島*=2.3 天城町当部=2.2 奄美市名瀬港町=1.9 奄美市笠利町里*=1.7 1 瀬戸内町西古見=1.3 大和村思勝*=1.1 奄美市住用町西仲間*=1.1 宇検村湯湾*=1.1 喜界町滝川=1.0 奄美市名瀬幸町*=1.0 瀬戸内町占仁屋*=1.0 3 国頭村奥=2.6 今帰仁村仲宗根*=2.5 2 国頭村辺土名*=2.4 伊平屋村役場*=2.2 恩納村恩納*=2.1 伊平屋村我喜屋=2.1 名護市港*=2.1 東村平良*=1.9 北中城村喜舎場*=1.9 うるま市石川石崎*=1.9 西原町与那城*=1.8 中城村当間*=1.8 うるま市与那城平安座*=1.8 うるま市与那城饒辺*=1.8 南城市佐敷*=1.8 与那原町上与那原*=1.7 北谷町桑江*=1.7 沖縄市美里*=1.6 大宜味村大兼久*=1.6 伊是名村仲田*=1.6 八重瀬町東風平*=1.6 南城市知念久手堅*=1.6 南城市玉城富里*=1.6 うるま市みどり町*=1.6 南城市大里仲間*=1.6 浦添市安波茶*=1.5 糸満市潮崎町*=1.5 那覇市港町*=1.5 宜野湾市野嵩*=1.5 八重瀬町具志頭*=1.5 1 渡嘉敷村渡嘉敷*=1.4 名護市宮里=1.3 名護市豊原=1.3 南風原町兼城*=1.3 那覇市樋川=1.2 読谷村座喜味=1.2 豊見城市翁長*=1.2 宜野座村宜野座*=1.2 金武町金武*=1.2 南城市玉城字玉城=1.2 嘉手納町嘉手納*=1.0 那覇空港=1.0 伊江村東江前*=0.8 栗国村浜=0.7 久米島町謝名堂=0.5
94	22 09 20	青森県東方沖 青森県	40° 33.1' N	142° 27.9' E	69km	M: 4.1 2 階上町道仏*=1.7 1 八戸市内丸*=1.3 野辺地町田狭沢*=1.2 青森南部町平*=1.1 青森南部町苦米地*=1.1 八戸市南郷区*=1.0 東通村砂子又沢内*=1.0 五戸町古館=0.8 三沢市桜町*=0.8 五戸町倉石中市*=0.7 おいらせ町中下田*=0.6 野辺地町野辺地*=0.6 三戸町在府小路町*=0.5 平内町東田沢*=0.5 東通村小田野沢*=0.5 北海道 岩手県 1 函館市泊町*=0.9 1 二戸市福岡=0.7 軽米町軽米*=0.7 久慈市枝成沢=0.5 九戸村伊保内*=0.5
95	22 15 36	福島県沖 宮城県 福島県	37° 21.7' N	141° 19.2' E	34km	M: 3.5 1 山元町浅生原*=0.5 1 檜葉町北田*=1.1 南相馬市原町区高見町*=1.0 浪江町幾世橋=0.5 南相馬市原町区三島町=0.5
96	23 04 47	奈良県 奈良県	34° 21.7' N	135° 41.8' E	68km	M: 3.0 1 桜井市初瀬=0.5
97	23 12 22	岩手県内陸北部 青森県 岩手県	40° 16.8' N	141° 34.5' E	79km	M: 3.8 2 階上町道仏*=1.9 1 青森南部町苦米地*=1.4 三戸町在府小路町*=1.1 青森南部町平*=1.0 野辺地町田狭沢*=1.0 八戸市内丸*=0.9 外ヶ浜町蟹田*=0.9 八戸市湊町=0.8 十和田市奥瀬*=0.8 五戸町倉石中市*=0.8 八戸市南郷区*=0.7 東通村砂子又沢内*=0.6 七戸町森ノ上*=0.6 2 盛岡市玉山区薮川*=1.6 1 岩手洋野町大野*=1.3 八幡平市田頭*=1.2 軽米町軽米*=1.2 九戸村伊保内*=1.2 宮古市鉾ヶ崎=1.1 宮古市田老*=1.0 葛巻町葛巻元木=0.9 宮古市五月町*=0.9 久慈市枝成沢=0.8 矢巾町南矢幅*=0.8 盛岡市山王町=0.7 盛岡市玉山区渋民*=0.7 二戸市浄法寺町*=0.7 釜石市中妻町*=0.5 岩手洋野町種市=0.5 久慈市川崎町=0.5
98	23 15 32	岩手県内陸南部 秋田県	39° 24.7' N	140° 40.5' E	8km	M: 2.5 1 秋田美郷町六郷東根=0.7
99 (注)	23 17 08 23 17 08	栃木県北部 栃木県北部 栃木県	36° 48.6' N 36° 48.3' N	139° 37.2' E 139° 37.0' E	8km 7km	M: 2.4 M: 2.2 1 日光市中鉢石町*=1.3 日光市日蔭*=1.1
100	23 17 13	栃木県北部 栃木県 福島県	36° 48.2' N	139° 37.0' E	7km	M: 3.2 3 日光市中鉢石町*=2.6 2 日光市日蔭*=2.1 1 日光市鬼怒川温泉大原*=1.2 日光市藤原*=1.2 日光市芹沼*=0.9 日光市今市本町*=0.9 日光市瀬川=0.9 宇都宮市中里町*=0.9 1 檜枝岐村上河原*=1.3
101	23 17 16	福島県沖 福島県	37° 17.8' N	141° 40.0' E	44km	M: 3.6 1 いわき市三和町=1.0
102	23 22 21	宮城県北部 宮城県	38° 42.5' N	140° 58.6' E	16km	M: 3.7 3 大崎市田尻*=2.8 2 栗原市一迫*=2.4 宮城美里町北浦*=2.4 大崎市古川北町*=2.4 栗原市築館*=2.3 大崎市古川三日町=2.2 栗原市高清水*=2.0 登米市南方町*=1.8 登米市石越町*=1.6

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		南三陸町志津川=1.6 栗原市花山*=1.6 登米市東和町*=1.6 大崎市古川大崎=1.6 栗原市鶯沢*=1.6 大崎市鳴子*=1.6 大崎市松山*=1.6 栗原市栗駒=1.5 登米市中田町=1.5 大崎市岩出山*=1.5 1 宮城加美町小野田*=1.4 栗原市瀬峰*=1.4 栗原市志波姫*=1.4 大崎市鹿島台*=1.4 色麻町四竈*=1.3 涌谷町新町裏=1.3 登米市米山町*=1.1 登米市迫町*=1.1 宮城加美町中新田*=1.1 石巻市桃生町*=1.1 仙台青葉区作並*=0.9 栗原市若柳*=0.9 大衡村大衡*=0.9 登米市豊里町*=0.9 登米市登米町*=0.9 石巻市北上町*=0.8 栗原市金成*=0.7 仙台青葉区大倉=0.6 1 一関市花泉町*=1.4 一関市千厩町*=1.3 一関市室根町*=0.6 一関市藤沢町*=0.6 平泉町平泉*=0.5 1 東根市中央*=1.0 河北町谷地=1.0 天童市老野森*=0.9 河北町役場*=0.7 中山町長崎*=0.6 寒河江市中央*=0.6 西川町海味*=0.6				
103	24 04 30	茨城県沖 茨城県	36° 24.6' N	141° 01.0' E	46km	M: 3.8
		2 日立市助川小学校*=1.6 高萩市安良川*=1.6 1 高萩市下手綱*=1.3 北茨城市磯原町*=1.3 水戸市内原町*=1.1 常陸大宮市上小瀬*=1.1 城里町石塚*=1.1 常陸大宮市北町*=1.0 常陸大宮市野口*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=0.9 太子町池田*=0.9 茨城町小堤*=0.8 東海村東海*=0.8 日立市役所*=0.8 日立市十王町友部*=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 土浦市常名=0.8 水戸市金町=0.8 常陸太田市町屋町=0.7 笠間市笠間*=0.6 ひたちなか市東石川*=0.6 水戸市千波町*=0.6 水戸市中央*=0.5 福島県 1 白河市新白河*=0.8 須賀川市岩瀬支所*=0.8 天栄村下松本*=0.8 浅川町浅川*=0.6 栃木県 1 益子町益子=0.9 宇都宮市中里町*=0.8 真岡市石島*=0.8 茂木町茂木*=0.7				
104	24 05 24	石川県加賀地方 石川県	36° 17.3' N	136° 41.9' E	8km	M: 2.4
		1 白山市別宮町*=0.6				
105	24 10 37	福島県浜通り 福島県 茨城県	36° 59.0' N	140° 41.5' E	10km	M: 3.4
		1 いわき市錦町*=1.4 いわき市三和町=1.3 1 日立市助川小学校*=0.9 常陸大宮市北町*=0.6 笠間市笠間*=0.5 常陸太田市町屋町=0.5				
106	24 19 56	千葉県東方沖 千葉県	35° 30.4' N	141° 29.8' E	12km	M: 3.9
		1 銚子市若宮町*=0.5				
107	24 21 46	日向灘 大分県	32° 42.8' N	132° 09.8' E	38km	M: 3.7
		2 佐伯市蒲江蒲江浦=1.5 1 佐伯市鶴見*=1.4 津久見市宮本町*=1.2 佐伯市春日町*=1.0 佐伯市役所*=0.9 佐伯市米水津*=0.9 佐伯市弥生*=0.8 佐伯市本匠*=0.8 津久見市立花町*=0.7 佐伯市直川*=0.7 愛媛県 1 愛南町船越*=0.6 高知県 1 宿毛市桜町*=0.7 大月町弘見*=0.6 宮崎県 1 延岡市北浦町古江*=1.0 延岡市北川町川内名白石*=0.9 延岡市天神小路=0.6				
108	25 00 58	秋田県内陸南部 秋田県	39° 42.2' N	140° 45.4' E	8km	M: 2.7
		2 仙北市田沢湖生保内上清水*=1.6 1 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*=0.8				
109	25 10 02	奄美大島北東沖 鹿児島県	29° 12.9' N	130° 03.6' E	51km	M: 4.1
		1 鹿児島十島村悪石島*=1.2 奄美市笠利町里*=1.0 奄美市名瀬港町=0.5				
110	25 11 00	紀伊水道 和歌山県	34° 14.1' N	135° 06.3' E	8km	M: 2.7
		1 和歌山市一番丁*=1.0 和歌山市男野芝丁=0.8				
111	25 23 29	和歌山県南方沖 和歌山県	33° 37.0' N	135° 23.3' E	19km	M: 2.9
		1 白浜町日置*=0.7 田辺市中辺路町栗栖川*=0.6				
112	26 05 52	長野県中部 山梨県 長野県	35° 59.7' N	138° 05.8' E	11km	M: 3.2
		1 山梨北杜市長坂町*=0.9 1 茅野市葛井公園*=1.4 諏訪市湖岸通り=1.2 伊那市高遠町荊口=1.2 長野高森町下市田*=1.2 諏訪市高島*=0.7 辰野町中央=0.6 長和町和田*=0.6 長野川上村大深山*=0.5 中川村大草*=0.5 原村役場*=0.5				
113	26 10 22	北海道東方沖 北海道	43° 55.4' N	147° 29.8' E	15km	M: 4.9
		1 根室市瑤瑤瑠*=0.5				
114	26 14 17	秋田県内陸南部 秋田県	39° 05.7' N	140° 33.7' E	9km	M: 3.0
		1 湯沢市寺沢*=1.1 湯沢市沖鶴=0.6				
115	26 20 15	長野県北部 長野県 新潟県	36° 49.5' N	138° 05.4' E	4km	M: 3.0
		2 信濃町柏原東裏*=2.0 1 長野市戸隠*=1.3 1 妙高市関川*=1.1 妙高市関山*=0.6				
116	27 13 02	青森県東方沖 北海道	40° 41.3' N	142° 38.9' E	26km	M: 3.9
		1 函館市泊町*=0.5				
117	27 13 16	宮城県沖 岩手県	38° 55.5' N	141° 55.3' E	51km	M: 3.8
		1 大船渡市大船渡町=1.3 大船渡市猪川町=1.3 一関市室根町*=1.1 陸前高田市高田町*=1.1				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
118	27 13 33	宮城県	釜石市中妻町*=1.0 一関市藤沢町*=1.0 一関市千厩町*=1.0 1 気仙沼市赤岩=1.3 気仙沼市唐桑町*=1.3 南三陸町志津川=1.2 気仙沼市笹が陣*=1.1 登米市東和町*=1.0 気仙沼市本吉町津谷*=0.7 石巻市桃生町*=0.7 南三陸町歌津*=0.6	40° 45.9' N	142° 03.5' E	92km M: 4.3
		青森県 青森県	3 階上町道仏*=2.6 2 五戸町倉石中市*=2.4 八戸市内丸*=2.1 東通村砂子又沢内*=2.1 東北町上北南*=2.0 八戸市湊町=2.0 青森南部町平*=2.0 青森南部町苦米地*=2.0 野辺地町田狭沢*=2.0 三戸町在府小路町*=1.9 おいらせ町中下田*=1.8 五戸町古館=1.7 七戸町森ノ上*=1.7 東北町塔ノ沢山*=1.6 八戸市南郷区*=1.6 横浜町林ノ脇*=1.5 佐井村長後*=1.5 東通村砂子又蒲谷地=1.5 1 野辺地町野辺地*=1.4 三沢市桜町*=1.3 七戸町七戸*=1.3 青森南部町沖田面*=1.3 十和田市奥瀬*=1.2 むつ市金曲=1.2 六戸町犬落瀬*=1.1 むつ市川内町*=1.1 東通村小田野沢*=1.1 青森市花園=1.1 おいらせ町上明堂*=1.0 むつ市金谷*=1.0 八戸市島守=0.9 十和田市西二番町*=0.9 六ヶ所村尾駈=0.9 六ヶ所村出戸=0.9 平内町小湊=0.9 外ヶ浜町蟹田*=0.8 平内町東田沢*=0.8 横浜町寺下*=0.8 青森市中央*=0.7 十和田市西十二番町*=0.7 田子町田子*=0.7 2 函館市泊町*=1.9 1 函館市新浜町*=0.9 岩手県 2 軽米町軽米*=1.6 1 久慈市枝成沢=1.3 岩手洋野町種市=1.3 二戸市浄法寺町*=1.3 九戸村伊保内*=1.3 一戸町高善寺*=1.2 岩手洋野町大野*=1.1 盛岡市玉山区蘧川*=1.1 八幡平市田頭*=1.1 二戸市福岡=1.0 二戸市石切所*=1.0 久慈市川崎町=0.9 田野畑村役場*=0.9 野田村野田*=0.9 岩手町五日市*=0.8 葛巻町葛巻元木=0.7 住田町世田米*=0.7 宮古市鉾ヶ崎=0.6 盛岡市玉山区洪民*=0.6 盛岡市山王町=0.6 八幡平市吹田*=0.6 葛巻町役場*=0.6 葛巻町消防分署*=0.5	26° 35.7' N	127° 13.5' E	69km M: 3.6
119	27 13 52	沖縄本島近海 沖縄県	座間味村座間味*=0.9 久米島町謝名堂=0.6			
120	27 15 36	茨城県南部 茨城県	3 石岡市柿岡=2.6 つくば市小茎*=2.5 かすみがうら市上土田*=2.5 土浦市常名=2.5 取手市井野*=2.5 2 土浦市下高津*=2.4 小美玉市上玉里*=2.3 笠間市中央*=2.3 つくば市天王台*=2.3 笠間市下郷*=2.2 笠間市笠間*=2.2 石岡市八郷*=2.2 取手市寺田*=2.2 小美玉市小川*=2.2 筑西市海老ヶ島*=2.2 水戸市内原町*=2.1 下妻市本城町*=2.1 常総市新石下*=2.1 土浦市藤沢*=2.1 つくば市刈間*=2.0 稲敷市江戸崎甲*=2.0 稲敷市府所*=2.0 筑西市舟生=2.0 茨城古河市下大野*=2.0 桜川市羽田*=2.0 小美玉市堅倉*=2.0 つくばみらい市福田*=2.0 龍ヶ崎市府役所*=2.0 かすみがうら市大和田*=1.9 桜川市岩瀬*=1.9 坂東市山*=1.9 茨城古河市仁連*=1.9 牛久市中央*=1.9 美浦村受領*=1.9 坂東市馬立*=1.9 常陸大宮市野口*=1.8 茨城町小堤*=1.8 つくばみらい市加藤*=1.8 利根町布川=1.8 桜川市真壁*=1.7 水戸市千波町*=1.7 取手市藤代*=1.7 下妻市鬼怒*=1.7 境町旭町*=1.6 常陸大宮市上小瀬*=1.6 常総市水海道諏訪町*=1.6 坂東市岩井=1.6 石岡市石岡*=1.6 阿見町中央*=1.6 河内町源清田*=1.6 守谷市大柏*=1.5 水戸市中央*=1.5 結城市結城*=1.5 1 東海村東海*=1.4 常陸大宮市山方*=1.4 城里町徳蔵*=1.4 八千代町菅谷*=1.4 筑西市下中山*=1.4 行方市玉造*=1.4 行方市麻生*=1.4 稲敷市柴崎*=1.3 茨城鹿嶋市鉢形=1.3 常陸大宮市北町*=1.3 鉾田市鉾田=1.2 稲敷市結佐*=1.2 城里町阿波山*=1.2 行方市山田*=1.2 五霞町小福田*=1.2 水戸市金町=1.2 茨城鹿嶋市宮中*=1.1 稲敷市須賀津*=1.1 那珂市福田*=1.1 日立市助川小学校*=1.1 鉾田市造谷*=1.1 鉾田市汲上*=1.1 ひたちなか市東石川*=1.0 日立市府所*=1.0 大子町池田*=1.0 茨城古河市長谷町*=1.0 日立市十王町友部*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=1.0 常陸大宮市高部*=0.9 神栖市溝口*=0.9 潮来市堀之内=0.8 高萩市安良川*=0.8 高萩市下手綱*=0.8 常陸太田市町屋町=0.8 常陸大宮市中富町=0.6 栃木県 3 栃木市旭町=2.7 真岡市石島*=2.6 2 宇都宮市明保野町=1.9 佐野市亀井町*=1.8 鹿沼市晃望台*=1.8 真岡市田町*=1.7 市貝町市塙*=1.7 壬生町通町*=1.7 下野市田中*=1.7 宇都宮市中里町*=1.7 栃木市万町*=1.7 栃木市岩舟町静*=1.7 佐野市葛生東*=1.7 鹿沼市口栗野*=1.7 芳賀町祖母井*=1.6 足利市大正町*=1.6 栃木市大平町富田*=1.6 鹿沼市今宮町*=1.6 日光市鬼怒川温泉大原*=1.6 小山市神鳥谷*=1.6 益子町益子=1.6 茂木町茂木*=1.6 下野市石橋*=1.5 下野市小井井*=1.5 日光市中鉢石町*=1.5 真岡市荒町*=1.5 栃木市都賀町家中*=1.5 小山市中央町*=1.5 1 塩谷町玉生*=1.4 高根沢町石末*=1.4 日光市芹沼*=1.3 大田原市湯津上*=1.3 栃木市西方町本城*=1.3 那須烏山市中央=1.2 日光市日蔭*=1.2 栃木市藤岡町藤岡*=1.2 野木町丸林*=1.1 日光市足尾町中才*=1.1 日光市今市本町*=1.1 茂木町北高岡天矢場*=1.1 佐野市中町*=1.0 日光市足尾町通洞*=1.0 日光市瀬川=1.0 上三川町しらさぎ*=0.9 那須塩原市塩原庁舎*=0.9 宇都宮市旭*=0.9 栃木さくら市喜連川*=0.9 日光市藤原*=0.9 佐野市田沼町*=0.9 栃木さくら市氏家*=0.8 日光市湯元*=0.8 栃木那珂川町馬頭*=0.8 宇都宮市塙田*=0.7 矢板市本町*=0.7 那須烏山市大金*=0.5 栃木那珂川町小川*=0.5 那須烏山市役所*=0.5 群馬県 2 大泉町日の出*=2.2 邑楽町中野*=1.9 千代田町赤岩*=1.5 1 沼田市利根町*=1.3 太田市西本町*=1.3 桐生市元宿町*=1.2 館林市美園町*=1.2 館林市城町*=1.2 沼田市西倉内町=1.1 片品村東小川=1.1 桐生市黒保根町*=1.1 桐生市新里町*=1.1 伊勢崎市西久保町*=1.1 太田市浜町*=1.0 板倉町板倉=1.0 群馬明和町新里*=1.0 前橋市粕川町*=0.9 みどり市大間々町*=0.9 太田市粕川町*=0.8 太田市大原町*=0.8 片品村鎌田*=0.8 みどり市東町*=0.8 沼田市白沢町*=0.8 前橋市堀越町*=0.7 渋川市赤城町*=0.7 渋川市吹屋*=0.7 前橋市富士見町*=0.7 桐生市織姫町=0.7 沼田市下久屋町*=0.7 伊勢崎市東町*=0.6 みなかみ町鹿野沢*=0.6 太田市新田金井町*=0.6 みどり市笠懸町*=0.6	35° 55.0' N	140° 06.6' E	61km M: 4.4

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		埼玉県 前橋市鼻毛石町※=0.6 2 宮代町笠原※=2.0 吉川市吉川※=1.9 久喜市下早見=1.8 春日部市谷原新田※=1.8 春日部市粕壁※=1.7 志木市中宗岡※=1.6 さいたま南区別所※=1.6 さいたま緑区中尾※=1.6 和光市広沢※=1.5 幸手市東※=1.5 杉戸町清地※=1.5 さいたま大宮区天沼町※=1.5 加須市北川辺※=1.5 川口市中青木分室※=1.5 春日部市金崎※=1.5 越谷市越ヶ谷※=1.5 1 久喜市青葉※=1.4 戸田市上戸田※=1.4 八潮市中央※=1.4 三郷市幸房※=1.4 さいたま見沼区堀崎※=1.4 さいたま浦和区高砂=1.4 白岡市千駄野※=1.4 加須市大利根※=1.3 川口市青木※=1.3 草加市高砂※=1.3 新座市野火止※=1.3 さいたま西区指扇※=1.3 さいたま北区宮原※=1.3 さいたま大宮区大門※=1.3 さいたま中央区下落合※=1.3 さいたま桜区道場※=1.2 東松山市松葉町※=1.2 上尾市本町※=1.2 桶川市泉※=1.2 久喜市鷺宮※=1.1 富士見市鶴馬※=1.1 加須市騎西※=1.1 羽生市東※=1.1 埼玉三芳町藤久保※=1.0 鴻巣市川里※=1.0 川越市新宿町※=1.0 蕨市中央※=1.0 朝霞市本町※=1.0 熊谷市江南※=0.9 行田市本丸※=0.9 加須市下三俣※=0.9 東松山市市ノ川※=0.9 鴻巣市中央※=0.9 川島町平沼※=0.9 松伏町松伏※=0.9 久喜市菖蒲※=0.9 久喜市栗橋※=0.9 さいたま浦和区常盤※=0.9 川口市三ツ和※=0.9 狭山市入間川※=0.9 所沢市北有楽町※=0.8 熊谷市桜町=0.8 滑川町福田※=0.8 行田市南河原※=0.8 熊谷市宮町※=0.7 入間市豊岡※=0.7 本庄市児玉町=0.7 吉見町下細谷※=0.7 長瀨町野上下郷※=0.6 熊谷市大里※=0.6 川越市旭町=0.6 蓮田市黒浜※=0.6 伊奈町小室※=0.6 熊谷市妻沼※=0.5 嵐山町杉山※=0.5 ふじみ野市福岡※=0.5 千葉県 2 柏市旭町=1.8 印西市大森※=1.8 野田市鶴奉※=1.6 成田市花崎町=1.6 浦安市猫実※=1.6 流山市平和台※=1.5 白井市復※=1.5 栄町安食台※=1.5 1 柏市大島田※=1.4 我孫子市我孫子※=1.4 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=1.4 印西市笠神※=1.4 千葉花見川区花島町※=1.3 成田市中台※=1.3 習志野市鷺沼※=1.3 香取市役所※=1.2 千葉中央区都町※=1.2 千葉佐倉市海隣寺町※=1.2 千葉稲毛区園生町※=1.1 野田市東宝珠花※=1.1 八千代市大和田新田※=1.1 市川市八幡※=1.0 成田市役所※=1.0 香取市仁良※=0.9 山武市埴谷※=0.9 千葉中央区中央港=0.9 千葉美浜区稲毛海岸※=0.9 成田国際空港=0.9 成田市松子※=0.9 市原市姉崎※=0.9 酒々井町中央※=0.9 東金市日吉台※=0.9 神崎町神崎本宿※=0.9 香取市佐原平田=0.9 香取市佐原諏訪台※=0.9 千葉中央区千葉市役所※=0.8 千葉若葉区小倉台※=0.8 千葉緑区おゆみ野※=0.8 松戸市根本※=0.8 多古町多古=0.7 芝山町小池※=0.7 東金市東新宿=0.5 君津市久留里市場※=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5 長柄町大津倉=0.5 東京都 2 東京江戸川区船堀※=1.8 東京千代田区大手町=1.7 小平市小川町※=1.7 東京荒川区東尾久※=1.6 東京足立区千住中居町※=1.6 東京江東区森下※=1.5 東京足立区伊興※=1.5 1 東京墨田区東向島※=1.4 東京江東区越中島※=1.4 東京江東区東陽※=1.4 東京江東区塩浜※=1.4 東京渋谷区本町※=1.4 東京荒川区荒川※=1.4 東京足立区神明南※=1.4 東京江戸川区中央=1.4 調布市西つじヶ丘※=1.4 東京千代田区富士見※=1.3 東京文京区本郷※=1.3 東京北区赤羽南※=1.3 東京中央区勝どき※=1.2 東京台東区千束※=1.2 東京江東区亀戸※=1.2 東京世田谷区三軒茶屋※=1.2 東京杉並区高井戸※=1.2 東京北区西ヶ原※=1.2 東京板橋区相生町※=1.2 東京練馬区豊玉北※=1.2 東京練馬区東大泉※=1.2 東京江戸川区鹿骨※=1.2 武蔵野市吉祥寺東町※=1.2 東京品川区平塚※=1.1 東京葛飾区立石※=1.1 西東京市中町※=1.1 東大和市中央※=1.1 東京墨田区吾妻橋※=1.1 東京中野区中野※=1.0 東京練馬区光が丘※=1.0 東京文京区スポーツセンタ※=1.0 東京文京区大塚※=1.0 町田市中町※=1.0 日野市神明※=1.0 東京品川区北品川※=1.0 東京国際空港=1.0 東京大田区本羽田※=1.0 東京渋谷区宇田川町※=1.0 東京大田区多摩川※=0.9 東京中野区江古田※=0.9 東京足立区中央本町※=0.9 東京千代田区麹町※=0.9 清瀬市中里※=0.9 東京新宿区上落合※=0.9 東京新宿区百人町※=0.9 八王子市堀之内※=0.8 三鷹市野崎※=0.8 東村山市美住町※=0.8 国分寺市戸倉=0.8 東京世田谷区成城※=0.8 狛江市和泉本町※=0.8 東京港区白金※=0.8 東京葛飾区金町※=0.8 東京世田谷区世田谷※=0.7 東京中央区日本橋兜町※=0.7 東京目黒区中央町※=0.7 町田市忠生※=0.6 町田市森野※=0.6 国分寺市本多※=0.6 東京中野区中央※=0.6 東京品川区広町※=0.6 武蔵野市緑町※=0.5 青梅市日向和田※=0.5 東京港区芝公園※=0.5 東京世田谷区中町※=0.5 東京新宿区歌舞伎町※=0.5 福島県 1 白河市新白河※=0.9 矢祭町東館館本※=0.6 檜枝岐村上河原※=0.6 神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺※=1.4 横浜港北区日吉本町※=1.4 横浜鶴見区末広町※=1.3 横浜緑区十日市場町※=1.3 横浜青葉区市ヶ尾町※=1.3 大和市下鶴間※=1.3 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=1.2 横浜瀬谷区中屋敷※=1.2 三浦市城山町※=1.2 川崎川崎区宮前町※=1.1 横浜旭区川井宿町※=1.0 綾瀬市深谷※=1.0 横浜港南区丸山台東部※=0.9 横浜旭区今宿東町※=0.9 相模原中央区上溝※=0.9 横浜磯子区洋光台※=0.8 川崎幸区戸手本町※=0.8 横浜中区山手町=0.7 川崎中原区小杉陣屋町=0.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.7 横浜鶴見区馬場※=0.7 箱根町湯本※=0.6 横浜保土ヶ谷区神戸町※=0.5 山梨県 1 甲州市勝沼町勝沼※=0.8 甲州市塩山上於曽※=0.7 甲州市役所※=0.6 富士河口湖町船津=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本※=1.0				
121	28 07 30	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 10.3' N	141° 40.3' E	50km	M: 3.6
		1 一関市室根町※=0.5				
		1 女川町女川浜※=1.1 石巻市桃生町※=0.8 登米市豊里町※=0.7 東松島市小野※=0.6				
122	28 08 45	岩手県沖 岩手県	39° 38.1' N	142° 07.2' E	48km	M: 3.6
		1 山田町大沢※=1.0 宮古市鍛ヶ崎=0.9 宮古市茂市※=0.8 釜石市只越町=0.8 宮古市五月町※=0.7 宮古市川井※=0.7 宮古市田老※=0.7 釜石市中妻町※=0.6 住田町世田米※=0.6 花巻市大迫総合支所※=0.5 遠野市宮守町※=0.5				
123	28 11 10	岩手県沖 青森県	40° 26.8' N	141° 56.5' E	57km	M: 2.9
		1 八戸市湊町=0.5				
124	28 12 28	山梨県東部・富士五湖 東京都	35° 32.5' N	139° 01.9' E	18km	M: 3.0
		1 日野市神明※=0.9 国分寺市戸倉=0.6				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		神奈川県 1 山北町山北*=0.9 相模原緑区中野*=0.9 相模原中央区上溝*=0.7 山梨県 1 大月市御太刀*=1.3 上野原市役所*=1.3 上野原市上野原=1.0 大月市大月=0.8 富士河口湖町船津=0.6				
125	29 02 37	茨城県沖 茨城県 2 日立市助川小学校*=1.5 1 茨城鹿嶋市宮中*=1.4 城里町石塚*=1.3 日立市役所*=1.0 土浦市常名=1.0 常陸大宮市北町*=0.9 常陸大宮市上小瀬*=0.9 鉾田市汲上*=0.9 ひたちなか市南神敷台*=0.9 東海村東海*=0.8 水戸市内原町*=0.7 水戸市千波町*=0.7 稲敷市須賀津*=0.6 行方市麻生*=0.6 笠間市笠間*=0.6 水戸市金町=0.6 稲敷市江戸崎甲*=0.6 土浦市下高津*=0.5 かすみがうら市大和田*=0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 桜川市羽田*=0.5 高萩市安良川*=0.5 潮来市堀之内=0.5 福島県 1 玉川村小高*=0.5 千葉県 1 香取市仁良*=1.2 成田市花崎町=0.8 旭市ニ*=0.5	36° 07.0' N	141° 06.4' E	41km	M: 3.9
126	29 07 26	長野県北部 長野県 1 栄村北信*=1.0	36° 57.8' N	138° 35.2' E	7km	M: 2.0
127	29 13 05	岩手県沿岸北部 岩手県 1 遠野市青笹町*=1.0 遠野市宮守町*=0.5	39° 45.4' N	141° 51.1' E	58km	M: 3.3
128	29 16 29	青森県東方沖 北海道 1 函館市泊町*=0.7 青森県 1 東通村砂子又沢内*=1.1 階上町道仏*=0.7	41° 35.0' N	142° 03.0' E	65km	M: 3.8
129	29 23 16	伊豆大島近海 東京都 2 伊豆大島町岡田=1.5 1 伊豆大島町元町=1.2 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.2	34° 44.7' N	139° 18.8' E	6km	M: 2.9
130	29 23 27	伊豆大島近海 東京都 2 伊豆大島町岡田=2.1 伊豆大島町元町=1.9 静岡県 2 東伊豆町奈良本*=1.7	34° 45.1' N	139° 18.8' E	5km	M: 3.1
131	30 01 09	伊豆大島近海 東京都 1 伊豆大島町岡田=1.0 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.7	34° 45.0' N	139° 18.8' E	5km	M: 2.6
132	30 04 52	伊豆大島近海 東京都 1 伊豆大島町岡田=1.2 伊豆大島町元町=0.9	34° 44.9' N	139° 18.7' E	4km	M: 2.3
133	30 06 41	北海道北西沖 北海道 1 初山別村初山別*=1.2	44° 30.8' N	141° 45.0' E	0km	M: 2.2
134	30 07 28	網走地方 北海道 1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=0.5	43° 28.1' N	144° 02.9' E	0km	M: 1.7
135	30 12 09	福島県沖 福島県 1 小野町中通*=0.9 浪江町幾世橋=0.8 福島広野町下北迫大谷地原*=0.6 いわき市三和町=0.6	37° 09.6' N	141° 13.2' E	32km	M: 3.5
136	30 13 42	熊本県阿蘇地方 熊本県 1 産山村山鹿*=1.4 熊本小国町宮原*=1.3 阿蘇市波野*=1.1 南阿蘇村中松=0.9 阿蘇市一の宮町*=0.9 菊池市旭志*=0.8 大分県 1 九重町後野上*=1.0 日田市中津江村栃野*=0.5 宮崎県 1 日之影町岩井川*=0.6 高千穂町三田井=0.5 高千穂町寺迫*=0.5	33° 05.7' N	131° 04.4' E	10km	M: 3.3
137	30 14 59	沖縄本島近海 沖縄県 1 渡名喜村渡名喜*=0.9	26° 28.8' N	127° 03.6' E	9km	M: 3.2
138	30 18 08	福島県浜通り 福島県 1 いわき市三和町=1.1	37° 05.5' N	140° 47.2' E	7km	M: 2.5
139	31 04 38	山形県最上地方 山形県 1 戸沢村古口*=0.7 大蔵村肘折*=0.5	38° 40.8' N	140° 07.8' E	7km	M: 2.4
140	31 09 53	長野県南部 長野県 2 木曽町開田高原西野*=1.6	35° 56.1' N	137° 34.5' E	5km	M: 1.8
141	31 15 33	岩手県沖 青森県 2 階上町道仏*=1.8 八戸市南郷区*=1.7 五戸町古館=1.6 青森南部町苦米地*=1.5 青森南部町平*=1.5 1 八戸市湊町=1.3 八戸市内丸*=1.3 野辺地町田狭沢*=1.2 おいらせ町中下田*=1.1 三戸町在府小路町*=1.1 七戸町森ノ上*=1.0 六戸町犬落瀬*=1.0 五戸町倉石中市*=0.9 東北町上北南*=0.9 おいらせ町上明堂*=0.9 三沢市桜町*=0.9 野辺地町野辺地*=0.8 東通村砂子又沢内*=0.8 青森南部町沖田面*=0.8 七戸町七戸*=0.8 八戸市島守=0.5 青森市花園=0.5 岩手県 2 普代村銅屋*=2.4 盛岡市玉山区薮川*=2.0 盛岡市玉山区波民*=1.9 宮古市川井*=1.7	40° 09.2' N	142° 24.0' E	35km	M: 4.8

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		野田村野田*=1.6 盛岡市山王町=1.5 宮古市田老*=1.5 八幡平市田頭*=1.5 1 久慈市川崎町=1.4 二戸市浄法寺町*=1.4 矢巾町南矢幅*=1.4 宮古市五月町*=1.3 久慈市長内町*=1.3 釜石市中妻町*=1.3 宮古市鉾ヶ崎=1.3 久慈市枝成沢=1.2 遠野市青笹町*=1.2 一関市室根町*=1.2 住田町世田米*=1.2 山田町大沢*=1.1 八幡平市野駄*=1.1 軽米町軽米*=1.1 大船渡市大船渡町=1.1 滝沢市鶴飼*=1.1 花巻市東和町*=1.1 北上市相去町*=1.1 陸前高田市高田町*=1.1 一関市千厩町*=1.1 奥州市江刺区*=1.1 奥州市胆沢区*=1.1 岩手町五日市*=1.0 花巻市石鳥谷町*=1.0 九戸村伊保内*=1.0 一関市花泉町*=1.0 釜石市只越町=1.0 紫波町日詰*=0.9 一関市藤沢町*=0.9 平泉町平泉*=0.9 盛岡市馬場町*=0.9 花巻市大迫総合支所*=0.9 宮古市区界*=0.9 山田町八幡町=0.9 葛巻町葛巻元木=0.8 遠野市宮守町*=0.8 八幡平市大更=0.8 花巻市大迫町=0.8 八幡平市叭田*=0.8 金ヶ崎町西根*=0.7 岩手洋野町大野*=0.7 西和賀町沢内川舟*=0.7 宮古市茂市*=0.7 田野畑村田野畑=0.7 田野畑村役場*=0.7 北上市柳原町=0.7 雫石町千刈田=0.7 岩泉町岩泉*=0.6 一関市東山町*=0.6 岩手洋野町種市=0.6 奥州市水沢区大鐘町=0.5 奥州市水沢区佐倉河*=0.5 二戸市福岡=0.5 葛巻町消防分署*=0.5 北海道 1 函館市泊町*=0.6 宮城県 1 石巻市桃生町*=1.3 気仙沼市笹が陣*=1.1 気仙沼市唐桑町*=1.1 栗原市若柳*=1.1 登米市迫町*=1.0 南三陸町志津川=1.0 気仙沼市赤岩=0.9 登米市米山町*=0.9 栗原市栗駒=0.8 栗原市一迫*=0.8 登米市南方町*=0.8 登米市中田町=0.7 登米市登米町*=0.7 宮城美里町木間塚*=0.7 大崎市田尻*=0.7 大崎市古川三日町=0.6 大崎市鹿島台*=0.6 丸森町鳥屋*=0.6 東松島市矢本*=0.6 大崎市古川北町*=0.5 石巻市大街道南*=0.5				
142	31 19 44	群馬県南部 36° 32.0' N 139° 25.2' E 7km M: 2.6 栃木県 1 日光市足尾町中才*=0.5 群馬県 1 沼田市利根町*=0.6				

●付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数 ＜平成 25 年（2013 年）11 月～平成 26 年（2014 年）10 月＞

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成 26 年（2014 年）											
10 月	92	35	10	5						142	
9 月	141	37	11	5	2					196	3 日 栃木県北部（震度 5 弱） 余震活動（震度 4：1 回、震度 3：2 回、震度 2：6 回、震度 1：21 回） 16 日 茨城県南部（震度 5 弱）
8 月	103	43	9	5	1					161	10 日 青森県東方沖（震度 5 弱） 奄美大島北西沖（奄美大島の西約 100km）の地震活動（震度 3：2 回、震度 2：3 回、震度 1：3 回）
7 月	118	46	9	5	2					180	5 日 岩手県沖（震度 5 弱） 8 日 胆振地方中東部（震度 5 弱） 伊豆大島近海の地震活動（震度 3：1 回、震度 2：3 回、震度 1：13 回）
6 月	92	34	12	5						143	
5 月	125	45	15	1	1					187	岐阜県飛騨地方から長野県中部にかけて（岐阜・長野県境）の地震活動（震度 3：9 回、震度 2：9 回、震度 1：29 回） 5 日 伊豆大島近海（震度 5 弱）
4 月	92	44	13	4						153	
3 月	101	48	8	1		1				159	14 日 伊予灘（震度 5 強）
2 月	84	48	10	4						146	
1 月	92	50	8	2						152	千葉県東方沖から千葉県北東部にかけて（震度 3：2 回、震度 2：2 回、震度 1：6 回）
平成 26 年計	1040	430	105	37	6	1	0	0	0	1619	
平成 25 年（2013 年）											
12 月	106	41	18	4	1					170	31 日 茨城県北部（震度 5 弱）
11 月	126	43	20	4	1					194	10 日 茨城県南部（震度 5 弱）
過去 1 年計	1272	514	143	45	8	1	0	0	0	1983	（平成 25 年 11 月～平成 26 年 10 月）

（参考）昨年同月の最大震度別地震回数

10 月	97	50	13	5						165	
------	----	----	----	---	--	--	--	--	--	-----	--

注）「記事」欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

●付録 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数 ＜平成25年（2013年）11月～平成26年（2014年）10月＞

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成26年（2014年）								
10月	407	54	10	1		472	65	11日 青森県東方沖（M6.1）
9月	357	56	11			424	67	
8月	479	84	9	2		574	95	10日 青森県東方沖（M6.1） 29日 日向灘（M6.0）
7月	588	113	8	2	1	712	124	1日 小笠原諸島西方沖（M6.2） 12日 福島県沖（M7.0） 21日 択捉島南東沖（M6.4）
6月	416	65	7	1		489	73	29日 硫黄島近海（M6.4）
5月	429	64	7	2		502	73	3日 硫黄島近海（M6.0） 5日 伊豆大島近海（M6.0）
4月	377	69	9			455	78	
3月	430	59	10	3		502	72	3日 沖縄本島北西沖（M6.4） 14日 伊予灘（M6.2） 19日 台湾付近（M6.0）
2月	388	69	10			467	79	
1月	438	83	8			529	91	
平成26年計	4309	716	89	11	1	5126	817	
平成25年（2013年）								
12月	450	79	14	2		545	95	9日 択捉島南東沖（M6.4） 18日 マリアナ諸島（M6.6）
11月	559	101	14	1		675	116	25日 千島列島（M6.0）
過去1年計	5318	896	117	14	1	6346	1028	（平成25年11月～平成26年10月）

（参考）昨年同月のM別地震回数

10月	564	110	12	1	1	688	124	26日 福島県沖（M7.1） 31日 台湾付近（M6.5）
-----	-----	-----	----	---	---	-----	-----	----------------------------------

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

● 付録 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 26 年 10 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった（平成 26 年 9 月は 1 回）。また、緊急地震速報（予報）を発表した地震の回数は 84 回（平成 26 年 9 月は 68 回）であった。

平成 19 年 10 月～平成 26 年 10 月に緊急地震速報を発表した地震の月別回数

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)										0 (48)	0 (33)	0 (39)	0 (120)
平成 20 年 (2008 年)	0 (35)	0 (41)	0 (48)	1 (42)	1 (70)	3 (75)	2 (63)	0 (47)	1 (58)	0 (46)	1 (40)	0 (57)	9 (622)
平成 21 年 (2009 年)	0 (44)	0 (39)	0 (34)	0 (34)	0 (24)	0 (54)	0 (36)	2 (65)	0 (47)	1 (44)	0 (39)	0 (47)	3 (507)
平成 22 年 (2010 年)	0 (53)	1 (44)	1 (50)	0 (36)	0 (27)	0 (35)	0 (47)	0 (51)	1 (40)	1 (50)	0 (40)	1 (34)	5 (507)
平成 23 年 (2011 年)	0 (50)	0 (74)	45 (1191)	26 (770)	5 (425)	5 (304)	5 (248)	3 (239)	4 (188)	1 (163)	2 (135)	1 (136)	97 (3923)
平成 24 年 (2012 年)	2 (149)	3 (141)	3 (142)	2 (128)	1 (129)	3 (118)	0 (102)	1 (107)	0 (70)	0 (109)	0 (77)	1 (134)	16 (1406)
平成 25 年 (2013 年)	0 (81)	2 (99)	0 (53)	3 (103)	0 (91)	0 (83)	0 (102)	2 (97)	1 (61)	0 (80)	0 (93)	1 (67)	9 (1010)
平成 26 年 (2014 年)	0 (70)	0 (70)	1 (68)	0 (62)	0 (53)	0 (57)	2 (97)	1 (96)	1 (68)	0 (84)			5 (725)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、() 内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、(独) 防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

● 付録 5. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

平成 26 年 10 月に長周期地震動階級 ※ 1 以上を観測した地震は 1 回であった（平成 26 年 9 月は 1 回）

平成 25 年 3 月～平成 26 年 10 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）※※の提供開始以降）

年 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	2	0	0	1	1	1	0	0	10
平成 26 年 (2014 年)	0	0	1	0	1	1	3	0	1	1			8

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動 階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動 階級 1	室内にいたほとん どの人が揺れを感じ る。驚く人もい る。	ブラインドなど吊り下 げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動 階級 2	室内で大きな揺れ を感じ、物に掴ま りたいと感じる。 物につかまらな いと歩くことが難 しいなど、行動に支 障を感じる。	キャスター付き什器が わずかに動く。棚にあ る食器類、書棚の本が 落ちることがある。	—
長周期地震動 階級 3	立っていることが 困難になる。	キャスター付き什器が 大きく動く。固定して いない家具が移動する ことがあり、不安定な ものは倒れることがあ る。	間仕切壁などにひ び割れ・亀裂が入 ることがある。
長周期地震動 階級 4	立っていることが できず、はわない と動くことができ ない。揺れにほん ろうされる。	キャスター付き什器が 大きく動き、転倒する ものがある。固定して いない家具の大半が移 動し、倒れるものもあ る。	間仕切壁などにひ び割れ・亀裂が多 くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 12 月号「付録 5. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

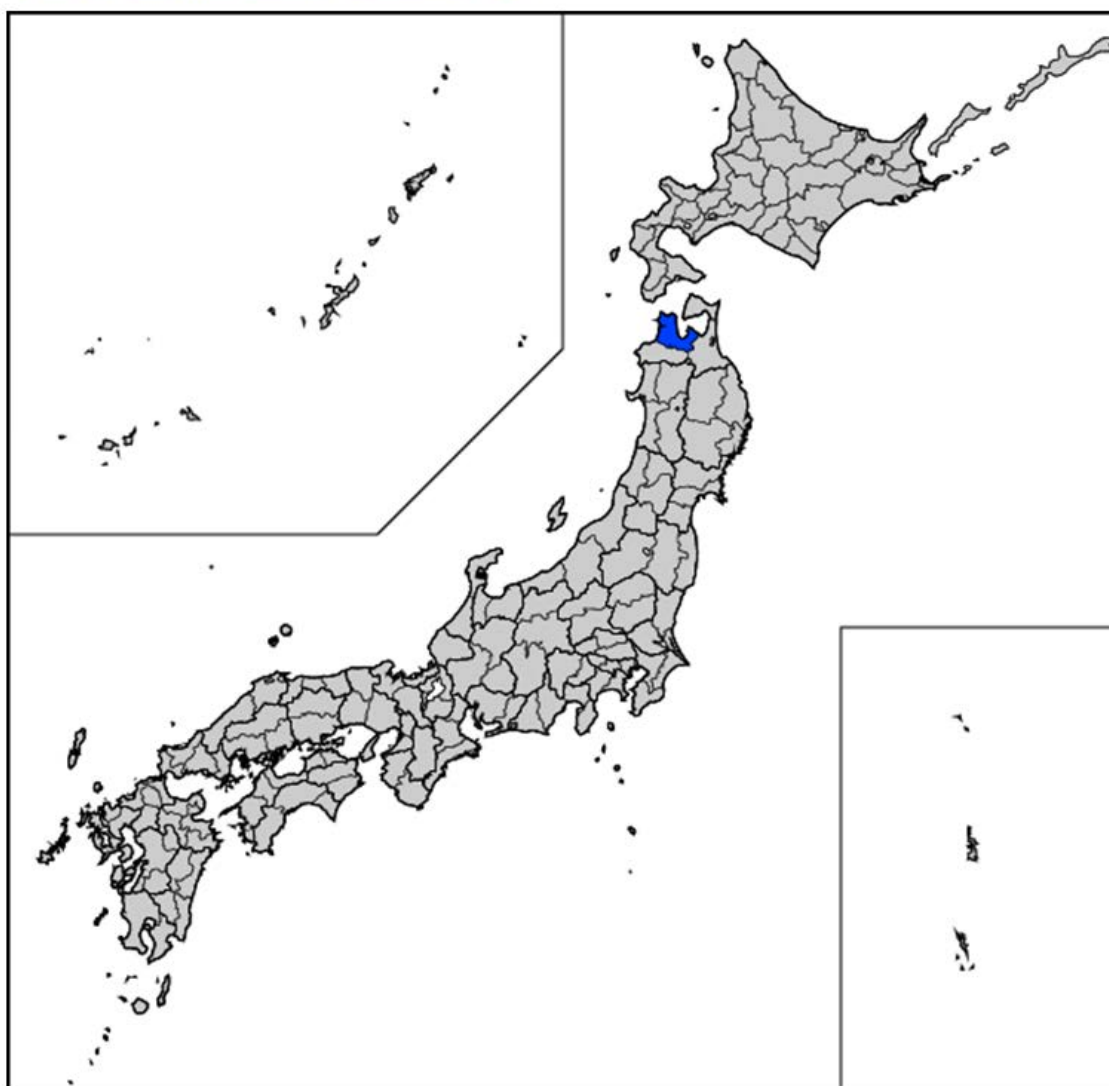
※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。

1. 平成 26 年 10 月 11 日 11 時 35 分 青森県東方沖の地震

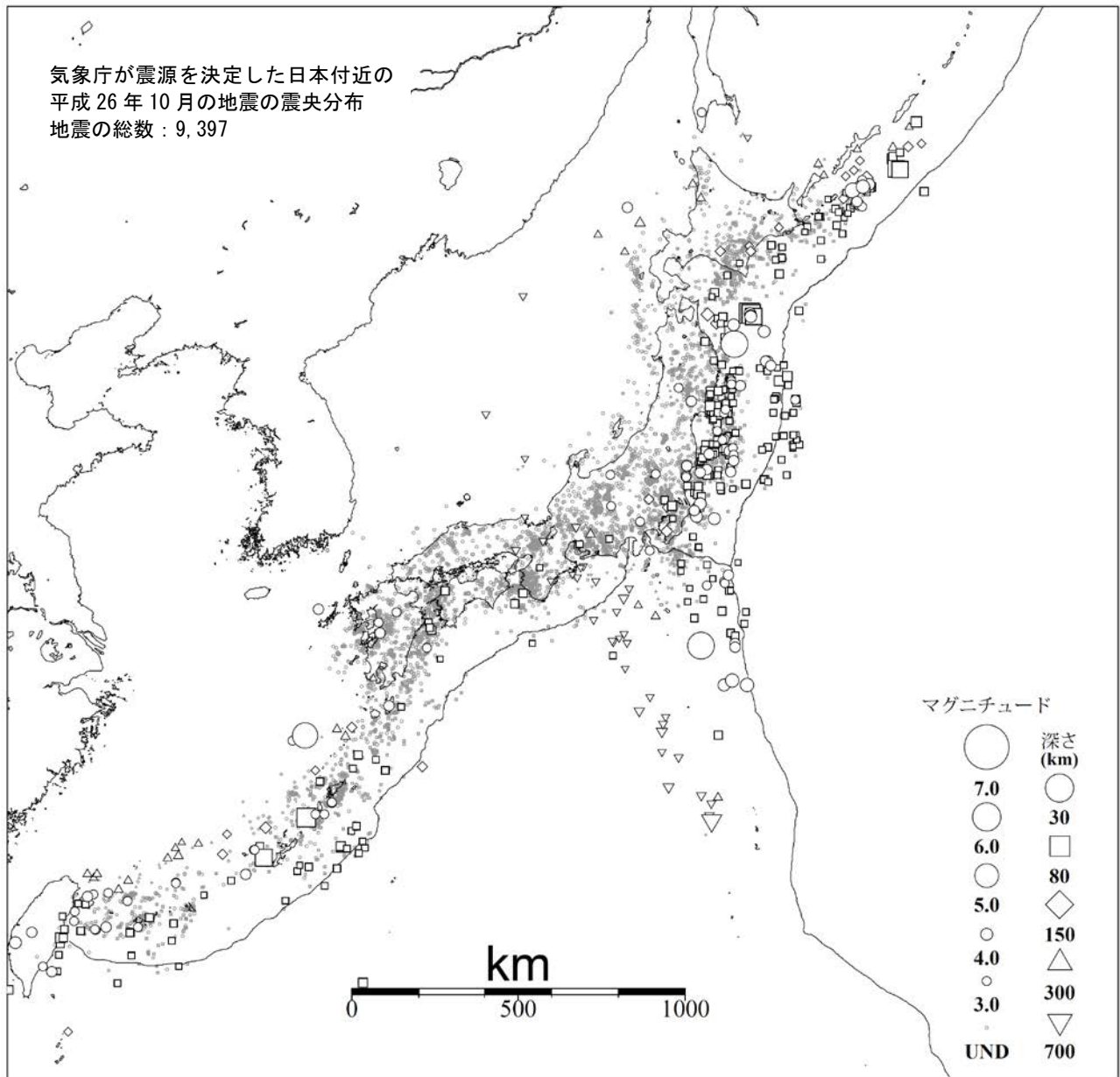
発生した地震の概要と長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

2014 年 10 月 11 日 11 時 35 分 青森県東方沖 北緯 40 度 57.1 分 東経 143 度 14.6 分 深さ 36km M6.1			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
青森県	青森県津軽北部	青森市花園	1

長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級 1 ■ 階級 2 ■ 階級 3 ■ 階級 4



(M3.0 以上の地震については白抜きで示す)